

事業実施報告書

平成22年度
2010

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

財団法人 日本水泳連盟

平成 22 年度 事業報告

<所信>

この度の「東日本大震災」において被災されました皆様に、心よりお見舞いを申し上げますとともに、1 日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。日本水泳連盟は、この未曾有の大災害により、開催を予定していた施設の損傷が甚大で、補修のために長期間を要する見込みであること、また原発問題によるユーティリティーパワーの供給状況も通常ではないことが予測されたため、日本選手権大会をはじめ複数の競技会の開催を中止致しました。このため、多くの関係者にご迷惑をおかけしましたが、皆様の深いご理解とご協力をいただき諸問題の解決が進められ、当面の水泳界運営に対しましては、障害を乗り越え続行できますことに感謝申し上げる次第であります。

こうした大きな試練に直面するなかで新年度はスタートいたしました。ロンドンオリンピックに向けた中間年である昨 2010 年度の主要事業は、概ね順調に遂行されました。ここに加盟団体の皆様をはじめとして、協賛企業各社様や多くの関係の皆様のご指導ご協力に対し、心より感謝と御礼を申し上げます。

さて前年度の競技力向上事業について省みますと、◆競泳ではパンパシフィック大会(8 月・アーバイン)における日本代表チーム“とびうおジャパン”の成績は、かなり厳しい結果となりました。オリンピック種目で見ますと男女合わせて計 11 個のメダル数であり、前回大会(2006 カナダ・ビクトリア)の計 24 個に比較すると半減以下でした。日本新記録も 1 個のみで(前回 9 個)、ベスト記録更新率も少なく若手選手の伸びが十分でない状況でありました。また、続くアジア大会(11 月・広州)では、精鋭主義をもって全力展開致しましたが、獲得メダル計 39 個は、当初の期待値に対して十分ではありませんでした。今後の成績向上のためには、さらなるタフさと競り合いの強さの養成が最大の課題であります。◆飛込においては、ジュニアを FINA 世界ジュニア選手権大会に派遣し、シニアはアジア大会に全力集中と致しました。その成果では、将来性ある選手の演技も見られ、引続き基礎技術の確実な習得および高難易度種目への挑戦に、重点を置くことが必須であります。◆水球では、本年も男女とも FINA ワールドリーグ(5 月大阪/中国)においてアジアナンバーワンを目指しましたが、結果は依然としてアジアの壁を打破できない状態にあります。再度、日本チームの強化すべきポイントに全力を傾注して、目標実現に邁進します。◆シンクロでは、新しい“マーメイドジャパン”に対する厳しい状況が続く中で、確実な実力向上を目指している段階にあります。FINA ワールドカップ大会(9 月・中国常熟)の結果で得られた強化すべき課題を重点的に鍛錬し、演技力の強化向上に反映すべく努力しております。

一方、競技運営においては、日本での初開催となりました FINA 競泳ワールドカップ大会(10 月東京)は、FINA からの評価も高く大成功裏に終了することができました。

その他の諸事業におきましても、多くの関係者のご協力によりまして、概ね当初の計画通り推移致しました。加盟団体をはじめ関係各位には、日本水泳界の発展を目指し、引き続き一層のご理解とご支援をいただきたくお願い申し上げます。

平成 23(2011)年 6 月 5 日

会長 佐野和夫

1. J O C 事 業 (寄附行為第4条-5)

(1) 第1回ユースオリンピック競技大会

① 期間・場所 平成22年8月 14日～26日 シンガポール・シンガポール

② 競技種目・日程

競泳 8月 15日 ～ 20日

③ 選手団編成

	役員	選手			合計
		男子	女子	計	
競泳	2	4	4	8	10

【競泳】

役員	コーチ	稲田 法子	岩崎 恭子		
選手	男子	堤 貴大	山岸 祐介	伊佐治 淳	正田 達成
	女子	浜野 麻綾	渡邊 有希子	岡田 真由子	越智 美奈

④ 成績

名前	種目	予選	順位	準決勝	順位	決勝	順位
堤 貴大	200m個人メドレー	2.03.73	5位			2.06.18	8位
山岸 祐介	100m背泳ぎ	58.97	19位				
	200m背泳ぎ	2.05.32	7位			2.04.67	5位
伊佐治 淳	100mバタフライ	55.88	19位				
	200mバタフライ	2.04.13	10位				
正田 達成	200m平泳ぎ	2.21.54	15位				
	200m個人メドレー	2.08.29	18位				
浜野 麻綾	100m平泳ぎ	1.11.32	5位	1.10.91	5位	1.10.18	4位
	200m平泳ぎ	2.31.67	3位			2.29.75	3位
渡邊 有希子	100m背泳ぎ	1.04.23	6位	1.04.24	9位		
	200m背泳ぎ	2.16.82	8位			2.18.36	8位
岡田 真由子	100mバタフライ	1.03.75	21位				
	200mバタフライ	2.18.72	15位				
越智 美奈	100m背泳ぎ	1.05.52	18位				
	200m背泳ぎ	2.18.26	12位				
混合4×100mメドレーリレー		4.06.13	8位	渡邊・正田・岡田・堤		4.06.18	7位
混合4×100mフリーリレー		3.49.23	14位	伊佐治・山岸・越智・浜野			
男子4×100mフリーリレー		3.32.20	10位	伊佐治・正田・堤・山岸			
男子4×100mメドレーリレー		3.52.55	9位	山岸・正田・伊佐治・堤			
女子4×100mフリーリレー		4.02.29	10位	渡邊・越智・浜野・岡田			
女子4x100mメドレーリレー		4.19.00	6位	越智・浜野・岡田・渡邊		4.16.80	5位

(2) 第16回アジア競技大会

① 期間・場所 平成22年11月 12日～27日 中国・広州

② 競技種目・日程

(ア) 競泳 11月 13日 ～ 18日
 (イ) 飛込 11月 22日 ～ 26日
 (ウ) 水球 11月 15日 ～ 25日
 (エ) シンクロ 11月 19日 ～ 21日

③ 選手団編成

	役員	選手			合計
		男子	女子	計	
本部	2	—	—	—	2
競泳	12	16	13	29	41
飛込	2	3	4	7	9
水球	4	13	—	13	17
シンクロ	4	—	10	10	14
審判	6	—	—	—	6
合計	30	32	27	59	89

【本部】 チームリーダー 泉 正文
 ドクター 元島 清香

【競泳】
 役員 監督 上野 広治
 ヘッドコーチ 平井 伯昌
 コーチ 鈴木 陽二 道浦 健壽 伊藤 秀介 久世 由美子
 藤井 太郎 草薙 健太
 トレーナー 小泉 圭介 小沢 邦彦 加藤 明生
 総務 小倉 大地雄

選手 男子 岸田 真幸 藤井 拓郎 小堀 勇気 松田 丈志
 内田 翔 原田 蘭丸 奥村 幸大 葛原 俊輔
 古賀 淳也 入江 陵介 立石 諒 北島 康介
 富田 尚弥 坂田 龍亮 高桑 健 堀畑 裕也
 女子 萩原 智子 上田 春佳 藤野 舞子 松本 弥生
 伊藤 華英 関根 理沙 寺川 綾 酒井 志穂
 鈴木 聡美 金藤 理絵 加藤 ゆか 星 奈津美
 加藤 和

【飛込】
 役員 ヘッドコーチ 松本 行夫
 コーチ 馬淵 崇英

選手 男子 岡本 優 村上 和基 坂井 丞
 女子 渋谷 小哉芳 中川 真依 浅田 梨紗 辰巳 楓佳

【水球】
 役員 チームマネージャー 高木 英樹
 コーチ 南 隆尚 榎本 至
 トレーナー 岡田 隆

選手 男子 棚村 克行 伊禮 寛 筈井 翔太 志賀 光明

富田 尚弥	200m 平泳ぎ	2:16.06	5 位		2:10.36	優勝	
坂田 龍亮	200m バタフライ	1:58.47	4 位		1:55.23	2 位	ベストタイ 五輪準候補
高桑 健	200m 個人メドレー	2:01.80	1 位		1:58.31	優勝	
	400m 個人メドレー	4:24.02	4 位		4:16.42	3 位	
堀畑 裕也	200m 個人メドレー	2:04.71	4 位		2:00.48	3 位	
	400m 個人メドレー	4:22.18	2 位		4:13.35	優勝	五輪準候補
日 本	400m メドレーレー	3:40.78	1 位	入江陵介 55.89	3:34.10	優勝	入江陵介 53.84
				北島康介 1:00.93			立石諒 59.80
				岸田真幸 53.00			藤井拓郎 51.43
				葛原俊輔 50.96			原田蘭丸 49.03
日 本	400m フリーレー	3:19.11	2 位	小堀勇氣 50.68	3:16.78	2 位	藤井拓郎 49.10
				原田蘭丸 49.30			原田蘭丸 49.16
				葛原俊輔 49.52			葛原俊輔 49.26
				奥村幸大 49.61			内田翔 49.26
日 本	800m フリーレー	7:15.57	1 位	小堀勇氣 1:50.80	7:10.39	2 位	小堀勇氣 1:47.92
				内田翔 1:47.47			内田翔 1:47.29
				奥村幸大 1:48.68			葛原俊輔 1:47.91
				葛原俊輔 1:48.62			松田丈志 1:47.27

800R 決勝 1 泳 小堀 ベスト 高校新

女子	種目	予選	順位	備考	決勝	順位	備考
萩原 智子	50m 自由形	25.86	5 位		26.04	5 位	
松本 弥生	50m 自由形	25.75	3 位		25.67	3 位	
	100m 自由形	56.33	5 位		55.78	5 位	
上田 春佳	100m 自由形	55.47	2 位		55.15	3 位	
	200m 自由形	2:00.03	2 位		1:59.42	4 位	
伊藤 華英	200m 自由形	2:00.72	3 位		1:58.24	3 位	自己ベスト
藤野 舞子	400m 自由形	4:19.44	4 位		4:15.17	4 位	
	800m 自由形			タイム決勝	8:33.55	3 位	自己ベスト
	200m 個人メドレー	2:18.84	7 位		2:16.22	6 位	
	400m 個人メドレー	4:45.67	4 位		4:42.31	4 位	
寺川 綾	50m 背泳ぎ	28.47	3 位		27.86	2 位	
	100m 背泳ぎ	1:01.58	2 位		59.92	4 位	
	200m 背泳ぎ	2:14.28	4 位		2:09.72	3 位	
酒井 志穂	50m 背泳ぎ	28.62	4 位		28.17	4 位	
	100m 背泳ぎ	1:00.42	1 位		59.87	2 位	
	200m 背泳ぎ	2:09.68	1 位		2:07.81	2 位	自己ベスト 五輪候補
鈴木 聡美	50m 平泳ぎ	32.12	3 位		31.52	3 位	
	100m 平泳ぎ	1:09.23	1 位		1:07.43	2 位	
	200m 平泳ぎ	2:30.45	4 位		2:25.68	5 位	

金藤 理絵	50m 平泳ぎ	33.11	8 位		32.85	7 位	
	100m 平泳ぎ	1:10.51	5 位		1:09.66	5 位	
	200m 平泳ぎ	2:28.36	2 位		2:25.63	4 位	
星 奈津美	50m バタフライ	27.84	8 位		27.93	8 位	
	100m バタフライ	59.90	7 位		59.87	6 位	
	200m バタフライ	2:09.94	2 位		2:07.96	2 位	
加藤 ゆか	50m バタフライ	26.59	3 位		26.27	2 位	自己ベスト 日本新
	100m バタフライ	58.61	1 位		58.46	3 位	インターC
	200m バタフライ	2:13.79	6 位		2:09.82	4 位	自己ベスト
加藤 和	200m 個人メドレー	2:17.66	5 位		2:14.64	4 位	
	400m 個人メドレー	4:44.72	2 位		4:46.02	5 位	
日 本	400m メドレーレー				3:58.24	2 位	寺川綾 59.57 鈴木聡美 1:06.48 加藤ゆか 58.37 上田春佳 53.82
日 本	400m フリーレー				3:37.90	2 位 日本新	上田春佳 54.96 松本弥生 54.42 萩原智子 54.58 伊藤華英 53.94
日 本	800m フリーレー				7:55.92	2 位	伊藤華英 1:58.37 上田春佳 1:57.57 松本弥生 2:00.05 関根理沙 1:59.93

(イ) 飛込

種 目	氏 名	所 属	予 選		決 勝	
			得点	順位	得点	順位
男子	1m 飛板飛込	岡本 優	筑波大学 4年		303.95	10位
	3m 飛板飛込	岡本 優	筑波大学 4年		403.70	7位
		坂井 丞	麻布大附属瀧野辺高校 3年		402.50	8位
	高 飛 込	村上 和基	上武大学 3年		386.90	8位
		坂井 丞	麻布大附属瀧野辺高校 3年		413.60	5位
	シンクロ 3m	岡本 優 坂井 丞	麻布大附属瀧野辺高校 3年 上武大学 3年		377.70 4位	
シンクロ高飛込	岡本 優	筑波大学 4年		388.20 5位		
	村上 和基	麻布大附属瀧野辺高校 3年				
女子	1m 飛板飛込	渋沢 小哉芳	セントラルスポーツ NEXT21		254.80	6位
		浅田 梨紗	立命館大学 1年		247.60	7位
	3m 飛板飛込	渋沢 小哉芳	セントラルスポーツ NEXT21		280.50	4位
		中川 真依	金沢学院大学 大学院 1年		259.10	6位

高 飛 込	中川 真依	金沢学院大学 大学院 1年	299.10	6位	291.40	6位
	辰巳 楓佳	甲子園学院高等学校 2年	330.70	5位	290.30	7位
シンクロ 3m	渋谷 小哉芳 中川 真依	セントラルスポーツ NEXT21 金沢学院大学 大学院 1年			277.50	3位
シンクロ高飛込	浅田 梨紗 辰巳 楓佳	立命館大学 1年 甲子園学院高等学校 2年			281.43	4位

(ウ)水球

日本戦の結果:			最終順位	
日本	3-9	中国	1位	カザフスタン
日本	30-1	香港	2位	中国
日本	25-2	カタール	3位	日本
日本	14-4	韓国	4位	韓国
日本	25-3	シンガポール		
日本	8-10	カザフスタン		
日本	19-5	韓国		

(エ)シンクロ

デュエット

順位		テクニカルルーティン	フリールーティン	合計得点
1	中国	96.375	97.000	193.375
2	日本(乾・小林)	93.375	93.500	186.875
3	韓国	88.000	89.875	177.875
4	北朝鮮	85.375	86.250	171.625
5	カザフスタン	85.000	85.500	170.500
6	マレーシア	77.250	77.500	154.750

チーム

順位		テクニカルルーティン	フリールーティン	合計得点
1	中国	95.375	96.625	192.000
2	日本(乾, 小林, 足立, 中村, 糸山, 箱山, F 荒井, R 杉山, T 吉田, 上南)	92.750	93.375	186.125
3	北朝鮮	86.375	86.625	173.000
4	タイ	68.500	71.625	140.125
5	マカオ	65.500	70.375	135.875

コンビネーション

順位		得点
1	中国	97.125
2	日本(乾, 小林, 足立, 中村, 糸山, 箱山, 荒井, 杉山, 吉田, 上南)	94.000
3	カザフスタン	85.375
4	タイ	70.750
5	マカオ	70.250

2. 特 別 事 業 (寄附行為第4条-5)

(1) FINA水球ワールドリーグ・アジアオセアニアラウンド

① 期間・場所 平成22年5月19日～23日 日本・大阪

② 競技種目・日程

(ア) 男子 5月19日～23日

(イ) 女子 5月21日～23日

③ 選手団編成

	役員	選手			合計
		男子	女子	計	
本部	3	-	-	-	3
男子	2	14	-	14	16
女子	3	-	14	14	17
審判員	2	-	-	-	2
合計	10	14	14	28	38

【本部】 チームリーダー 高木 英樹
 チームマネージャー 黒田 克己
 トレーナー 岡田 隆

【水球・男子】

役員 コーチ スロボダン トフビッチ 南 隆尚
 選手 棚村 克行 清水 直樹 伊禮 寛 筈井 翔太
 志賀 光明 青柳 勸 永田 敏 大川 慶悟
 長沼 敦 塩田 義法 竹井 昂司 柳瀬 彰良
 志水 祐介 若松 弘樹

【水球・女子】

役員 ヘッドコーチ 木村 文明
 コーチ 藤原 秀規
 総務 鈴木 雷天
 選手 三浦 里佳子 沼崎 未希 中野 由美 丸川 葉子
 小川 沙希 曲山 紫乃 岡村 幸 大川原 さや香
 矢作 美香 安本 智恵 小中 美沙 津守 杏映
 竹重 茉里 吉田 奈央

【帯同審判員】

男子 牧田 和彦
 女子 福元 寿夫

④ 成績

(ア) 男子

日本対オーストラリア 11-16 ×
 日本対ニュージーランド 16-4 ○
 日本対カザフスタン 7-6 ○
 日本対イラン 15-6 ○
 日本対中国 5-9 ×

3勝2敗 勝点9

(イ) 女子

日本対オーストラリア 5-17 ×
 日本対中国 5-13 ×
 日本対カザフスタン 11-13 × (PS 2-4)
 0勝3敗 (内PS負1) 勝点1

(2) 第11回パンパシフィック水泳選手権大会

① 期間・場所 平成22年8月18日～8月22日 アメリカ・アーバイン

② 競技種目・日程

(ア) 競泳 8月18日～21日

(イ) OWS 8月22日

③ 選手団編成

	役員	選手			合計
		男子	女子	計	
本部	3	—	—	—	3
競泳	20	25	24	49	69
(OWS)	—	—	—	(1 貴田)	(1)
審判員	2	—	—	—	2
合計	25	25	24	49	74

【本部】 団長 佐野 和夫
 副団長 青木 剛
 ドクター 半谷 美夏

【競泳】

役員 監督 上野 広治
 ヘッドコーチ 平井 伯昌
 コーチ 鈴木 陽二 田中 孝夫 道浦 健壽 伊藤 秀介
 神田 忠彦 久世 由美子 豊田 康宏 八塚 明憲
 河端 篤志 加藤 健志
 トレーナー 小泉 圭介 桑井 太陽 加藤 明生 中里 賢一
 栗木 明裕 山下 紫乃
 総務 小倉 大地雄
 シャペロン 山田 香
 選手 男子 岸田 真幸 藤井 拓郎 松田 丈志 宮本 陽輔
 東 隼平 伊藤 真 原田 蘭丸 奥村 幸大
 葛原 俊輔 内田 翔 小堀 勇氣 古賀 淳也
 入江 陵介 山口 雅文 多田 邦徳 立石 諒
 北島 康介 末永 雄太 富田 尚弥 高安 亮
 坂田 龍亮 金田 和也 高桑 健 堀畑 裕也
 萩野 公介
 女子 松本 弥生 上田 春佳 萩原 智子 伊藤 華英
 関根 理沙 星 茜 藤野 舞子 矢野 友理江
 貴田 裕美 米永 智香 寺川 綾 竹村 幸
 酒井 志穂 神村 万里恵 鈴木 聡美 松島 美菜
 川辺 芙美子 金藤 理絵 加藤 ゆか 福田 智代
 星 奈津美 杉野 紘子 加藤 和 高橋 美帆

※貴田裕美はOWS競技にも出場

【帯同審判員】

競泳

緒方 茂生

高坂 重男

④ 成績
(ア) 競泳

男子	種目	予選			B決勝			決勝		
		タイム	順位	備考	タイム	順位	備考	タイム	順位	備考
岸田真幸	50m 自由形	22.41	11位		22.43	10位				
	100m 自由形			棄権						
	50m バタフライ	23.85	7位					23.77	6位	
	100m バタフライ	52.32	6位					52.16	4位	
藤井拓郎	100m 自由形	49.63	17位		49.90	13位				
	100m バタフライ	52.20	3位					52.12	3位	
	200m 個人メドレー			棄権						
松田丈志	200m バタフライ	1:55.47	2位					1:54.81	3位	
	400m 自由形	3:49.89	8位					3:49.10	6位	
	800m 自由形							7:51.87	3位	
宮本陽輔	400m 自由形	3:56.62	21位							
	800m 自由形							8:01.96	11位	
	1500m 自由形							15:20.25	13位	
東隼平	400m 自由形	3:50.82	11位					3:51.90	8位	
	800m 自由形							7:58.73	7位	ベスト
	1500m 自由形							15:19.49	12位	
伊藤真	50m 自由形	22.73	19位							
	100m 自由形	50.50	37位							
原田蘭丸	50m 自由形	22.56	15位		22.53	12位				
	100m 自由形	50.06	23位							
	50m バタフライ	24.44	16位	ベスト	24.49	16位				
奥村幸大	100m 自由形	50.52	38位							
	200m 自由形	1:48.07	9位					1:49.28	8位	
葛原俊輔	100m 自由形	50.23	29位							
	200m 自由形	1:50.73	23位							
	100m バタフライ	53.74	23位							
内田翔	100m 自由形	50.00	21位		49.98	15位	ベスト			
	200m 自由形	1:48.40	11位		1:48.67	12位				
	400m 自由形	3:51.30	12位		3:51.02	10位				
	1500m 自由形									棄権
小堀勇氣	100m 自由形	50.49	36位							
	200m 自由形	1:48.09	10位	ベスト 高校新				1:48.42	7位	
	100m バタフライ	53.76	25位							

	200m 個人メドレー	2:02.74	13 位	ベスト						
古賀淳也	50m 背泳ぎ	25.25	5 位					24.86	1 位	
	100m 背泳ぎ	54.39	8 位					53.63	2 位	
	50m 自由形			棄権						
入江陵介	50m 背泳ぎ	25.20	3 位					25.41	6 位	
	100m 背泳ぎ	54.18	7 位					53.71	4 位	
	200m 背泳ぎ	1:56.65	4 位					1:55.21	3 位	
山口雅文	50m 背泳ぎ	25.46	10 位		25.34	9 位	ベスト			
	100m 背泳ぎ	54.79	9 位		54.98	10 位				
	200m 背泳ぎ	2:00.62	13 位		2:03.90	16 位				
	50m 自由形	23.63	38 位							
多田邦徳	100m 背泳ぎ	55.60	19 位							
	200m 背泳ぎ	1:59.93	11 位		1:59.03	10 位				
立石諒	50m 平泳ぎ	27.74	3 位					27.67	5 位	
	100m 平泳ぎ	1:00.09	2 位					1:00.26	4 位	
	200m 平泳ぎ	2:10.55	4 位		2:12.74	9 位				
北島康介	50m 平泳ぎ	27.64	2 位					27.67	5 位	
	100m 平泳ぎ	59.04	1 位					59.35	1 位	
	200m 平泳ぎ	2:09.23	1 位					2:08.36	1 位	
末永雄太	50m 平泳ぎ	28.07	15 位							
	100m 平泳ぎ	1:00.80	6 位				失格			
	200m 平泳ぎ	2:11.38	6 位							
富田尚弥	50m 平泳ぎ	28.05	14 位		28.50	14 位				
	100m 平泳ぎ	1:01.90	17 位							
	200m 平泳ぎ	2:10.47	3 位					2:10.99	4 位	
高安亮	50m バタフライ	24.38	15 位		24.21	13 位				
	100m バタフライ	53.63	20 位		54.35	16 位				
坂田龍亮	100m バタフライ	55.14	36 位							
	200m バタフライ	1:56.85	7 位					1:56.04	6 位	
金田和也	100m バタフライ	53.78	26 位							
	200m バタフライ	1:57.14	8 位		1:58.12	12 位				
高桑健	200m 個人メドレー	1:58.72	3 位					1:58.06	4 位	
	400m 個人メドレー	4:17.40	8 位					4:17.47	6 位	
堀畑裕也	200m 個人メドレー	2:01.32	8 位		2:01.01	9 位				
	400m 個人メドレー	4:16.44	5 位					4:15.93	4 位	
	200m バタフライ	1:58.01	13 位	ベスト						
萩野公介	200m 個人メドレー	2:01.19	7 位					2:00.97	7 位	
	400m 個人メドレー	4:19.02	10 位		4:21.95	12 位				
日本	4x100m リレー							3:17.49	5 位	
		1 泳						49.20	藤井	

		2泳						49.35	内田	
		3泳						49.26	原田	
		4泳						49.68	葛原	
日本	4x200m リレー	1泳						7:11.01	2位	
		2泳						1:47.08	松田	
		3泳						1:47.90	小堀	
		4泳						1:48.17	奥村	
								1:47.86	内田	
日本 A	A 4x100m リレー	1泳						3:33.90	2位	
		2泳						53.87	古賀	
		3泳						59.18	北島	
		4泳						52.07	岸田	
								48.78	藤井	
日本 B	B 4x100m リレー	1泳						3:36.78		
		2泳						53.59	入江	
		3泳						1:00.48	立石	
		4泳						53.17	高安	
								49.54	内田	

女子	種目	予選			B決勝			決勝		
		タイム	順位	備考	タイム	順位	備考	タイム	順位	備考
松本弥生	50m 自由形	25.76	15位		25.62	11位				
	100m 自由形	55.54	22位		55.22	11位				
	200m 自由形	2:00.27	19位	ベスト	2:02.98	15位				
上田春佳	50m 自由形	25.90	18位				棄権			
	100m 自由形	54.93	10位					54.93	6位	
	200m 自由形	1:58.36	7位					1:57.89	5位	
萩原智子	50m 自由形	25.74	14位					25.49	8位	
	100m 自由形	55.73	26位		55.95	14位				
伊藤華英	50m 自由形	25.96	21位		25.91	14位				
	100m 自由形	55.83	27位							
	200m 自由形	1:59.84	16位		1:58.58	10位	ベスト			
	200m 背泳ぎ			棄権						
関根理沙	100m 自由形	57.01	47位							
	200m 自由形	2:01.53	25位							
	400m 自由形	4:16.24	19位							
星茜	100m 自由形	58.12	48位							
	200m 自由形	2:03.09	29位							
藤野舞子	400m 自由形	4:15.45	17位							

	800m 自由形							8:33.84	6位	
	1500m 自由形							16:19.15	5位	
	400m 個人トレー	4:41.79	5位					4:42.28	7位	
矢野友理江	200m バタフライ	2:09.85	8位					2:12.91	8位	
	400m 自由形	4:12.72	11位					4:14.95	8位	
	1500m 自由形							16:41.22	8位	ベスト
貴田裕美	400m 自由形	4:14.77	15位		4:14.33	13位				
	800m 自由形							8:37.57	10位	
	1500m 自由形							16:35.47	7位	
米永智香	400m 自由形	4:15.30	16位		4:18.22	14位				
	800m 自由形							8:40.29	11位	
	1500m 自由形							16:24.71	6位	
寺川綾	50m 背泳ぎ	28.17	2位					28.04	2位	
	100m 背泳ぎ	1:00.41	4位					59.59	2位	ベスト
	200m 背泳ぎ	2:12.07	13位		2:11.88	11位				
竹村幸	50m 背泳ぎ	28.79	11位		28.74	11位				
	100m 背泳ぎ	1:00.81	9位		1:01.65	12位				
	200m 背泳ぎ	2:14.67	18位		2:14.36	14位				
酒井志穂	50m 背泳ぎ	28.76	10位					28.75	8位	
	100m 背泳ぎ	1:00.58	7位					1:00.68	7位	
	200m 背泳ぎ	2:08.86	4位					2:09.12	4位	
神村万里恵	50m 背泳ぎ	29.39	15位	swimoff(29.11)						
	100m 背泳ぎ	1:01.23	15位							
	200m 背泳ぎ	2:10.28	8位					2:12.21	8位	
鈴木聡美	50m 平泳ぎ	31.90	9位					31.49	5位	ベスト
	100m 平泳ぎ	1:06.94	4位					1:07.05	4位	
	200m 平泳ぎ	2:26.60	9位					2:23.83	4位	ベスト
松島美菜	50m 平泳ぎ	32.05	12位					32.00	7位	
	100m 平泳ぎ	1:07.74	8位					1:08.32	7位	
	200m 平泳ぎ	2:29.66	15位							
川辺美美子	50m 平泳ぎ	32.09	15位		31.81	12位	ベスト			
	100m 平泳ぎ			失格						
	200m 平泳ぎ	2:27.27	10位		2:27.28	10位				
金藤理絵	50m 平泳ぎ	32.75	21位							
	100m 平泳ぎ	1:09.54	17位		1:09.38	12位				
	200m 平泳ぎ	2:25.80	3位					2:24.85	7位	
加藤ゆか	50m バタフライ	26.40	3位					26.38	4位	
	100m バタフライ	59.16	9位					58.75	5位	
福田智代	50m バタフライ	27.33	14位		27.12	10位	ベスト タイ			
	100m バタフライ	59.19	10位					59.35	8位	

	200m バタフライ	2:13.93	13 位		2:16.37	13 位				
	200m 個人メドレー	2:15.26	13 位		2:16.02	11 位				
星奈津美	100m バタフライ	1:00.55	19 位							
	200m バタフライ	2:08.25	4 位					2:08.49	5 位	
杉野絃子	50m バタフライ	27.81	19 位	ベスト	28.31	15 位				
	100m バタフライ	1:00.22	17 位		1:00.02	14 位				
	200m バタフライ	2:10.43	10 位		2:10.37	10 位				
加藤和	200m 個人メドレー	2:14.99	12 位					2:14.51	8 位	
	400m 個人メドレー	4:40.99	4 位					4:40.43	4 位	
高橋美帆	200m 個人メドレー	2:18.15	18 位		2:18.51	14 位				
	400m 個人メドレー	4:44.26	8 位		4:44.74	10 位				
	800m 自由形							8:49.87	15 位	
日本	4x100m レレー	1 泳						3:38.86	5 位	日本新
		2 泳						54.70	上田	1 泳 ベスト
		3 泳						54.44	松本	
		4 泳						54.94	萩原	
								54.78	伊藤	
日本	4x200m レレー	1 泳						7:57.63	4 位	
		2 泳						1:58.07	上田	
		3 泳						1:59.21	伊藤	
		4 泳						2:00.35	松本	
								2:00.00	関根	
日本 A	A 4x100m メドレーレレー	1 泳						3:57.75	3 位	1 泳 ベスト
		2 泳						59.41	寺川	
		3 泳						1:06.54	鈴木	
		4 泳						57.96	加藤	
								53.84	上田	
日本 B	B 4x100m メドレーレレー	1 泳						4:04.82		
		2 泳						1:00.43	酒井	
		3 泳						1:09.49	金藤	
		4 泳						1:00.19	福田	
								54.71	松本	

(イ) OWS 10km

順位	氏名	タイム
8 位	貴田裕美	2 時間 08 分 00 秒 01

(3) 競泳ワールドカップ大会(日本)

① 期間・場所 平成22年10月20日 ~21日 日本・東京

② 選手団編成

	役員	選手			合計
		男子	女子	計	
競泳	16	15	13	28	44
審判員	2	-	-	-	2
合計	18	15	13	28	46

【競泳】

役員	監督	上野 広治			
	ヘッドコーチ	平井 伯昌			
	コーチ	鈴木 陽二	道浦 健壽	伊藤 秀介	久世 由美子
		藤井 太郎	草薙 健太		
	総務	村松 さやか	小倉 大地雄	山田 香	
	トレーナー	加藤 明生	種田 祥子	辻端 大輔	小沢 邦彦
		山下 紫乃			
選手	男子	藤井 拓郎	小堀 勇氣	松田 丈志	内田 翔
		原田 蘭丸	奥村 幸大	葛原 俊輔	古賀 淳也
		入江 陵介	立石 諒	北島 康介	富田 尚弥
		坂田 龍亮	高桑 健	堀畑 裕也	
	女子	萩原 智子	上田 春佳	藤野 舞子	松本 弥生
		伊藤 華英	関根 理沙	寺川 綾	酒井 志穂
		鈴木 聡美	金藤 理絵	加藤 ゆか	星 奈津美
		加藤 和			

【審判員】

競泳	緒方 茂生	江口 和美
----	-------	-------

③ 成績

男子

氏名	種目	予選	順位	決勝	順位
原田蘭丸	100m 自由形	:48.85	10 位		
	200m 自由形	1:49.65	17 位		
	100m バタフライ	:52.42	7 位	:51.71	6 位
藤井拓郎	100m バタフライ	:52.18	5 位	:51.39	5 位
	100m 個人メドレー	:53.52	2 位	:52.92	2 位
松田丈志	200m 自由形	1:46.02	3 位	1:43.93	1 位
	100m バタフライ	:51.81	2 位	:51.29	4 位
	200m バタフライ	1:53.13	1 位	1:50.64	1 位
葛原俊輔	50m 自由形	:22.58	13 位		
	100m 自由形	:48.57	6 位	:47.84	5 位
	200m 自由形	1:46.78	5 位	1:45.09	5 位
奥村幸大	100m 自由形	:48.51	5 位	:47.94	7 位
小堀勇氣	100m 自由形	:49.81	16 位		
	200m 自由形	1:46.93		1:47.97	7 位
	400m 自由形	3:49.98	8 位	3:48.12	5 位

内田翔	400m 自由形	3:46.13	1 位	3:43.38	1 位
	1500m 自由形			14:54.38	1 位
	200m 個人メドレー	1:57.50	8 位	1:58.11	8 位
	400m 個人メドレー			4:07.01	4 位
古賀淳也	50m 背泳ぎ	:23.99	1 位	:23.58	1 位
	100m 背泳ぎ	:52.44	4 位	:51.06	2 位
入江陵介	100m 背泳ぎ	:52.63	6 位	:51.60	4 位
	200m 背泳ぎ	1:52.82	1 位	1:50.58	1 位
北島康介	50m 平泳ぎ	:27.23	4 位	:26.95	2 位
	100m 平泳ぎ	:59.44	2 位	:58.34	2 位
	200m 平泳ぎ	2:08.20	1 位	2:06.00	4 位
	100m 個人メドレー	:54.71	8 位	:58.64	8 位
	200m 個人メドレー	1:57.50	8 位		
立石諒	50m 平泳ぎ	:27.38	6 位	:27.00	3 位
	100m 平泳ぎ	:59.13	1 位	:57.43	1 位
	200m 平泳ぎ	2:08.79	4 位	2:05.44	2 位
富田尚弥	50m 平泳ぎ	:27.31	5 位	:27.06	5 位
	100m 平泳ぎ	:59.64	5 位	:58.47	3 位
	200m 平泳ぎ	2:08.84	5 位	2:03.18	1 位
坂田龍亮	100m バタフライ	:54.02	16 位		
	200m バタフライ	1:55.34	3 位	1:53.90	3 位
高桑 健	100m 個人メドレー	:55.17	12 位		
	200m 個人メドレー	1:57.44	7 位	1:56.41	4 位
堀畑裕也	100m 個人メドレー	:55.59	14 位		
	200m 個人メドレー	1:58.40	13 位		
	400m 個人メドレー			4:08.90	5 位

女子

氏名	種目	予選	順位	決勝	順位
萩原智子	50m 自由形	:25.24	7 位	:24.91	6 位
	100m 自由形	:54.86	6 位	:54.38	7 位
	100m 個人メドレー	1:00.63	1 位	:59.94	1 位
松本弥生	50m 自由形	:25.51	12 位		
	100m 自由形	:54.65	5 位	:53.91	5 位
	200m 自由形	1:59.67	6 位	1:57.63	5 位
上田春佳	100m 自由形	:54.08	2 位	:53.59	4 位
	200m 自由形	1:55.51	1 位	1:54.43	1 位
	400m 自由形	4:06.92	1 位	4:06.57	1 位
伊藤華英	100m 自由形	:54.88	7 位	:54.21	6 位
	200m 自由形	1:56.47	2 位	1:55.13	2 位
	100m 背泳ぎ	:58.50	3 位	:58.16	4 位

関根理沙	100m 自由形	:55.75	11 位		
	200m 自由形	1:58.85	4 位	1:57.86	6 位
藤野舞子	200m 自由形	2:01.26	17 位		
	400m 個人メドレー			4:35.25	3 位
	800m 自由形			8:26.24	1 位
寺川綾	50m 背泳ぎ	:27.06	1 位	:26.66	1 位
	100m 背泳ぎ	:58.09	2 位	:56.90	1 位
	200m 背泳ぎ	2:06.17	2 位	2:03.62	1 位
酒井志穂	50m 背泳ぎ	:27.90	6 位	:27.27	5 位
	100m 背泳ぎ	:57.91	1 位	:57.31	2 位
	200m 背泳ぎ	2:06.11	1 位	2:05.13	3 位
鈴木聡美	50m 平泳ぎ	:31.60	5 位	:30.99	4 位
	100m 平泳ぎ			1:06.16	2 位
	200m 平泳ぎ	2:26.52	7 位	2:23.41	4 位
金藤理絵	50m 平泳ぎ	:32.04	13 位		
	100m 平泳ぎ			1:07.24	6 位
	200m 平泳ぎ	2:22.63	1 位	2:20.83	1 位
星奈津美	100m バタフライ	:59.81	11 位		
	200m バタフライ	2:08.49	4 位	2:06.21	4 位
加藤ゆか	50m バタフライ	:26.27	2 位	:25.62	3 位
	100m バタフライ	:57.85	2 位	:56.85	2 位
	200m バタフライ	2:07.83	2 位	2:05.06	2 位
加藤和	200m 個人メドレー	2:11.07	1 位	2:10.35	2 位
	400m 個人メドレー			4:32.12	2 位

3. 競技力向上事業 (寄附行為第4条-5)

競技力向上事業担当 上野 広治

オリンピック中間年、2012ロンドンオリンピックにおいて『センターポールに日の丸を!』をスローガンに掲げ2年目を迎えた。各部門が大きく飛躍できるように月一回特別強化委員会を実施し、各部門の強化進捗状況を把握し事業計画から実施への支援を推進した。残念ながら大きなステップまでとはいかず、反省の多い一年になってしまった。

特に痛感したのは、強化スケジュールなどの情報共有の重要性であった。社会人が多くなったとはいえ、学生の勉強への配慮が所属コーチから担当選手へうまく伝わっていなかった部分が残念であった。アジア大会は時期的に厳しい部分が多く合宿が多くなってしまった。ただ、その成果が全くなかったわけではない。合宿を実施していなかったならば最悪の結果まで低下していた可能性もある。また、このナショナルチームスケジュールの伝達は、ドーピング居場所情報へも関係が深いことから、コーチおよび選手にトビウオジャパンのブログを通じて開示するよう心がけた。アジア大会の反省も含め各部門の選手との個別ミーティングを頻繁に行い、選手強化の方針や時期および場所などの情報交換に努めた。

1. 競泳

競泳委員長 上野 広治

平成22年度事業は、4月の日本選手権兼選考会でパンパシフィック大会の代表選手を選考した。アメリカ高地合宿を実施し約100日後に本大会を迎えたが、大きな飛躍がなくメダル獲得は前回大会(24)から半減(11)という惨敗に終わった。その中でも北島選手の100.200m今年度世界ランキング1位は、価値ある結果であった。また、この大会の結果でアジア大会の選手を選考した。中国との金メダル争いを目標におき、中国・広州へ乗り込んだものの、初日だけは接戦を制したが、2日目以降、流れは完全に中国へ傾き、接戦をすべて逃してしまった。女子は一つも勝てず、金メダル数及びメダル総数でも大差で惨敗した。アジアでは中国だけでなく、韓国も強化の拠点を自国と海外を半々にして、外国コーチの招聘も上手く強化に結び付けている。

ジュニアパンパシフィック大会は、ハワイに戻り多くのジュニア選手を派遣したものの一気に飛躍する選手がおらず、これまた頭を痛める課題となった。また、ジュニア強化では、ジュニア選抜で派遣したオーストラリア NSW 州大会、ジュニア・シンガポール遠征(3月・ブロック代表)にそれぞれ派遣した。若いうちに多くの経験を積ませることに重点を置き、若手選手には遠征回数を増やし、チャンスを多く与える方向に変更した。その結果ワールドカップ・アジアシリーズや、オーストラリア遠征で楽しみな選手が育ってきた。

強化合宿での競技力強化は、2012・2016を踏まえて、オリンピック候補・準候補合宿及びジュニアエリートA・B合宿を昨年に引き続き実施した。また、恒例のインターナショナル合宿を12月・2月(JISS・グアム)2回と、中・高生を中心に12月にナショナル合宿(中学生は三重・高校生は静岡)、ブロック合宿(全国10ブロック)、エリート小学生合宿(JISS)を実施し、競技力向上を幅広く目指した。

(1) 国際競技会

- ① 第4回ジュニア・パンパシフィック選手権 平成22年8月26日～30日 アメリカ・マウイ
選手団編成
団長 佐野 和夫

副団長	青木 剛								
ドクター	大内 洋								
【競泳】									
監督	上野 広治								
ヘッドコーチ	平井 伯昌								
コーチ	畑井 宏道	田沼 麻里子	梅原 孝之	立川 道宣					
	大畑 豊	杉山 康							
総務	村松 さやか								
男子	中村 克	市川 拓海	瀧口 陽平	渡邊 涼太					
	尾崎 隆太	大山 佳祐	工藤 優介	矢澤 隼人					
	山口 観弘	加納 雅也	池端 宏文	佐藤 広隆					
	瀬戸 大也	渡邊 聡	藤森 丈晴						
女子	田辺 詔子	五十嵐 千尋	住吉 茉莉	太田 明成					
	地田 麻未	赤瀬 紗也香	小関 夏奈	原田 真衣					
	関口 美咲	黒岩 紗耶	佐藤 愛菜	細田 梨乃					
	小林 奈央	勝山 海輝	大本 里佳	大塚 美優					
【OWS】									
監督	鷺見 全弘								
コーチ	森 謙一郎								
男子	柴田 慎一郎								
女子	中塚 望	和田 麻里							
	※競泳 瀧口陽平、渡邊涼太、太田明成は OWS にも選出								
審判	後藤 直之	江口 和美							

成績
競泳

男子	種目	予選			B 決勝			決勝		
		タイム	順位	備考	タイム	順位	備考	タイム	順位	備考
中村 克	50m 自由形	23.61	6 位					23.09	4 位	ベスト
	100m 自由形	51.84	7 位					52.06	8 位	
市川 拓海	100m 自由形	51.84	6 位					51.54	5 位	
	200m 自由形	1:52.24	6 位					1:51.85	6 位	
	100m バタフライ	56.03	12 位	B 決棄権						
	200m 個人メドレー	2:05.97	6 位					2:03.58	4 位	
瀧口 陽平	200m バタフライ	2:03.96	9 位	B 決棄権						
	400m 自由形	3:55.72	4 位					3:53.86	4 位	
	1500m 自由形							15:24.45	3 位	
渡邊 涼太	200m 自由形	1:53.86	11 位		1:54.99	6 位				
	400m 自由形	3:58.09	6 位					4:00.16	7 位	
	1500m 自由形							15:40.03	4 位	
尾崎 隆太	200m 自由形	1:55.26	24 位							
	400m 自由形	3:59.28	10 位		3:59.92	4 位				
	800m 自由形							8:13.23	7 位	
	1500m 自由形							15:41.05	5 位	
	400m 個人メドレー	4:31.28	12 位		4:27.91	1 位				

大山 佳祐	100m 背泳ぎ	56.64	4 位					55.95	4 位	
	200m 背泳ぎ	2:04.46	7 位					2:04.23		15m 超失格
工藤 優介	50m 自由形	24.08	12 位	ベスト	24.05			失格(フライング)		
	100m 自由形	53.55	30 位							
	100m 背泳ぎ	57.78	7 位					57.20	7 位	
	200m 背泳ぎ	2:06.79	11 位		2:06.80	5 位				
矢澤 隼人	50m 自由形	24.22	13 位	ベスト	24.45	6 位				
	100m 背泳ぎ	57.84	10 位		57.33	1 位				
	200m 背泳ぎ	2:02.78	5 位					2:01.63	4 位	
山口 観弘	100m 平泳ぎ	1:03.60	6 位					1:02.81	5 位	
	200m 平泳ぎ	2:16.33	4 位					2:13.43	優勝	
加納 雅也	100m 平泳ぎ	1:03.27	5 位					1:02.48	3 位	
	200m 平泳ぎ	2:17.04	5 位					2:16.05	5 位	
池端 宏文	100m 自由形	52.01	11 位		52.22	5 位				
	100m バタフライ	54.27	4 位					53.50	3 位	
佐藤 広隆	100m 自由形	54.43	36 位	ベスト						
	100m バタフライ	56.33	18 位							
	200m バタフライ	2:02.76	7 位					2:03.48	8 位	
瀬戸 大也	100m バタフライ	54.91	6 位	ベスト				54.42	6 位	ベスト
	200m バタフライ	1:59.99	1 位	ベスト				1:59.50	4 位	ベスト
	200m 個人メドレー	2:03.07	4 位					2:04.75	6 位	
	400m 個人メドレー	4:25.40	6 位					4:19.07	2 位	
渡邊 聡	100m バタフライ	56.22	17 位	B 決繰り上り				55.60	12 位	B 決 4 位
	200m バタフライ	2:06.88	14 位		2:05.24	2 位				
	200m 個人メドレー	2:14.18	22 位							
藤森 丈晴	200m 自由形	1:58.53	29 位							
	400m 自由形	4:05.41	21 位							
	200m 個人メドレー	2:07.01	11 位		2:05.65	3 位				
	400m 個人メドレー	4:24.12	4 位					4:22.08	4 位	
柴田 慎一郎	200m 自由形	1:53.11	7 位					1:54.29	7 位	
	400m 自由形	4:02.14	17 位							
	800m 自由形									棄権
	1500m 自由形							16:02.39	12 位	
日 本 A	4x100m リレー	市川	中村	池端	工藤			3:25.94	4 位	
日 本 A	4x200m リレー	市川	柴田	渡邊	尾崎			7:30.47	3 位	
日 本 A	4x100m メドレーリレー	大山	加納	池端	市川			3:41.75	3 位	1 泳ベスト
日 本 B	4x100m メドレーリレー	工藤	山口	瀬戸	中村			3:47.34	8 位	

女子	種目	予選			B 決勝			決勝		
		タイム	順位	備考	タイム	順位	備考	タイム	順位	備考
田辺 詔子	50m 自由形	26.65	7 位					26.63	8 位	
	100m 自由形	57.49	7 位					58.47	8 位	
五十嵐 千尋	200m 自由形	2:06.88	29 位	B 決繰り上り	2:04.22	6 位				
	200m 個人メドレー	2:19.68	7 位					2:18.48	6 位	
	400m 個人メドレー	4:54.45	7 位					4:55.78	8 位	
住吉 茉莉	50m 自由形	27.04	8 位					26.44	7 位	ベスト
	100m 自由形	57.67	8 位					57.63	7 位	
	200m 自由形	2:04.15	13 位	B 決勝	2:04.46	8 位				
太田 明成	200m 自由形	2:05.52	15 位	B 決棄権						
	400m 自由形	4:19.01	6 位					4:19.99	8 位	
	800m 自由形							8:55.64	11 位	
	1500m 自由形									棄権
地田 麻未	200m 自由形	2:04.13	12 位	B 決棄権						
	400m 自由形	4:20.47	11 位		4:19.35	4 位				
	800m 自由形							8:46.10	7 位	
	1500m 自由形							16:39.75	5 位	ベスト
赤瀬 紗也香	100m 背泳ぎ	1:02.31	2 位					1:00.82	優勝	ベスト
	200m 背泳ぎ	2:12.11	1 位					2:09.68	優勝	
	200m 個人メドレー	2:23.81	26 位							
小関 夏奈	100m 背泳ぎ	1:03.39	11 位		1:02.93	2 位				
	200m 背泳ぎ	2:12.83	4 位					2:12.70	4 位	
原田 真衣	100m 背泳ぎ	1:02.42	4 位					1:02.01	2 位	
	200m 背泳ぎ	2:15.73	10 位		2:15.56	5 位				
関口 美咲	100m 平泳ぎ	1:12.04	11 位		1:11.62	4 位				
	200m 平泳ぎ	2:35.15	11 位		2:34.79	2 位				
黒岩 紗耶	100m 平泳ぎ	1:11.54	5 位					1:10.95	7 位	
	200m 平泳ぎ	2:31.08	4 位					2:29.80	5 位	
佐藤 愛菜	100m 平泳ぎ	1:12.03	8 位					1:11.36	8 位	
	200m 平泳ぎ	2:33.57	8 位					2:32.36	7 位	
細田 梨乃	100m バタフライ	59.14	1 位					58.72	優勝	
小林 奈央	100m 自由形	59.37	35 位							
	100m バタフライ	59.88	3 位					59.99	4 位	
	200m バタフライ	2:13.82	3 位					2:13.59	4 位	
	200m 個人メドレー	2:24.06	25 位							
勝山 海輝	100m バタフライ	1:02.09	11 位		1:01.56	4 位				
	200m バタフライ	2:14.78	6 位					2:14.15	5 位	
	200m 個人メドレー	2:19.90	10 位		2:18.34	2 位				
	400m 個人メドレー	4:58.17	11 位		4:57.70	6 位				

大本 里佳	50m 自由形	27.26	12 位	ベスト	26.79	4 位	ベスト			
	100m 自由形	58.36	14 位	ベスト	58.16	6 位	ベスト			
	200m 自由形	2:07.16	31 位	B 決繰り上り	2:03.75	1 位	ベスト			
	200m 個人メドレー	2:17.23	3 位					2:15.78	2 位	ベスト
大塚 美優	200m バタフライ	2:17.53	10 位		2:15.91	1 位				
	200m 背泳ぎ	2:17.98	16 位		2:17.30	7 位				
	200m 個人メドレー	2:21.93	21 位							
	400m 個人メドレー	4:49.10	4 位					4:46.61	4 位	
中塚 望	400m 自由形	4:27.31	24 位							
	800m 自由形							8:59.64	15 位	
	1500m 自由形									棄権
和田 麻里	400m 自由形	4:26.00	21 位							
	800m 自由形							9:03.21	17 位	
日 本 A	4x100m レレー	住吉	田辺	大本	小林			3:49.88	4 位	
日 本 A	4x200m レレー	地田	住吉	五十嵐	太田			8:20.22	4 位	
日 本 A	4x100m メドレーレー	赤瀬	黒岩	細田	住吉			4:08.24	4 位	
日 本 B	4x100m メドレーレー	原田	佐藤	小林	大本			4:13.17	7 位	

OWS 10 km

【男子】

順位	氏名	タイム
2 位	瀧口 陽平	1 時間 53 分 24 秒 00
8 位	柴田 慎一郎	1 時間 56 分 10 秒 59
11 位	渡邊 涼太	1 時間 57 分 18 秒 80

【女子】

順位	氏名	タイム
3 位	太田 明成	2 時間 03 分 16 秒 67
5 位	中塚 望	2 時間 03 分 37 秒 42
8 位	和田 麻里	2 時間 04 分 36 秒 51

② ワールドカップ大会(ブラジル) 平成22年9月10日～12日 ブラジル・リオデジャネイロ
選手団編成

ヘッドコーチ	小島 竜司			
コーチ	青木 和子			
男子	土岐 健一	氏林 倭人	大塚 一輝	坂田 龍亮
女子	中村 咲子	小口 綾乃	竹村 幸	小林 奈央

成績

男子	種目	予選		決勝		
		タイム	順位	タイム	順位	備考
土岐 健一	200m 自由形	1:49.32	7 位	1:53.00	8 位	
	400m 自由形	3:54.16	8 位	3:47.20	優勝	
	1500m 自由形			15:12.73	3位	T 決勝
氏林 倭人	100m 自由形	:51.58	21 位			予ベスト
	50m 背泳ぎ	:24.97	10 位			
	100m 背泳ぎ	:55.43	14 位			
	200m 背泳ぎ	1:58.70	4 位	2:00.35	7 位	
	50m バタフライ	:25.32	13 位			
	100m バタフライ	:55.17	12 位			
	100m 個人メドレー	:57.59	9 位	:56.33	6 位	繰上げ決勝
大塚 一輝	100m 平泳ぎ	:59.26	4 位	:59.38	5 位	
	200m 平泳ぎ	2:06.87	1 位	2:05.60	優勝	
坂田 龍亮	100m バタフライ	:54.23	11 位			
	200m バタフライ	1:55.13	2 位	1:54.65	3 位	

女子	種目	予選		決勝		
		タイム	順位	タイム	順位	備考
中村 咲子	200m 自由形	2:01.00	7 位	1:59.43	2 位	
	400m 自由形	4:16.92	6 位	4:06.73	優勝	
	800m 自由形			8:27.53	優勝	
小口 綾乃	400m 自由形	4:15.78	5 位	4:13.24	4 位	
	800m 自由形			8:36.77	4 位	
竹村 幸	50m 背泳ぎ	:27.60	1 位	:27.12	優勝	ベスト
	100m 背泳ぎ	1:00.33	1 位	:58.01	優勝	ベスト
	200m 背泳ぎ	2:11.64	1 位	2:06.24	優勝	ベスト
小林 奈央	200m 自由形	2:00.63	5 位	2:01.18	5 位	
	100m バタフライ	:59.85	4 位	:58.77	3 位	
	200m バタフライ	2:12.92	2 位	2:11.26	2 位	
	100m 個人メドレー	1:04.36	7 位	1:04.37	6 位	

③ OWSワールドカップ大会

(ア) 中国・汕頭

平成22年9月25日

(イ) 中国・香港

平成22年10月3日

選手団編成

ヘッドコーチ 鷺見 全弘

コーチ 木原 珠子

男子 秋元 洸輔

女子 貴田 裕美

平井 康翔

和田 麻里

渡邊 涼太

山中 薫

成績

(ア) 中国・汕頭

OWS 10 km

【男子】

順位	氏名	タイム
12位	秋元 洸輔	2時間01分44秒17
15位	平井 康翔	2時間07分56秒48
棄権	渡邊 涼太	

【女子】

順位	氏名	タイム
15位	和田 麻里	2時間10分14秒87
21位	山中 薫	2時間15分59秒50
途中棄権	貴田 裕美	

(イ) 中国・香港

OWS 10 km

【男子】

順位	氏名	タイム
10位	渡邊 涼太	2時間07分19秒25
13位	平井 康翔	2時間07分32秒25
15位	秋元 洸輔	2時間09分11秒50

【女子】

順位	氏名	タイム
12位	山中 薫	2時間15分34秒75
13位	貴田 裕美	2時間16分07秒55
16位	和田 麻里	2時間16分47秒25

④ ワールドカップ大会(アジア)

(ア) 中国・北京

平成22年10月12日・13日

(イ) シンガポール・シンガポール

平成22年10月16日・17日

選手団編成

ヘッドコーチ	川原 歩				
コーチ	青木 和子				
男子	渡邊 一樹	大塚 一輝	富田 尚弥	河本 耕平	
女子	貴田 裕美	小口 綾乃	平井 稚菜	田村 菜々香	

成績

(ア) 中国・北京

男子	種目	予選		決勝		
		タイム	順位	タイム	順位	備考
渡邊 一樹	50m 背泳ぎ	:25.07	4位	:24.46	4位	
	100m 背泳ぎ	:54.48	6位	:52.65	4位	
	200m 背泳ぎ	2:00.02	3位	1:54.41	3位	

大塚 一輝	100m 平泳ぎ	1:00.53	3 位	:59.20	5 位	
	200m 平泳ぎ	2:09.74	1 位	2:06.00	2 位	
富田 尚弥	50m 平泳ぎ	:28.40	6 位	:27.26	4 位	
	100m 平泳ぎ	1:00.48	2 位	:58.56	3 位	
	200m 平泳ぎ	2:12.53	4 位	2:05.30	優勝	
河本 耕平	50m バタフライ	:23.17	1 位	:23.11	3 位	ベスト
	100m バタフライ	:53.49	1 位	:50.78	優勝	ベスト

女子	種目	予選		決勝		
		タイム	順位	タイム	順位	備考
貴田 裕美	200m 自由形	2:01.85	9 位			
	800m 自由形			8:31.08	2 位	T 決勝
	400m 個人メドレー			4:42.14	4 位	T 決勝
小口 綾乃	100m 自由形	:58.86	21 位			
	800m 自由形			8:49.74	8 位	
	200m バタフライ			2:18.26	5 位	T 決勝
	100m 個人メドレー	1:05.72	10 位			予ベスト
	200m 個人メドレー	2:19.70	7 位	2:19.71	8 位	
平井 稚菜	50m 自由形	:26.60	13 位			
	100m 自由形	:58.68	20 位			
	50m 背泳ぎ	:28.57	3 位	:27.89	3 位	
	100m 背泳ぎ	1:03.00	8 位	1:01.34	6 位	
	100m 個人メドレー	1:05.61	9 位			
田村 菜々香	50m 平泳ぎ			:31.54	4 位	T 決勝
	100m 平泳ぎ			1:07.80	5 位	T 決勝
	200m 平泳ぎ			2:23.89	3 位	T 決勝

(イ) シンガポール・シンガポール

男子	種目	予選		決勝		
		タイム	順位	タイム	順位	備考
渡邊 一樹	50m 背泳ぎ	25.59	6 位	25.14	6 位	
	100m 背泳ぎ	54.29	1 位	52.47	6 位	
	200m 背泳ぎ	2:00.71	2 位	1:53.74	3 位	
大塚 一輝	100m 平泳ぎ	1:01.06	1 位	59.73	3 位	
	200m 平泳ぎ	2:12.62	1 位	2:06.09	2 位	
富田 尚弥	50m 平泳ぎ	28.11	4 位	27.22	4 位	
	100m 平泳ぎ	1:01.65	4 位	58.84	2 位	
	200m 平泳ぎ	2:12.83	2 位	2:05.43	優勝	
	200m 個人メドレー	2:06.02	9 位			
河本 耕平	50m バタフライ	24.01	5 位	23.13	3 位	ベスト

	100m バタフライ	54.47	4 位	50.99	2 位	
--	------------	-------	-----	-------	-----	--

女子	種目	予選		決勝		
		タイム	順位	タイム	順位	備考
貴田 裕美	200m 自由形	2:01.91	5 位	2:02.61	8 位	
	400m 自由形	4:13.36	2 位	4:11.09	3 位	
	800m 自由形			8:32.34	2 位	T 決勝
小口 綾乃	100m 自由形	58.48	16 位			予ベスト
	200m 自由形	2:03.28	7 位	2:02.42	7 位	
	400m 自由形	4:17.41	3 位	4:16.34	4 位	
	800m 自由形			8:46.32	6 位	T 決勝
平井 稚菜	50m 自由形	26.41	13 位			
	100m 自由形	57.62	13 位			
	50m 背泳ぎ	28.47	4 位	27.92	4 位	
	100m 背泳ぎ	棄権				
	100m 個人メドレー	1:04.05	8 位	1:04.35	7 位	予ベスト
田村 菜々香	50m 平泳ぎ	32.29	5 位	31.46	4 位	
	100m 平泳ぎ	1:08.80	2 位	1:06.80	2 位	
	200m 平泳ぎ	2:32.03	2 位	2:22.74	優勝	

⑤ ワールドカップ大会 (ヨーロッパ)

(ア) ドイツ・ベルリン

平成22年10月30日・31日

(イ) ロシア・モスクワ

平成22年11月2日・3日

(ウ) スウェーデン・ストックホルム

平成22年11月6日・7日

選手団編成

ヘッドコーチ 畑井 宏道

コーチ 磯川 憲一 立川 道宣 大窪 康治 野元 良寛

麻績 隆二 磯田 一宏

男子 東 隼平 多田 邦徳 萩野 公介 瀬戸 大也

女子 原田 真衣 神村 万里恵 福留 景子 渡部 香生子

茂木 美桜 細田 梨乃

成績

(ア)ドイツ・ベルリン

男子	種目	予選		決勝		
		タイム	順位	タイム	順位	備考
東 隼平	400m 自由形	3:50.02	8 位	3:48.01	7 位	
	1500m 自由形			15:03.22	7 位	
	200m 個人メドレー	2:03.02	14 位			
多田 邦徳	100m 背泳ぎ	54.04	10 位			
	200m 背泳ぎ	1:56.09	6 位	1:57.74	6 位	
萩野 公介	100m 個人メドレー	54.90	5 位	54.95	6 位	

	200m 個人メドレー	1:58.40	3 位	1:56.95	5 位	
	400m 個人メドレー			4:09.10	4 位	T 決勝
瀬戸 大也	200m 個人メドレー	1:57.22	1 位	1:56.44	4 位	
	400m 個人メドレー			4:04.66	3 位	日本新・T 決勝

女子	種目	予選		決勝		
		タイム	順位	タイム	順位	備考
原田 真衣	50m 背泳ぎ	28.62	16 位			
	100m 背泳ぎ	59.88	10 位			
	200m 背泳ぎ	2:11.33	14 位			
神村 万里恵	50m 背泳ぎ	28.07	6 位	27.75	6 位	ベスト
	100m 背泳ぎ	59.64	5 位	59.15	4 位	
	200m 背泳ぎ	2:07.00	3 位	2:06.30	5 位	
	100m 個人メドレー	1:04.01	17 位			予ベスト
福留 景子	50m 平泳ぎ	32.74	18 位			
	100m 平泳ぎ	1:08.99	8 位	1:08.75	8 位	
	200m 平泳ぎ	2:26.53	7 位	2:23.24	4 位	
	200m 個人メドレー	2:17.16	17 位			
渡部 香生子	50m 自由形	26.78	24 位			
	100m 背泳ぎ	1:02.93	32 位			
	100m 平泳ぎ	1:09.08	9 位			
	200m 平泳ぎ	2:26.13	4 位	2:24.02	7 位	ベスト
茂木 美桜	100m 平泳ぎ	1:07.58	5 位	1:07.25	5 位	ベスト
	#REF!	2:26.34	5 位	2:23.79	5 位	
細田 梨乃	100m 自由形	56.79	29 位			
	50m バタフライ	26.78	5 位	26.69	5 位	
	100m バタフライ	59.85	9 位			

(イ)ロシア・モスクワ

男子	種目	予選		決勝		
		タイム	順位	タイム	順位	備考
東 隼平	200m 自由形	1:48.57	13 位			
	200m バタフライ	2:01.16	12 位			
	200m 個人メドレー	2:03.36	13 位			
	400m 個人メドレー			4:18.60	7 位	T 決勝
多田 邦徳	50m 背泳ぎ	25.13	9 位			
	100m 背泳ぎ	55.20	20 位			
	200m 背泳ぎ	1:58.38	10 位			
萩野 公介	200m 自由形	1:47.97	10 位			

	100m 背泳ぎ	53.40	8 位	52.50	7 位	
	200m 背泳ぎ	1:55.27	5 位	1:53.93	5 位	
	100m 個人メドレー	55.87	10 位			
瀬戸 大也	100m 自由形	51.14	41 位			
	200m 自由形	1:48.40	12 位			
	400m 自由形	3:50.20	2 位	3:48.85	5 位	
	100m 個人メドレー	55.61	8 位	55.38	8 位	予・決ベスト

女子	種目	予選		決勝		
		タイム	順位	タイム	順位	備考
原田 真衣	50m 背泳ぎ	28.46	7 位	28.47	7 位	
	100m 背泳ぎ	1:00.50	5 位	1:00.64	7 位	
	200m 背泳ぎ	2:10.74	9 位			
神村 万里恵	50m 背泳ぎ	28.11	4 位	27.58	2 位	ベスト
	100m 背泳ぎ	59.77	3 位	59.34	3 位	
	200m 背泳ぎ	2:07.54	1 位	2:06.34	4 位	
福留 景子	50m 平泳ぎ	32.79	16 位			
	100m 平泳ぎ	1:09.68	12 位			
	200m 平泳ぎ	2:25.18	1 位	2:23.37	優勝	
	200m 個人メドレー	2:16.48	11 位			予ベスト
渡部 香生子	50m 背泳ぎ	29.26	15 位			
	50m 平泳ぎ	32.70	15 位			
	100m 平泳ぎ	1:10.05	14 位			
	200m 平泳ぎ	2:29.59	7 位	2:28.37	7 位	
茂木 美桜	50m 平泳ぎ	32.27	9 位			予ベスト
	100m 平泳ぎ	1:08.76	6 位	1:07.64	4 位	
	200m 個人メドレー	2:16.20	9 位			
細田 梨乃	100m バタフライ	58.88	3 位	58.75	4 位	
	200m バタフライ	2:16.43	9 位			

(ウ) スウェーデン・ストックホルム

男子	種目	予選		決勝		
		タイム	順位	タイム	順位	備考
東 隼平	100m 自由形	50.84	30 位			
	200m 自由形	1:47.64	10 位			
	400m 自由形	3:49.89	6 位	3:46.78	4 位	
	1500m 自由形			15:04.08	3 位	T 決勝
多田 邦徳	100m 背泳ぎ	54.71	14 位			
	200m 背泳ぎ	1:56.05	8 位			
萩野 公介	200m 個人メドレー	1:58.10	1 位	1:57.61	5 位	

	400m 個人メドレー			4:08.56	2 位	ベストタイ・T 決勝
瀬戸 大也	100m 平泳ぎ	1:00.22	4 位	59.99	6 位	
	200m 平泳ぎ	2:11.12	6 位	2:07.52	3 位	
	100m バタフライ	53.28	4 位	52.96	5 位	ベスト
	200m バタフライ	1:56.73	1 位	1:53.57	優勝	ベスト

女子	種目	予選		決勝		
		タイム	順位	タイム	順位	備考
原田 真衣	50m 背泳ぎ	28.97	19 位			
	100m 背泳ぎ	1:00.31	6 位	59.94	7 位	
	200m 背泳ぎ	2:10.97	12 位			
神村 万里恵	50m 背泳ぎ	28.55	10 位			
	100m 背泳ぎ	1:00.40	7 位	59.44	6 位	
	200m 背泳ぎ	2:08.04	2 位	2:05.41	3 位	
福留 景子	50m 平泳ぎ	32.67	16 位			
	100m 平泳ぎ	1:09.02	8 位	1:07.82	6 位	
	200m 平泳ぎ	2:26.40	5 位	2:22.56	4 位	ベスト
	200m 個人メドレー	2:17.90	14 位			
渡部 香生子	50m 自由形	26.72	32 位			
	100m 自由形	57.91	35 位			予ベスト
	200m 自由形	2:03.93	27 位			予ベスト
	50m 背泳ぎ	28.99	20 位			予ベスト
	100m 個人メドレー	1:02.39	6 位	1:02.64	7 位	予ベスト
茂木 美桜	100m 平泳ぎ	1:08.50	6 位	1:07.46	5 位	
	200m 平泳ぎ	2:25.25	3 位	2:22.17	3 位	ベスト
細田 梨乃	50m 自由形	26.30	23 位			
	50m バタフライ	26.83	7 位	26.45	6 位	ベスト・中学新
	100m バタフライ	59.98	12 位			

⑥ 世界短水路選手権

平成22年12月15日～19日

UAE・ドバイ

選手団編成

監督	上野 広治			
ドクター	金岡 恒治			
ヘッドコーチ	萬久 博敏			
コーチ	加藤 健志	西脇 正人	藤井 太郎	太田 伸
	岡田 昌之			
トレーナー	堀内 光仁	吉沢 剛		
男子	岸田 真幸	藤井 拓郎	入江 陵介	山口 雅文
	富田 尚弥	高安 亮		
女子	藤野 舞子	竹村 幸	松島 美菜	金藤 理絵
	杉野 紘子			

成績

男子	種目	予選	順位	準決勝	順位	決勝	順位	備考
高安 亮	50m バタフライ	:23.83	31 位	—————				
	100m バタフライ	:51.35	13 位	:51.31	13 位			
	100m 自由形	:49.71	43 位					ベスト
岸田 真幸	50m 自由形	:21.67	14 位					準決勝棄権
	100m 自由形							棄権
	50m バタフライ	:22.98	6 位	:22.88	5 位	:22.79	7 位	
	100m バタフライ	:50.85	4 位	:50.58	2 位	:50.64	4 位	
山口 雅文	50m 背泳ぎ	:24.22	17 位					
	100m 背泳ぎ	:51.84	13 位	:52.13	15 位			
入江 陵介	50m 背泳ぎ	:24.32	20 位					ベスト
	100m 背泳ぎ	:51.32	6 位	:50.98	8 位	:50.55	5 位	準、決:ベスト
	200m 背泳ぎ	1:51.85	5 位			1:50.18	5 位	
富田 尚弥	50m 平泳ぎ	:27.75	27 位					
	100m 平泳ぎ	:58.43	7 位	:57.97	6 位	失格		
	200m 平泳ぎ	2:04.93	2 位			2:03.12	優勝	日本新、大会新
藤井 拓郎	100m 個人メドレー	:53.12	9 位	:52.43	5 位	:52.36	6 位	準、決:日本新
	200m 個人メドレー	1:56.17	14 位					ベスト
4x100m メドレーリレー	予選	3:27.32	8 位	決勝		3:25.67	7 位	日本新
	山口雅文	:51.02		入江陵介		:50.88		
	富田尚弥	:58.21		富田尚弥		:57.49		
	岸田真幸	:51.81		岸田真幸		:50.29		
	藤井拓郎	:46.12		藤井拓郎		:47.01		

女子	種目	予選	順位	準決勝	順位	決勝	順位	備考
藤野 舞子	200m 自由形	2:03.01	46 位					
	400m 自由形	4:09.40	20 位					ベスト
	800m 自由形					8:29.65	14 位	
	200m 個人メドレー	2:13.87	18 位					
	400m 個人メドレー	4:35.60	8 位			4:36.16	8 位	
竹村 幸	50m 背泳ぎ	27.45	10 位	27.10	6 位	26.91	4 位	準、決・ベスト
	100m 背泳ぎ	59.55	21 位					
	200m 背泳ぎ	2:08.43	13 位					
杉野 紘子	50m バタフライ	28.15	37 位					
	100m バタフライ	59.67	29 位					
	200m バタフライ	2:07.81	13 位					ベスト
金藤 理絵	50m 平泳ぎ	32.34	34 位					
	100m 平泳ぎ	1:08.74	23 位					

	200m 平泳ぎ	2:21.36	4 位		2:22.11	7 位	
松島 美菜	50m 平泳ぎ	31.61	20 位				
	100m 平泳ぎ	1:06.77	11 位	1:06.45	11 位		ベスト
	200m 平泳ぎ	2:25.23	15 位				ベスト
4x100m メドレー	予選	4:02.44	11 位				
	竹村幸	58.84					
	金藤理絵	1:08.51					
	杉野紘子	58.12					
	藤野舞子	56.97					

⑦ ジュニアオーストラリア遠征 平成23年2月11日～13日 オーストラリア・シドニー

選手団編成

ヘッドコーチ	森 謙一郎			
コーチ	麻績 隆二	深田 大貴	磯田 一宏	
総務	Campese 和加子			
男子	内田 仁	矢野 貴寛	鷺尾 春紀	平井 彬嗣
	佐藤 祐斗	鏡味 卓也	後藤 滉平	宇都宮 壱基
	神野 雄司	村川 諒		
女子	高野 綾	宮澤 遥	山下 安輝	亀森 美紀
	金指 美紅	渡部 香生子	茂木 美桜	廣瀬 夏希
	上田 奈美希	橋口 若葉		

成績

男子	種目	予選	順位	備考	決勝	順位	備考
内田 仁	50Fr	24.06	24				
	100Fr	51.52	17		B	51.80	19
	200Fr	1:53.08	15	Best	B	1:53.50	18
	200IM	2:04.97	2		A	2:07.07	8
	400IM	4:30.28	5		A	4:26.04	4
矢野 貴寛	50Fr	25.49	99				
	100Fr	52.83	44				
	200Fr	1:53.67	19		B	1:54.62	20
	100Fly	57.49	32				
	200Fly	2:02.56	3	Best	A	2:01.50	3
鷺尾 春紀	200Fr	1:53.10	16		B	1:53.11	17
	400Fr	3:57.15	5		A	3:56.74	9
	100Fly	59.16	52				
平井 彬嗣	200Fr	1:56.05	30				
	400Fr	3:57.35	7		A	3:58.11	10
	1500Fr					15:27.35	3
佐藤 祐斗	200Fr	1:58.08	53				

	400Fr	3:57.34	6		A	3:54.87	5	Best/National
	1500Fr					15:17.22	2	Best/ National
鏡味 卓也	50Fr	24.93	59					
	100Fr	52.72	43					
	100Ba	58.56	12		B	58.89	15	
	200Ba	2:04.79	6		A	2:04.63	6	
	200Fly	2:03.54	6	Best	A	2:04.18	9	
後藤 滉平	50Br	29.45	5	Best	A	29.91	7	
	100Br	1:03.76	2		A	1:03.64	3	
	200Br	2:20.38	4		A	2:16.70	3	
宇都宮 耆基	100Br	1:05.87	10		A	1:05.34	7	
	200Br	2:18.94	2		A	2:16.44	2	National
	200IM	2:10.29	14		B	2:08.46	11	
神野 雄司	100Fr	55.81	117					
	200Fr	1:59.26	62					
	50Fly	26.02	34					
	100Fly	55.46	11		A	55.30	8	
	200Fly	2:01.59	2		A	2:02.17	5	
村川 諒	200Fly	2:03.57	7	Best	A	2:03.11	6	Best
	200IM	2:04.53	3		A	2:03.80	5	Best
	400IM	4:24.29	1		A	4:22.18	3	
男子 400F リレー						3:27.29	3	
男子 800F リレー						7:32.21		優勝
男子 400 メドレーリレー						3:47.54		優勝

女子	種目	予選	順位	備考	決勝		順位	備考
高野 綾	100Fr	57.35	16		B	57.16	15	
	200Fr	2:04.02	17		B	2:03.07	14	
	400Fr	4:20.75	13		B	4:17.29	11	
	800Fr	8:58.09	9	予選組				
	100Fly	1:02.69	12	Best	B	1:02.27	13	Best
宮澤 遥	400Fr	4:23.06	17		B	4:21.21	16	
	800Fr				A	8:55.48	7	最終組決勝
山下 安輝	50Ba	30.23	12		B	30.30	16	
	100Ba	1:03.98	12		B	1:03.91	13	
	200Ba	2:14.76	4		B	2:16.20	7	
亀森 美紀	50Ba	30.55	17		B	30.47	18	
	100Ba	1:05.29	21					
	200Ba	2:17.27	12		B	2:17.02	14	

金指 美紅	50Br	32.63	3	Best	A	32.51	4	Best
	100Br	1:09.27	3	Best/National	A	1:08.89	3	Best/National
	200Br	2:32.17	5		A	2:30.61	6	
	200IM	2:27.39	34	Best				
渡部香生子	50Br	32.87	6	Best	A	33.35	8	
	100Br	1:09.05	2	Best/National	A	1:08.48	2	Best/Intre(中新)
	200Br	2:28.04	1		A	2:26.84	優勝	Inter
	200IM	2:21.88	12	Best	B	2:20.32	12	Best
茂木 美桜	50Fr	27.35	25					
	100Fr	58.44	28					
	50Br	33.60	12		B	33.28	11	
	100Br	1:10.56	5		A	1:10.09	8	
	200Br	2:29.87	2		A	2:28.29	4	National
	200IM	2:19.90	8		A	2:19.58	7	
廣瀬 夏希	50Fr	28.85	109					
	100Fr	1:01.03	71					
	50Fly	29.16	25	Best				
	100Fly	1:03.41	18		B	1:02.97	18	
	200Fly	2:15.92	7		A	2:14.63	6	
上田奈美希	50Fr	28.40	71					
	100Br	1:12.37	11		B	1:12.43	14	
	100Fly	1:02.97	16	Best	B	1:03.02	19	
	200IM	2:17.46	3		A	2:16.71	4	
橋口 若葉	100Fr	59.72	46					
	200Fr	2:11.21	56					
	400Fr	4:28.83	30					
	800Fr				A	9:08.90	16	最終組決勝
	100Ba	1:07.86	36					
	200Fly	2:23.86	24					
	200IM	2:25.76	22					
	400IM	4:56.15	6		A	4:59.50	7	
女子 400F リレー						3:52.69	4	
女子 800F リレー						8:24.04	2	
女子 400 メドレーリレー					A	4:12.44	2	

⑧ ジュニアブロック・シンガポール遠征 平成23年3月17日～19日 シンガポール・シンガポール
選手団編成

団長	大桃 正隆				
ドクター	辰村 正紀				
ヘッドコーチ	太田 靖彦				
コーチ	西宮 勝利	吉田 光宏	坂本 和也	八田 知宏	

	西上 幸治	竹内 彰將	堤 聖一	
シヤペロン	岩原 直子			
男子	石井 亨	江原 騎士	内村 甲	田口 直輝
	稲員 悠太	竹田 涉瑚	村田 宜陽	毛利 衛
	加藤 遙	山田 泰也	渡辺 隼斗	大谷 翼
	中村 優介	三好 悠介	堤 大陸	坂井 聖人
女子	和賀 知実	中館 涼	鹿糠 志帆	渡辺 彩
	篠原 春奈	中村 桃子	佐藤 綾	田尾 優里香
	埜下 左知代	山田 千尋	松永 光	芦村 優奈
	佐々木 麻い	照喜納 志帆	宮本 靖子	菅 晴瑠奈

成績

男子	種目	記録	順位	年齢区分	備考	
石井 亨 市立秋田商業高(1年) 秋田 AC	50 Fr	24.56	7	15-17		
	100 Fr	53.86	7	15-17		
	200 Fr	1:55.57	4	15-17		
	100 Fr	53.67	3	対抗戦		
	200 Fr	1:56.29	2	対抗戦		
江原 騎士 山梨学院大学附高(2年) フイツ SC	50 Fr	23.93	優勝	15-17	大会新	ベスト
	100 Fr	52.24	優勝	15-17		
	200 Fr	1:52.12	優勝	15-17	大会新	
	400 Fr	3:58.33	優勝	15-17	大会新	ベスト
	1500 Fr	15:43.93	2	15-17		ベスト
	50 Fr	24.11	2	対抗戦		
内村 甲 市立睦合東中(2年) レオ SS 厚木	50 Fr	25.09	3	13-14		ベスト
	100 Fr	53.89	3	13-14		ベスト
	200 Fr	1:56.04	優勝	13-14	大会新	ベスト
	100 Fly	57.21	2	13-14		
	100 Fly	57.27	2	対抗戦		
	200 Fr	1:58.06	3	対抗戦		
田口 直輝 日本大学豊山高(1年)	50 Fr	24.27	3	15-17		ベスト
	50 Br	29.44	3	15-17		
	100 Br	1:03.96	2	15-17		
	200 Br	2:16.05	2	15-17		
	200 IM	2:04.66	優勝	15-17	大会新	ベスト
	200 Br	2:14.92	優勝	対抗戦	N 突破	
	200 IM	2:03.75	優勝	対抗戦	N 突破	ベスト
稲員 悠太 都立小石川中(3年) 東京 SC	50 Br	32.14	17	15-17		ベスト
	100 Br	1:08.18	10	15-17		
	200 Br	2:21.84	6	15-17		
	200 IM	2:12.47	7	15-17		ベスト
	400 IM	4:41.69	5	15-17		ベスト

	200	IM	2:14.59	3	対抗戦		
	400	IM	4:40.03	2	対抗戦		ベスト
竹田 涉瑚 富山北部高(1年)	200	Fr	1:56.17	5	15-17		ベスト
富山 SC 東富山	400	Fr	4:01.89	4	15-17		ベスト
	1500	Fr	15:34.61	優勝	15-17	大会新	ベスト
	400	IM	4:31.65	2	15-17		ベスト
	400	IM	4:40.62	3	対抗戦		
	400	Fr	4:03.30	2	対抗戦		
村田 宜陽 市立野田中学校(3年)	400	Fr	4:18.71	3	13-14		
金沢 SC 小立野	100	Ba	1:00.36	2	13-14		ベスト
	200	Ba	2:06.94	優勝	13-14	大会新	
	200	IM	2:12.39	3	13-14		ベスト
	400	IM	4:36.33	3	13-14		ベスト
	100	Ba	1:01.90	2	対抗戦		
	200	Ba	2:08.37	優勝	対抗戦		
	200	IM	2:16.17	4	対抗戦		
	400	IM	4:38.77	優勝	対抗戦		
毛利 衛 市立北振中(3年)	50	Br	30.22	優勝	13-14		ベスト
金沢 SC 三十苺教場	100	Br	1:06.45	優勝	13-14		
	200	Br	2:16.82	優勝	13-14	大会新	ベスト
	200	IM	2:13.83	4	13-14		ベスト
	200	Br	2:18.08	3	対抗戦		
加藤 遥 市立小泉中(3年)	50	Br	29.95	5	15-17		ベスト
JSS 多治見中央	100	Br	1:04.93	6	15-17		
	200	Br	2:19.69	5	15-17		ベスト
	50	Fr	26.03	7	対抗戦		
	100	Br	1:04.54	3	対抗戦		
山田 泰也 市立猪子石中(2年)	200	Ba	2:08.00	2	13-14		ベスト
東邦 SC	200	IM	2:06.15	優勝	13-14	大会新/N 突破	ベスト
	400	IM	4:29.31	優勝	13-14	大会新/N 突破	ベスト
	200	Ba	2:09.38	2	対抗戦		
	200	IM	2:10.81	2	対抗戦		
渡辺 隼斗 市立沼田高(2年)	50	Br	29.26	2	15-17		ベスト
JSS 広島 SS	100	Br	1:03.87	優勝	15-17	大会新	ベスト
	200	Br	2:18.46	3	15-17		
	100	Br	1:03.82	優勝	対抗戦		ベスト
大谷 翼 市立昭和中(3年)	200	Fr	1:59.29	13	15-17		
ダイクレ SC	400	Fr	4:07.27	7	15-17		
	1500	Fr	16:17.34	4	15-17		
	400	IM	4:37.72	4	15-17		ベスト

	400	Fr	4:13.12	3	対抗戦		
	400	IM	4:42.71	4	対抗戦		
中村 優介 県立三木高(1年) ジャパン SS 三木	50	Br	30.34	8	15-17		ベスト
	100	Br	1:04.01	3	15-17		ベスト
	200	Br	2:18.46	3	15-17		
	100	Br	1:05.85	6	対抗戦		
	200	Br	2:20.89	4	対抗戦		
三好 悠介 市立三瓶中(3年) 八幡浜 SC	50	Fr	23.86	優勝	13-14	大会新	ベスト
	100	Fr	52.39	優勝	13-14		ベスト
	200	Fr	1:58.40	3	13-14		
	100	Fly	55.40	優勝	13-14	大会新	ベスト
	50	Fr	23.99	優勝	対抗戦		
	100	Fly	57.97	3	対抗戦		
堤 大陸 県立佐伯鶴城高(2年)	50	Br	29.58	4	15-17		ベスト
	100	Br	1:04.04	4	15-17		
	200	Br	2:16.00	優勝	15-17	大会新	ベスト
	100	Br	1:04.20	2	対抗戦		
	200	Br	2:16.89	2	対抗戦		
坂井 聖人 市立柳城中(3年) 柳川 SC	50	Fly	25.43	優勝	15-17	大会新	ベスト
	100	Fly	55.09	優勝	15-17	大会新	ベスト
	200	Fly	2:02.97	優勝	15-17	大会新	
	100	Fr	53.66	6	15-17		ベスト
	400	Fr	4:01.52	3	15-17		ベスト
	200	IM	2:10.13	3	15-17		
	400	IM	4:28.32	優勝	15-17		ベスト
	100	Fly	55.69	優勝	対抗戦		
	200	Fly	2:01.95	優勝	対抗戦		
男子(江原・三好・坂井・石井)	4×100	FR	3:31.46	優勝	対抗戦		
男子(江原・竹田・内村・石井)	4×200	FR	7:39.46	優勝	対抗戦		
男子 A(村田・渡辺・坂井・江原)	4×100	MR	3:50.83	2	対抗戦		
男子 B(山田・田口・三好・石井)	4×100	MR	3:49.57	優勝	対抗戦		
	1 泳	山田	:59.66			ベスト	

女子	種目	記録	順位	年齢区分	備考	
和賀 知実 市立月寒中(3年) コナミスポーツクラブ白石	50	Fly	29.11	3	13-14	
	100	Fly	1:04.49	3	13-14	
	200	Fly	2:20.12	2	13-14	
	100	Fly	1:03.81	3	対抗戦	
	200	Fly	2:20.00	2	対抗戦	
中館 涼	50	Ba	31.19	優勝	13-14	

市立東光中(2年) コナミ SC 旭川	100	Ba	1:05.86	優勝	13-14		
	200	Ba	2:19.41	優勝	13-14	大会新	
	100	Ba	1:06.39	3	対抗戦		
	200	Ba	2:19.64	2	対抗戦		
鹿糠 志帆 県立秋田高(2年) 秋田 AC	50	Br	35.95	6	15-17		
	100	Br	1:17.78	3	15-17		
	200	Br	2:46.22	3	15-17		
	200	IM	2:26.67	6	15-17		
	400	IM	5:09.46	3	15-17		
	200	IM	2:29.23	4	対抗戦		
渡辺 彩 昭和学院高(2年) Nalu Aquatic Club	400	Fr	4:27.79	2	15-17		
	200	Fly	2:15.99	優勝	15-17		
	200	Ba	2:20.55	2	15-17		
	200	IM	2:19.47	優勝	15-17		
	400	IM	4:49.60	優勝	15-17		
	200	IM	2:19.43	優勝	対抗戦		
	400	IM	4:57.05	優勝	対抗戦		
篠原 春奈 市立福栄中(3年) セントラルスポーツ	50	Br	34.20	4	13-14		
	100	Br	1:12.52	2	13-14		ベスト
	200	Br	2:33.03	優勝	13-14	大会新	
	200	IM	2:19.88	優勝	13-14	大会新	
	200	Br	2:32.53	優勝	対抗戦		
	200	IM	2:21.62	2	対抗戦		
中村 桃子 八王子高(2年) 金田 SC	50	Fr	27.80	7	15-17		ベストタイ
	50	Ba	29.61	優勝	15-17		ベスト
	100	Ba	1:03.51	優勝	15-17		
	100	Ba	1:03.25	優勝	対抗戦		
	200	Ba	2:16.54	優勝	対抗戦		
佐藤 綾 長野東高(1年) 長電 SS 須坂	50	Fr	27.37	4	15-17		ベスト
	100	Fr	57.71	5	15-17		ベスト
	200	Fr	2:05.78	5	15-17		ベスト
	50	Fr	27.20	3	対抗戦		ベスト
	100	Fr	58.87	6	対抗戦		
田尾 優里香 津田学園高(2年)	50	Fr	27.54	5	15-17		
	100	Fr	57.66	4	15-17		
	200	Fr	2:05.77	4	15-17		
	100	Fly	1:03.37	優勝	15-17		
	50	Fr	27.68	6	対抗戦		
	100	Fr	58.71	4	対抗戦		

埜下 左知代 富士見高(2年) RSC 富士	50	Fr	27.08	3	15-17		
	100	Fr	58.33	6	15-17		
	50	Fly	29.02	2	15-17		ベスト
	50	Br	33.40	優勝	15-17		
	100	Br	1:12.23	優勝	15-17	大会新	
	200	Br	2:35.73	優勝	15-17	大会新	
	200	IM	2:21.29	2	15-17		
	400	IM		失格	15-17		
	50	Fr	27.29	4	対抗戦		
	100	Br	1:13.69	3	対抗戦		
山田 千尋 市立新喜多中(2年) 小坂 SC	400	Fr	4:30.85	優勝	13-14		ベスト
	800	Fr	9:11.48	優勝	13-14		ベスト
	200	Ba	2:25.62	2	13-14		
	50	Fly	30.49	6	13-14		
	200	IM	2:20.92	3	13-14		
	400	IM	4:55.82	優勝	13-14	大会新	
	400	Fr	4:31.98	優勝	対抗戦		
	400	IM	4:59.51	2	対抗戦		
松永 光 市立秋芳南中(2年) きらら NAP	50	Br	35.24	7	13-14		
	100	Br	1:13.15	4	13-14		
	200	Br	2:34.13	2	13-14		
	400	IM		失格	13-14	*ドルフィン	
	100	Br	1:13.63	2	対抗戦		
	200	Br	2:33.84	2	対抗戦		
芦村 優奈 市立平田中(2年) KSG きらら SSS 岩国	100	Fly	1:03.60	2	13-14		
	200	Fly	2:18.92	優勝	13-14		ベスト
	200	IM	2:20.62	2	13-14		
	400	IM	4:57.31	2	13-14		
	100	Fly	1:03.39	優勝	対抗戦		
	200	Fly	2:17.76	優勝	対抗戦		
佐々木 麻い 土佐高(1年) JSS 高知	50	Ba	29.81	2	15-17		ベスト
	100	Ba	1:04.03	2	15-17		
	200	Ba	2:19.07	優勝	15-17	大会新	
	100	Ba	1:04.86	2	対抗戦		
	200	Ba	2:20.00	3	対抗戦		
照喜納 志帆 市立道後中(2年) かしま SC 道後	50	Br	33.56	2	13-14		
	100	Br	1:12.05	優勝	13-14	大会新	ベスト
	100	Br	1:11.41	優勝	対抗戦		ベスト
	200	Br	2:36.73	3	対抗戦		ベスト
宮本 靖子	50	Fr	26.68	2	15-17		

九州学院高(1年) はるおか SS 大江	100	Fr	57.62	3	15-17		ベスト
	200	Fr	2:01.91	優勝	15-17		
	100	Fr	57.75	2	対抗戦		
	200	Fr	2:02.48	優勝	対抗戦		
菅 晴瑠奈 市立桜が原中(3年) ウオーターメイツ SC 長崎	50	Fr	27.79	6	15-17		
	100	Fr	1:00.24	8	15-17		
	200	Fr	2:06.88	7	15-17		ベスト
	100	Fr	59.52	7	対抗戦		
	200	Fr	2:08.59	4	対抗戦		
女子(田尾・埜下・佐藤・宮本)	4×100	FR	3:53.76	優勝	対抗戦		
女子(田尾・菅・渡辺・佐藤)	4×200	FR	8:26.22	優勝	対抗戦		手動
女子 A(中村・照喜納・田尾・宮本)	4×100	MR	4:16.42	優勝	対抗戦		
女子 B(佐々木・埜下・芦村・佐藤)	4×100	MR	4:20.31	2	対抗戦		

(2) 日韓スポーツ交流事業

① 海外合同合宿

期間 平成22年10月27日～11月1日 6日間

場所 韓国・釜山

選手団編成

監督	箕輪田 晃			
コーチ	小池 隆治	小粥 由美子	石黒 雄介	
男子	佐藤 祐斗	川本 武史	竹下 正悟	榊原 司
	山田 泰也	榊原 侑馬	山田 修嗣	村上 欣義
女子	勝山 海輝	小西 怜実	阪野 真帆利	原 優美
	谷口 憂羅	後藤 真由子	寺本 瑠美	森山 幸美

② 国内合同合宿

期間 平成22年12月2日～7日 6日間

場所 愛知県・名古屋市

選手団編成

監督	箕輪田 晃			
コーチ	小池 隆治	小粥 由美子	石黒 雄介	
男子	佐藤 祐斗	川本 武史	竹下 正悟	榊原 司
	山田 泰也	榊原 侑馬	山田 修嗣	村上 欣義
女子	勝山 海輝	小西 怜実	阪野 真帆利	原 優美
	谷口 憂羅	後藤 真由子	寺本 瑠美	森山 幸美

2. 飛込

飛込委員長 末弘 昭人

平成 22 年度のナショナル強化対象選手は、継続的に派遣してきた F I N A グランプリシリーズ（カナダ・アメリカ大会）と F I N A ワールドカップへの選手派遣を国内における強化合宿に徹し、派遣大会を 1 2 月に開催されたアジア大会（中国・広州）に絞った。

4 月に室内選抜飛込競技会で選考された選手達はアジア大会派遣までに延 3 8 日に亘る 6 度の合宿をこなし、個人の技術面における向上の他、シンクロナイズドダイビングへの練習時間も十分に割いて大会に臨んだが、前回のメダル 4 個獲得から大きく後退し、今回はシンクロナイズドダイビングの 1 個に終わった。この数年徐々に力を付けて来た事でマークをしていたマレーシアには完敗した。演技種目の高等化が進む中で、ジュニアの時期からの 3 回半種目習得を目指し、陸上練習の強化と共に体力作りの低年齢化を進める事が必要である。

ジュニア強化では例年行なっている 2 度のジュニア強化合宿を実施した他、9 月にアメリカ・ツーソンで開催された F I N A 世界ジュニア選手権に選手 6 名を派遣した。6 月末の選考会を経て 7 月に事前合宿を行い、8 月の日本高校と全国中学に参加したあと現地に向かった。酷暑の中での試合であったが良く健闘し、メダル 2 個（金、銅）の他、入賞 3 種目という前回大会を上回る結果を残した。また、ジュニアの時期から国際感覚を身に付け将来に資するために、海外における試合経験を積む場を確保する事を目的として、費用の一部補填をするジュニア海外遠征先として 1 2 月に C A M O 国際招待競技会（カナダ・モントリオール）にジュニア強化選手 9 名を派遣し、メダル 2 個（金・銅）に加えて入賞 8 種目という結果を残した。

シニアの部に参加した北京オリンピック銀メダリスト（3m）の Alexandre Despatie（CAN）と一緒に練習したり、同年代の外国選手との競い合い等を通じて、ジュニアの時期に世界を知り自己の弱点や不足する部分を実感する事が出来た事は、翌シーズンからのあらたな目標設定等に必ず効果が表れるものと信じる。

先般 FINA 競技規則が改正された事を受け、FINA TDC 前委員長 Kathy Seaman 氏を招聘して、変更点の詳細に亘る講義と審判実技の評価を中心としたジャッジクリニックを開講し、審判技術の向上を図った。

(1) 国際競技会

① ジュニア世界選手権 平成22年9月1日～6日 アメリカ・ツーソン

選手団編成

ヘッドコーチ	馬淵 崇英				
コーチ	野村 孝路	樋口 まゆみ			
トレーナー	成田 崇也				
男子	坂井 丞	大塚 千誠			
女子	辰巳 楓佳	辻原 朱里	山根 花	馬淵 優佳	
審判	伊藤 正明				

成績

種 目	氏 名	所 属	予 選		決 勝			
			得点	順位	得点	順位		
男 子	A	3m 飛板飛込	坂井 丞	麻布大附属渕野辺高校	566.30	1位	535.05	7位
		高 飛 込	坂井 丞	麻布大附属渕野辺高校	564.20	2位	585.90	4位
	B	3m 飛板飛込	大塚 千誠	芥田学園中学校	379.65	14位	—	
		高 飛 込	大塚 千誠	芥田学園中学校	356.70	14位	—	

女子	A	3m 飛板飛込	辻原 朱里	松任高等学校	395.45	13位	—		
			山根 花	甲子園学院高校	379.35	18位	—		
		高 飛 込	辰巳 楓佳	甲子園学院高校	409.30	1位	445.05	優勝	
			辻原 朱里	松任高等学校	369.30	8位	346.55	11位	
	AB	3m シンクロ	辰巳 楓佳	甲子園学院高校			270.12	5位	
			馬淵 優佳	甲子園学院高校					
	B	1m 飛板飛込	馬淵 優佳	甲子園学院高校	317.90	7位	311.20	9位	
		3m 飛板飛込	馬淵 優佳	甲子園学院高校	388.65	3位	401.00	3位	

② CAMO招待大会 平成22年12月9日～12日 カナダ・モントリオール

選手団編成

ヘッドコーチ 谷内 覚
 コーチ 馬場内 登志絵 吉田 理知 宮本 幸太郎
 男子 大塚 大夢 関口 大輝 大塚 千誠 遠藤 正人
 稲澤 隆輝 須山 晴貴
 女子 岩崎 莉奈 宇田 恵理子 榎本 遼香

成績

種目	氏名	所属	出場 人数	予選		決勝			
				得点	順位	得点	順位		
男子	A	3m 飛板飛込	関口 大樹	幕張総合高等学校 1年	19人	529.60	2位	490.10	7位
			大塚 大夢	芥田学園高等学校 2年		395.10	16位	—	—
		高飛込	関口 大樹	幕張総合高等学校 1年	12名	414.45	4位	411.80	8位
			大塚 大夢	芥田学園高等学校 2年		380.05	6位	411.40	9位
	B	3m飛板飛込	大塚 千誠	芥田学園中学校 3年	23人	385.05	8位	422.55	5位
			遠藤 正人	多賀城市立第二中学校 3年		373.75	23位	404.25	9位
		高飛込	大塚 千誠	芥田学園中学校 3年	22人	379.25	8位	346.30	12位
			遠藤 正人	多賀城市立第二中学校 3年		347.55	16位	—	—
	C	1m 飛板飛込	稲澤 隆輝	郡山市立郡山第六中学校2年	22人			299.80	5位
		3m 飛板飛込	須山 晴貴	松江市立湖東中学校 1年	21人			354.25	3位
須山 晴貴			松江市立湖東中学校 1年	24人			318.70	5位	
高飛込		稲澤 隆輝	郡山市立郡山第六中学校2年				299.60	7位	
女子	A	3m 飛板飛込	岩崎 莉奈	東海大浦安高等学校 1年	17人	336.85	12位	353.20	11位
		高飛込	岩崎 莉奈	東海大浦安高等学校 1年	12人	381.30	2位	406.95	優勝
	B	3m 飛板飛込	榎本 遥香	作新学院中等部 2年	19人	314.10	9位	339.75	7位
			宇田 恵理子	米子市立弓ヶ浜中学校 2年		278.75	18位	—	—
		高飛込	榎本 遥香	作新学院中等部 2年	15人	332.95	2位	316.00	4位
			宇田 恵理子	米子市立弓ヶ浜中学校 2年		215.60	15位	—	—

3. 水 球

水球委員長 原 朗

平成 22 年度男子代表は、「FINA水球男子ワールドリーグ・アジアオセアニアラウンド大会」上位 2 カ国に出場枠が付与される同大会のスーパーファイナル進出と、「第 16 回広州アジア大会」での優勝を目標にした。結果はワールドリーグ・アジアオセアニアラウンド大会では第 4 位に終わり、これまで同大会に参加してきた中で最低の結果となった。一方、広州アジア大会では初戦の中国に思わぬ大差で敗れ、決勝進出を掛けて準決勝でカザフスタンと戦い前半リードするも、勝負どころで引き離され敗れた。最終戦の 3 位決定戦は韓国を圧倒したが課題の残る大会となった。若手選手の抜擢で代表候補選手同士を競わせ、控え選手の底上げを目指したが、本大会では起用できずベテラン中心の従来通りの戦い方となってしまった。2012 年五輪出場を見据えたチーム編成の再構築が課題として残った。ベテラン主要選手の海外派遣事業は、選手の入替えを行い現在 4 名であり、水球競技を行う上で有益な環境(ヨーロッパクラブチームに所属)に身を置き、経験を積むことを通じて代表チームに良い影響・刺激を与え一定の成果を上げている。今回の大会結果を踏まえ、2011 年度はシーズン前半の国際大会の結果を基に、今後の派遣事業の在り方も含めて委員会として総合的に検討を加えていく。

女子代表については、男子同様に「FINA水球女子ワールドリーグ・アジアオセアニアラウンド大会」ファイナル進出と、女子新種目となった「第 16 回広州アジア大会」でのメダル獲得を目標にした。結果はワールドリーグ・アジア大洋州ラウンド大会については、善戦した試合はあったものの最下位に終わった。一方、アジア大会については、JOC から昨年初参加したユニバーシアード大会の最下位の成績から、参加見送りの結論が下され出場することができなかった。今後の抜本的な強化策の見直しが必要である。

男女共に「国際大会での結果」を求めたが、不甲斐ない成績に終わってしまった。但し、海外に派遣している選手は、欧州強豪クラブで活躍するようになってきている。また若手の育成も進んでいる。これを上手くチーム力に結果として繋げて行くことが重要課題である。なお、「世界と戦えるチームの精神力」と「体力向上」についてはまだ不十分であり、その弱さが「国際大会での結果」を出せない要因と考えられる。この事は昨年度からの課題であり、代表強化のみならず「所属強化」「競技会強化」の充実を再認識させられた。

ジュニアに関しては JISS で継続実施している研修合宿を実施した。目標は、短期的には「2012 年アジアジュニア選手権大会」で男女アベック優勝であり、長期的には 2016 年五輪出場である。目標達成を目指して今後も継続育成を図っていきたい。最後となるが 2011 年度は、2012 年 1 月に千葉県開催が決定した「ロンドン五輪アジア大陸予選」で必ず結果を出したい。

(1) 国際競技会

① 男子 FINA ワールドリーグ・アジアオセアニアラウンド 平成22年5月26日～30日 中国・天津
選手団編成

チームリーダー	高木 英樹				
コーチ	スロボダン トフベッチ	南 隆尚			
トレーナー	岡田 隆				
男子	棚村 克行	清水 直樹	伊禮 寛	筈井 翔太	
	志賀 光明	青柳 勸	永田 敏	大川 慶悟	
	長沼 敦	塩田 義法	竹井 昂司	柳瀬 彰良	
	志水 祐介	若松 弘樹			
審判	牧田 和彦				

成績

日本対オーストラリア	8 - 9	×
日本対中国	11 - 12	×

日本対イラン	24-2	○
日本対ニュージーランド	20-8	○
日本対カザフスタン	8-11	×
2勝3敗 勝点6		

<総合成績>※大阪ラウンドとの合計

順位	国名	勝ち点
1位	オーストラリア	30点
2位	中国	24点
3位	カザフスタン	15点 *
4位	日本	15点 *
5位	ニュージーランド	6点
6位	イラン	0点

*得失点差による

② 女子 FINA ワールドリーグ・アジアオセアニアラウンド 平成22年5月26日～28日 中国・天津
選手団編成

ヘッドコーチ	木村 文明			
コーチ	藤原 秀規			
総務	鈴木 雷天			
女子	三浦 里佳子	沼崎 未希	中野 由美	丸川 葉子
	小川 沙希	曲山 紫乃	岡村 幸	大川原 さや香
	矢作 美香	安本 智恵	小中 美沙	津守 杏映
	竹重 茉里	吉田 奈央		
審判	折笠 敬一			

成績

日本対カザフスタン	9-13	×
日本対中国	7-12	×
日本対オーストラリア	4-16	×
0勝3敗 勝点0		

<総合成績>※大阪ラウンドとの合計

順位	国名	勝ち点
1位	オーストラリア	16点
2位	中国	14点
3位	カザフスタン	5点
4位	日本	1点

4. シンクロ

シンクロ委員長 本間 三和子

平成22年度は、FINAワールドカップ大会(9月、中国・常熟)、アジア大会(11月、中国・広州)、ジャーマンオープンおよびフレンチオープン(3月)に代表チームを派遣した。アジア大会では中国に全3種目とも優勝を持って行かれ、力の差を見せつけられた。ジャーマンオープンとフレンチオープンのヨーロッパ転戦では、

大会上位国(ロシア, 中国, カナダ)に比較して, 高さ, クリアさ, 動きのスピードの不足が感じられた。今シーズンの日本のチームフリールーティンはロシア人振付コーチのGana Maximova氏の指導を受け, 創作力, 構成力などを学び成長したが, 結果につなげるには, 技術面と構成面の両方においてさらなる完成度を上げるよう, 急ピッチで追い上げを図らなければならない。

ジュニア(15-18歳)は, FINA 世界ジュニア選手権(8月, アメリカ・インディアナポリス)にジュニア代表チームを派遣した。結果はソロ第4位, デュエットおよびチーム第5位, コンビネーション第6位であった。ルーティン得点は伸びず, 欧米諸国に比べると, パワー, 躍動感, 表現力の不足が明らかであった。その一方, フィギュアはチーム平均でロシアに次いで2位につけ, 「高さ」と「コントロール」を徹底強化した成果がみられた。また, B代表をFINAワールドトロフィ大会(12月, ロシア・モスクワ)に派遣, 競技者育成プログラムにおけるユースエリート強化事業の一環として, 13-15歳の3選手をクリスマスプライズ大会(12月, チェコ・プラハ)に派遣した。

12月末には2011年度上海世界選手権代表選手選考会, 1月末には2011年度アジアエイジグループ選手権(16-18歳)代表選手選考会を実施した。強化合宿は, 各遠征の事前強化合宿に加えて, 次年度に向けての課題克服を目的とした, 全国選抜シニアおよびジュニア中央合宿(12月 JISS)を実施した。また, ユース強化育成事業において, ユース有望選手, ユースエリート・ジャンパー育成対象選手特別強化合宿を複数回実施し, 2016リオ五輪ならびに2020五輪に向けた次世代強化を図った。

(1)国際競技大会

① ジュニア世界選手権 平成22年8月11日～15日 アメリカ・インディアナポリス
選手団編成

チームリーダー	齋藤 由紀				
ヘッドコーチ	吉田 美保				
コーチ	松本 千乃	古川 真子			
トレーナー	松澤 恵美				
女子	計盛 光	三井 梨紗子	丸茂 圭衣	泉 里佳	
	芳賀 千里	中牧 佳南	泉 智果子	宮崎 夏実	
	神谷 真帆	市川 有紗	木村 叶		
審判	田中 洋子	山田 智子			

成績

ソロ			R	F	Total
1	V. Chigireva	RUS	91.810	79.738	171.548
2	L. Anasova	UKR	90.640	76.068	166.708
3	E. Kopick	CAN	88.950	76.327	165.277
4	三井 梨紗子	JPN	86.380	74.650	161.030
5	E. Platanioti	GRE	85.450	75.339	160.789
6	M. Tang	CHN	86.750	73.919	160.669

デュエット			R	F	Total
1	M. Miteva E. Prokofeva	RUS	92.070	79.227	171.297
2	L. Anasova K. Sadurska	UKR	90.710	75.762	166.472
3	R. Frechette	CAN	89.190	74.903	164.093

		E.Kopcil				
4		L. Guo	CHN	88.490	73.741	162.231
		X. Gu				
5		計盛 光	JPN	86.520	75.423	161.943
		三井 梨紗子				
6		M. Chretien	FRA	86.030	73.843	159.873
		M. Roux				

チーム		R	F	Total
1	RUS	92.210	78.276	170.486
2	CHN	89.210	73.648	162.858
3	CAN	89.320	72.940	162.260
4	UKR	89.030	72.496	161.526
5	日本	86.440	74.021	160.461
6	ESP	87.850	69.540	157.390

コンビネーション		R
1	RUS	91.840
2	UKR	90.250
3	CHN	89.710
4	CAN	89.410
5	ESP	86.600
6	日本	86.360

② ワールドカップ 平成22年9月16日～19日 中国・常熟

選手団編成

ヘッドコーチ	花牟禮 雅美			
コーチ	香野 まゆみ	Gana Maximova		
総務	吉田 美保			
シャペロン	加藤 あかり			
ドクター	清水 颯			
トレーナー	加藤 知生			
女子	乾 友紀子	小林 千紗	足立 夢実	中村 麻衣
	糸山 真与	箱山 愛香	荒井 美帆	杉山 美紗
	吉田 胡桃	上南 侑生		
審判	市橋 晴江	樋口 恵好	樋口 育子(プラクティスジャッジ)	

成績

順位		テクニカルルーティン	フリールーティン	合計得点
1	ロシア	48.900	49.350	98.250
2	中国	47.500	48.000	95.500
3	カナダ	47.500	47.750	95.250
4	ウクライナ	45.700	46.350	92.050

5	アメリカ	45.150	45.500	90.650
6	イギリス	44.000	44.800	88.800

デュエット

順位		テクニカルルーティン	フリールーティン	合計得点
1	中国	48.050	48.600	96.650
2	カナダ	47.150	47.600	94.750
3	日本(乾・小林)	46.550	46.750	93.300
4	ウクライナ	46.100	46.150	92.250
5	アメリカ	45.000	45.500	90.500
6	韓国	43.950	44.700	88.650

チーム

順位		テクニカルルーティン	フリールーティン	合計得点
1	ロシア	48.650	49.500	98.150
2	中国	48.000	48.500	96.500
3	カナダ	47.700	47.900	95.600
4	日本(乾, 小林, 足立, 中村, 糸山, 箱山, 荒井, T 杉山, F 上南, R 吉田)	46.600	47.200	93.800
5	ウクライナ	45.750	46.650	92.400
6	アメリカ	45.650	46.050	91.700

コンビネーション

順位	得点	
1	ロシア	98.300
2	中国	97.200
3	カナダ	96.000
4	日本(乾, 小林, 足立, 中村, 糸山, 箱山, 荒井, 杉山, 吉田, 上南)	94.300
5	ウクライナ	93.600
6	ブラジル	86.100

③ ワールドトロフィー 平成22年12月3日～5日 ロシア・モスクワ

選手団編成

ヘッドコーチ	石山 加壽美			
コーチ	松本 千乃			
総務	真田 智紗			
女子	三井 梨紗子	川合 結万	丸茂 圭衣	大西 春菜
	芳賀 千里	松本 千尋	石山 紗江	市川 有紗
	宮崎 夏実	横山 愛実	加島 文葉	木村 叶

成績

	総合		ハイライトルーティン		シマティックデュエット		シマティックチーム		コンビネーション	
	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位
スペイン	389.375	1	96.500	1	96.3750	2	98.375	1	98.125	1
ロシア	387.375	2	96.375	2	96.8750	1	96.875	2	97.250	2
ウクライナ	381.000	3	94.875	4	94.3750	3	96.250	3	95.500	3
カナダ	378.875	4	95.250	3	93.5000	5	94.875	4	95.250	4
日本	371.125	5	91.750	6	93.7500	4	93.125	5	92.500	5
中国	369.375	6	93.375	5	92.1250	6	92.000	6	91.875	6
エジプト	346.125	7	85.750	7	87.5000	7	86.750	7	86.125	7

④ チェコプラハ国際 平成22年12月3日～5日 チェコ共和国・プラハ

選手団編成

チームリーダー	内田 まゆみ		
コーチ	鵜飼 紗也子	滝田 理砂子	
女子	吉田 萌	阿久津 咲子	瀧澤 美紗子

成績

ソロ(14組)		フィギュア得点	フリーR得点	合計
1	BAYANDINA Darya 1996 ロシア	74,241	80,400	154,641
	IVLEVA Maria 1997 ロシア	73,461	78,500	151,961
2	吉田萌 1995 日本	69,821	77,700	147,521

デュエット(8組)		フィギュア得点	フリーR得点	合計
1	BAYANDINA A. 1996 ロシア	72,171	77,600	149,771
	BAYANDINA D. 1996			
2	IVLEVA Maria 1997 ロシア	72,979	76,500	149,479
	VOLOZNEVA Anna 1997			
3	瀧澤美紗子 1996 日本	67,018	74,500	141,518
	阿久津咲子 1998			

⑤ ジャーマンオープン及びフレンチオープン

(ア) ドイツ・ボン 平成23年3月11日～13日

(イ) フランス・パリ 平成23年3月16日～19日

選手団編成

チームリーダー	花牟禮 雅美			
コーチ	吉田 美保	Gana Maximova		
総務	梁瀬 千鶴			
トレーナー	加藤 知生			
女子	乾 友紀子	小林 千紗	酒井 麻里子	足立 夢実
	中村 麻衣	三井 梨紗子	糸山 真与	箱山 愛香
	荒井 美帆	吉田 胡桃	川合 結万	
審判	樋口 恵好(ドイツ)	市橋 晴江(フランス)		

成績

(ア)ドイツ・ボン

ソロ予選 (エントリー: Tech 20, Free 22)

順位			テクニカル	フリー	合計得点
1	Boudreau-Gagnon, Marie-Piere	カナダ	92.9466	95.0300	187.9766
2	Huang, Xue Chen	中国	94.3584	93.5700	187.9284
3	Sun, Wen Yan	中国	91.1983	91.7800	182.9783
4	足立夢実	日本	90.4333	91.0600	181.4933
5	Randall, Jenna	イギリス	90.3984	89.7200	180.1184
6	Solomou, Despoina	ギリシャ	87.4867	87.2000	174.6867

ソロ決勝

順位			フリー
1	Boudreau-Gagnon, Marie-Piere	カナダ	95.1700
2	Huang, Xue Chen	中国	92.7500
3	足立夢実	日本	91.2700
4	Randall, Jenna	イギリス	89.5000
5	Solomou, Despoina	ギリシャ	87.2700
6	Stepanova, Elizaveta	ロシア/ モスクワ	86.2700

デュエット予選 (エントリー: Tech 32, Free 30)

順位			テクニカル	フリー	合計得点
1	Boudreau-Gagnon, Marie-Piere Marcotte, Elise	カナダ	92.4500	94.8200	187.2700
2	Liu, Ou Luo, Xi	中国	91.0500	93.2000	184.2500
3	乾友紀子 小林千紗	日本	88.1600	92.4100	180.5700
4	Labrousse, Sara Willhelm, Chloe	フランス	87.2600	89.5300	176.7900
5	Killman, Mary Hansley, Megan	アメリカ	87.1600	89.3900	176.5500
6	Shestakovich, Viktoria Anufrieva, Viktoria	ロシア/ モスクワ	86.8700	87.8200	174.6900
7	Solomou, Despoina Ramnioti, Nektaria-Georgia	ギリシャ	86.2100	88.0200	174.2300
8	Allison, Olivia Randall, Jenna	イギリス	85.2200	88.7100	173.9300
9	Flamini, Manila Lapi, Giulia	イタリア	86.4600	87.1800	173.6400

デュエット決勝

順位			フリー
1	Boudreau-Gagnon, Marie-Piere Marcotte, Elise	カナダ	94.8100
2	Liu, Ou Luo, Xi	中国	94.0300
3	乾友紀子 小林千紗	日本	91.9300
4	Labrousse, Sara Willhelm, Chloe	フランス	89.4600
5	Allison, Olivia Randall, Jenna	イギリス	87.8800
6	Killman, Mary Hansley, Megan	アメリカ	87.4900
7	Solomou, Despoina Ramnioti, Nektaria-Georgia	ギリシャ	87.2400
8	Flamini, Manila Lapi, Giulia	イタリア	86.9500

チーム予選 (エントリー: Tech 12, Free 13)

順位		テクニカル	フリー	合計得点
1	中国	93.8600	95.5000	189.3600
2	カナダ	92.2480	95.2900	187.5380
3	イタリア	87.9040	89.4400	177.3440
4	フランス	85.3640	88.1700	173.5340
5	イギリス	85.0000	86.2600	171.2600
6	ロシア/モスクワ	82.8880	84.4500	167.3380
—	日本(乾, 小林, 酒井, 足立, 中村, 糸山, 箱山, 吉田, R 荒井, R 三井)		92.9700	92.9700

チーム決勝

順位		フリー
1	中国	95.8200
2	カナダ	95.1400
3	イタリア	90.0100
4	フランス	88.8600
5	イギリス	87.3000
6	メキシコ	85.1400

フリーコンビネーション決勝 (エントリー: 9)

順位		
1	中国	96.0200
2	日本(乾, 酒井, 足立, 中村, 糸山, 箱山, 三井, 荒井, 吉田, 川合, R 小林)	93.4800
3	イギリス	87.7900
4	ベラルーシ	82.2300
5	スイス/Limmat-Nixen Zu□rich	80.4500
6	オーストリア	80.0300

(イ) フランス・パリ

ソロ テクニカル (エントリー: 12)

表彰	順位			得点
1	1	HUANG Xue Chen	中国	91.3917
	2	SUN Wen Yan	中国	91.3816
2	3	足立夢実	日本	90.4067
3	4	SOLOMOU Despoina	ギリシャ	86.5099
	5	GLOUSHKOV Anastasia	イスラエル	85.962
	6	BRANDL Nadine	オーストリア	81.640

ソロ フリー (エントリー: 14)

表彰	順位			得点
1	1	SUN Wen Yan		93.2300
	2	HUANG Xue Chen		91.6100
2	3	足立夢実		91.3800
3	4	GLOUSHKOV Anastasia	イスラエル	87.5400
	5	SOLOMOU Despoina	ギリシャ	87.2300
	6	BRANDL Nadine	オーストリア	84.6100

デュエット テクニカル (エントリー: 20)

表彰	順位			得点
1	1	LIU Ou	中国	92.7400
		LUO Xi		
2	2	乾友紀子	日本	90.7300
		小林千紗		
3	3	LABROUSSE Sara	フランス	86.4100
		WILLHELM Chloe		
		PLATANIOTI E.		
5	4	SOLOMOU Despoina	ギリシャ	85.0600
		BERNARDOVA Sona		
5	5	DUFKOVA Alzbeta	チェコ	84.3000
		STEPHAN Giovana		
6	6	TEIXEIRA Lara	ブラジル	84.2100

デュエット フリー(エントリー:12)

表彰	順位		得点
1	1	LIU Ou LUO Xi 中国	93.7000
2	2	乾友紀子 小林千紗 日本	91.6400
3	3	LABROUSSE Sara WILLHELM Chloe フランス	88.0300
	4	RAMNIOTI N-Georgia SOLOMOU Despoina ギリシャ	86.5500
	5	BERNARDOVA Sona DUFKOVA Alzbeta チェコ	85.8300
	6	KULKINA Anna ZHEXEMBINOVA A. カザフスタン	85.5500

チーム テクニカル(エントリー:6)

表彰	順位		得点
1	1	ロシア	94.0500
2	2	中国	92.9240
3	3	フランス	85.5800
	4	ブラジル	81.4240
	5	ベラルーシ	80.0640
	6	オーストラリア	78.3920

チーム フリー(エントリー:6)

表彰	順位		得点
1	1	中国	95.4100
2	2	日本(乾, 小林, 酒井, 足立, 中村, 糸山, 箱山, 吉田, R 荒井, R 三井)	92.5500
3	3	フランス	86.6200
	4	ブラジル	83.6900
	5	オーストラリア	79.9200
	6	ベラルーシ	79.8200

フリーコンビネーション(エントリー:4)

表彰	順位		得点
1	1	中国	95.4000
2	2	日本(乾, 酒井, 足立, 中村, 糸山, 箱山, 三井, 荒井, 吉田, 川合, R 小林)	92.9800
3	3	ベラルーシ	83.3800

以上

5. 医科学

医科学委員長 野村 照夫

日本選手権、ジャパンオープン(50m)、日本選手権(25m)においてレース分析及び映像提供の科学サポートを実施した。撮影機材や分析方法の改善に着手し、迅速で正確なフィードバックに向けて努力した。

ジュニアの科学サポート活動として、ナショナル準強化合宿(女子:鈴鹿)、(男子:富士)において水中映像の撮影及びフィードバックを行った。近隣の教員や大学院生の協力を多く得て、科学サポートの一般化に努めた。これを「ジュニア水泳の育成に関わる科学支援事業」報告書にまとめ、教育・啓発活動に役立てた。

さらに、JOC 強化学業部科学サポート部会と連携し、競泳委員会および飛込委員会と連携し、NTC コントロールテスト(スポーツ種目全体に共通する体力テスト)を競泳96名、飛込29名について実施した。選手にとって必要な体力要素を把握できる点で価値は認められたが、JOC の評価尺度やフィードバック情報が十分でなく、タイトな合宿の日程の中で継続的に行うことに課題がうかがわれた。

科学会議活動として、2010 年日本水泳・水中運動学会年次大会(2010.11.20-21、新潟)において佐野会長にも出席を頂き、広範な研究発表について熱心に聴講頂いた。また、委員会では、科学サポートの方向性やレース分析の改善について、議論し、関係諸団体との連携を通じ、サポートや分析にコーチや指導者が何を求めているのかを踏まえることの重要性を確認した。

医事強化活動:パンパシフィック大会(米国アーバイン)にドクター(Dr)1名、トレーナー(Tr)6名、ジュニアパンパシフィック大会(米国ハワイ)に Dr1名、シンクロワールドカップ(中国、常熟)に Dr1名、Tr1名、アジア大会(中国、広州)にDr1名、Tr7名、短水路世界選手権大会(ドバイ)にDr1名、Tr2名、ジュニアシンガポール遠征にDr1名を派遣した。強化合宿における各競技のコンディショニング指導と日本選手権大会においてトレーナーのオープンブースを開設した。また国内主要大会に大会救護員を派遣し、競技会場への医薬品配備を行った。

医事会議活動:日本水泳ドクター会議総会・水と健康医学研究会(東京)、日本トレーナー会議総会(東京)、スポーツ医学・健康医学セミナー(東京)を開催した。また、スタッフ間の情報交換と親睦を深める場として第3回メディカルサポート研修会を開催した。本年度は佐野会長、青木副会長ご参会のもと、2010年度サポート活動報告、医事関連情報報告、2011年度活動方針協議、村松さやか氏による基調講演が行われた。

教育啓発活動:研修会への講師派遣、日体協公認スポーツドクター、AT 養成講習会、JADA スポーツファーマシスト認定制度基礎講習会への受講者推薦を行った。また、水泳選手の障害予防を目的に“壊れてからではもう遅い!”をスローガンに、競泳選手育成プログラム(補強トレーニング編)DVD を作成し、本連盟HP 上で紹介・販売している。

アンチ・ドーピング活動:主要競技大会でのドーピング検査は JADA 主導となり、これまで本連盟主導で行ってきた際の教育的配慮が少なくなっているとの現場の指摘を受けた。これに応じて、今後は本連盟側から NF 代表役員をドーピング検査場に配置することにした。またジュニア合宿(鈴鹿、富士)においてアンチ・ドーピングに関する講演を行った。

4. 国際交流関係

(寄附行為第4条-11)

1. FINA (国際水泳連盟) 関係

- | | | | |
|-----------------------|----------------------------|--------|-------|
| (1) 理事会 | (9/25 : ウルグアイ・プンタデルエステ) | 佐野 和夫 | |
| | (12/12・13 : UAE・ドバイ) | 佐野 和夫 | |
| | (1/28・29 : ドイツ・フランクフルト) | 佐野 和夫 | |
| (2) コングレス | | | |
| シカゴ臨時総会 | (9/15 : 中国・常熟) | 本間 三和子 | 樋口 恵好 |
| | | 市橋 晴江 | |
| (3) 委員会 | | | |
| 競泳 | (12/12・13 : UAE ドバイ) | 緒方 茂生 | |
| シンクロ | (9/13・14 : 中国・常熟) | 本間 三和子 | |
| (4) 競技会 | | | |
| シンクロジュニア世界選手権 | | | |
| | (8/11~15 : アメリカ・インディアナポリス) | 本間 三和子 | |
| シンクロワールドカップ | | | |
| | (9/16~19 : 中国・常熟) | 本間 三和子 | |
| 競泳ワールドカップ | | | |
| | (10/16~17 : シカゴホール・シカゴホール) | 緒方 茂生 | |
| シンクロワールドトロフィー | | | |
| | (12/3~5 : ロシア・モスクワ) | 本間 三和子 | |
| (5) その他 | | | |
| FINA シンクロ審判スクール | | | |
| | (4/2~5 : 中国・香港) | 本間 三和子 | |
| FINA 水着公認委員会 | | | |
| | (7/28~30 : スイス・ローザンヌ) | 高橋 繁浩 | |
| FINA シンクロコーチ・ジャッジセミナー | | | |
| | (8/16 : アメリカ・インディアナポリス) | 本間 三和子 | |
| FINA シンクロ Wrap-up 会議 | | | |
| | (9/20 : 中国・常熟) | 本間 三和子 | |
| FINA 世界水泳会議 | | | |
| | (9/27~29 : ウルグアイ・プンタデルエステ) | 佐野 和夫 | 鈴木 大地 |
| FINA 競泳ワールドカップミーティング | | | |
| | (12/17 : UAE・ドバイ) | 安部 喜方 | |

2. AASF (アジア水泳連盟) 関係

- | | | | |
|--------|-----------------|-------|--------|
| (1) 総会 | (11/13 : 中国・広州) | 佐野 和夫 | 本間 三和子 |
| | | 緒方 茂生 | 江口 和美 |

(2) 幹部会 (5/29 : UAE・ドバイ) 本間 三和子

(3) 競技会

①アジア競技大会 (11/12～27 : 中国・広州) 佐野 和夫 本間 三和子
緒方 茂生 黒田 克己

3. パンパシフィック関係

(1) チャーターネーション会議

(8/19 : アメリカ・アーバイン) 佐野 和夫 青木 剛
上野 広治 緒方 茂生
小倉 大地雄
(12/16 : UAE・ドバイ) 佐野 和夫 上野 広治
安部 喜方 緒方 茂生

4. 派遣 及び 招聘

(1) 総合大会

①ユースオリンピック競技大会 (8/15～20 : シンガポール・シンガポール)
・審判 競泳 江口 和美
②アジア競技大会 (11/12～27 : 中国・広州)
・審判 競泳 緒方 茂生 江口 和美
飛込 安永 三郎
水球 槇橋 邦広
シンクロ 齋藤 由紀 宮崎 三つ保

(2) 競技大会

・競泳

①パンパシフィック選手権 (8/18～22 : アメリカ・アーバイン)
・審判 緒方 茂生 高坂 重男
②ジュニアパンパシフィック選手権 (8/26～29 : アメリカ・マウイ)
・審判 後藤 直之 江口 和美
③ワールドカップ東京大会 (10/20～21 : 日本・東京)
・審判 緒方 茂生 江口 和美

・飛込

①ジュニア世界選手権 (9/1～6 : アメリカ・ツーソン)
・審判 伊藤 正明
②飛込ワールドシリーズ (3/25～26 : 中国・北京)
・審判 小谷 理貴子

・水球

①男子 FINA ワールドリーグ・アジアオセアニアラウンド
・審判 牧田 和彦 (5/19～23 : 日本・大阪)

- ・ 審判 牧田 和彦 (5/26～30 : 中国・天津)
- ②女子 FINA ワールドリーグ・アジアオセアニアラウンド
 - ・ 審判 福元 寿夫 (5/21～23 : 日本・大阪)
 - ・ 審判 折笠 敬一 (5/26～28 : 中国・天津)
- ③女子 FINA ワールドカップ (8/17～22 : NZ・クライストチャーチ)
 - ・ 審判 牧田 和彦
- ④アジアクラブ選手権 (12/22～28 : イラン・テヘラン)
 - ・ 審判 牧田 和彦
- ・ シンクロ
 - ①ジュニア世界選手権 (8/11～15 : アメリカ・インディアナポリス)
 - ・ 審判 山田 智子 田中 洋子
 - ②ワールドカップ (9/16～19 : 中国・常熟)
 - ・ 審判 市橋 晴江 樋口 恵好
樋口 育子 (プラクティス)
 - ③コモンウェルス大会 (10/6・7 : インド・デリー)
 - ・ 役員 本間 三和子
 - ④ジャーマンオープン (3/11～13 : ドイツ・ボン)
 - ・ 審判 樋口 恵好
 - ⑤フレンチオープン (3/16～19 : フランス・パリ)
 - ・ 審判 市橋 晴江
- (3) 研修会
 - ①FINA 競泳オフィシャルセミナー (4/3～4 : シンガポール・シンガポール)
 - 高坂 重男 後藤 直之
 - ②ASCA コーチクリニック (9/1～4 : アメリカ・インディアナポリス)
 - 小倉 大地雄
 - ③FINA 水球審判スクール (5/25～26 : 中国・天津)
 - 槇橋 邦広 朝比奈 輝哉 田原 忠雄
 - 折笠 敬一 牧田 和彦
 - ④FINA 水球審判スクール (10/8～10 : インドネシア・ジャワ)
 - 波多 祥計 中 哲朗
 - ⑤FINA シンクロ審判スクール (4/2～5 : 中国・香港)
 - 田中 洋子 樋口 育子
 - ⑥FINA シンクロコーチ・ジャッジセミナー (8/16 : アメリカ・インディアナポリス)
 - 齋藤 由紀 吉田 美保 山田 智子
 - 田中 洋子
 - ⑦FINA シンクロ Wrap-up 会議 (9/20 : 中国・常熟)
 - 花傘禮 雅美 吉田 美保 樋口 恵好
 - 樋口 育子

(4) 視察

- ①シンクロ欧州ジュニア選手権視察 (7/9～11：フィンランド・タンペレ)
齋藤 由紀 吉田 美保
- ②シンクロ欧州選手権視察 (8/4～6：ハンガリー・ブタペスト)
本間 三和子 花牟禮 雅美
- ③競泳オリンピック事前合宿地視察 (8/6：イギリス・ロンドン 8/7：スペイン・カナリア諸島)
上野 広治
- ④競泳欧州選手権視察 (8/9～15：ハンガリー・ブタペスト)
上野 広治
- ⑤シンクロワールドカップ視察 (9/16～19：中国・常熟)
諸寄 暢子
- ⑥競泳ワールドカップ視察 (10/13：中国・北京 10/16：シンガポール・シンガポール)
安部 喜方
- ⑦競泳オリンピック事前合宿地視察 (12/20～21：マルタ共和国・マルタ島)
上野 広治
- ⑧競泳オリンピック事前合宿地視察 (12/27：イギリス・ロンドン 12/29：スペイン・カナリア諸島)
上野 広治
- ⑨ロンドンオリンピック事前視察 (3/17～3/20：イギリス・ロンドン)
上野 広治 小倉 大地雄
- ⑩シンクロジャーマンオープン・
フレンチオープン (3/11～13：ドイツ・ボン 3/16～19：フランス・パリ)
本間 三和子

(5) その他

- ①シンクロロシアコーチ招聘 (5/3～5/6：日本・東京)(6/19～6/25：日本・東京)
(1/18～1/28：日本・東京)(2/16～2/26：日本・東京)
Gana Maximova
- ②競泳コーチクリニック講師 (7/1～7/3：タイ・バンコク)
高橋 繁浩

5. 競 技 事 業 (寄附行為第4条-4)

競技事業担当 安部 喜方

4月に行われた競泳日本選手権は、パンパシフィック大会・アジア大会の選考会を兼ねて東京辰巳国際水泳場で4日間開催された。大会期間中全国競技委員長会議を開催し、競技役員制度・審判員制度の見直しについて説明した。またFINAの公認水着の1年間の移行期間についての説明も行われた。

5月に開催されたシンクロジャパンオープン・日本選手権も無事に終了した。8月には飛込の日本選手権・10月には水球の日本選手権、今年度は4競技の日本選手権が東京辰巳国際水泳場で開催された。全ての競技会が円滑に運営されて無事に終了した。主管された加盟団体の皆様にお礼を申し上げます。

国際大会は5月に、水球男女ワールドリーグアジア・オセアニアラウンドが大阪プールで開催され無事に終了した。10月には、アリーナ・スイミングワールドカップが開催され世界のトップ選手が、多く参加し日本記録5・高校記録2が樹立された。2日間の短い大会期間の中で、FINAのTSC委員長によるセミナーを行いFINA方式に沿った、競技会運営を学ぶことができた。2月のジャパンオープンは海外選手の招待大会から日本選手権(25m)として開催した。また、8月の全国ジュニアオリンピックカップ夏季大会は、人数調整が順調に進んだ。

3月11日の東日本大震災により全国ジュニアオリンピック春季大会を大変残念ではあったが中止した。

1、競技委員会

競技委員長 安部 喜方

全国大会の多くの競技会は、主管加盟団体のご協力で順調に運営され、無事に終了することが出来た。ご支援いただいた皆様に、深く感謝を申し上げます。

競技役員の資質向上を図るために、全国のブロック主催の研修会を7ブロックで開催した。また、加盟団体主催の研修会も、多くの競技委員を派遣し行われた。研修会は、映像による内容を多く導入することにより、全国大会を身近に感じながらの講義を行った。また、多くの国際大会に審判員を派遣し、FINA主催のセミナーにも日本から積極的に参加した。水球ワールドリーグや、アリーナ・スイミングワールドカップ、シンクロジャパンオープンなど国際大会を多く国内で開催することにより、世界水準に近い競技会運営を目指した。

平成22年度(2010年)競技会開催実績	
競技会名	開催都道府県・場所
	開催日時
	参加団体・参加者数(男女別)
2010年度室内選抜飛込競技大会 兼国際大会代表選手選考会	東京都・東京辰巳国際水泳場 4月4日(土)～5日(日) 団体(27)男子(25名)女子(18名)
第86回日本選手権水泳競技大会(競泳競技) 兼第16回アジア競技大会代表選手選考会 兼パンパシフィック選手権大会代表選手選考会	東京都・東京辰巳国際水泳場 4月13日(火)～118日(日) 団体(434)男子(696名)女子(667名)
第86回日本選手権水泳競技大会(飛込競技)	東京都・東京辰巳国際水泳場 8月6日(金)～8日(日) 団体(47)男子(43名)女子(34名)
第86回日本選手権水泳競技大会(シンクロ競技)	東京都・東京辰巳国際水泳場 5月2日(日)～5日(水) 団体(17)女子(279名)・海外13ヵ国78名
第86回日本選手権水泳競技大会(水球競技)	東京都・東京辰巳国際水泳場 10月1日(金)～3日(日) 団体(8)男子(110名)

第27回全国女子水球競技大会	東京都・東京辰巳国際水泳場 10月1日(金)～3日(日) 団体(8)女子(107名)
ジャパンオープン 2010(50m) 兼ジュニアパンパシフィック選手権大会代表選手選考会	東京都・東京辰巳国際水泳場 6月4日(金)～5日(日) 団体(525)男子(825名)女子(830名)
第27回日本マスターズ水泳選手権大会	東京都・東京辰巳国際水泳場 7月16日(金)～19日(月) 団体(1301)男子(3799名)女子(3217名)
オープンウォータースイミング ジャパンオープン 2010 館山	千葉県・館山市北条海岸 7月18日(日) 10km40名/完泳31名
第14回館山国際オープンウォータースイムレース	千葉県・館山市北条海岸 7月19日(月) 517名 /完泳475名
第61回日本実業団水泳競技大会	京都・アクアリーナ 7月30日(土)・1日(日) 団体(374)男子(1451名)女子(250名)
日本シンクロチャレンジカップ 2010	東京都・東京辰巳国際水泳場 8月12日(木)～15日(日) 団体(32)女子(275名)
第57回全国国公立大学選手権水泳競技大会	長野県・長野運動公園水泳場 8月9日(月)・10日(火) 団体(84)男子555名)女子(253名)
第78回日本高等学校選手権水泳競技大会(競泳競技)	沖縄県・奥武山総合公園水泳場 8月17日(火)～20日(金) 団体(515)男子(1233名)女子(988名)
第78回日本高等学校選手権水泳競技大会(飛込競技)	沖縄県・奥武山総合公園水泳場 8月17日(火)～20日(金) 団体(43)男子(27名)女子(30名)
第78回日本高等学校選手権水泳競技大会(水球競技)	沖縄県・県立総合公園水泳場 8月17日(火)～20日(金) 団体(20)男子(248名)
第50回全国中学校水泳競技大会(競泳競技)	広島県・広島市総合水泳場 8月21日(土)～23日(月) 団体(851)男子(994名)女子(850名)
第50回全国中学校水泳競技大会(飛込競技)	広島県・福山市緑町公園水泳場 8月21日(土)～23日(月) 団体(59)男子(30名)女子(36名)
第33回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 (競泳競技)	東京都・東京辰巳国際水泳場 8月26日(木)～30日(月) 団体(903)男子(1862名)女子(1769名)
第33回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会	静岡県・浜松市総合水泳場 8月26日(木)～29日(日)

	(飛込競技)	団体(39)男子(59名)女子(78名)
第33回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会	(水球競技)	広島県・広島市総合水泳場 8月26日(木)～30日(月) 団体(80)参加数(910名)
第33回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会	(シンクロ競技)	新潟県・県立長岡総合水泳場 8月27日(金)～30日(月) 団体(32)女子(433名)
第86回日本学生選手権水泳競技大会(競泳競技)		東京都・東京辰巳国際水泳場 9月3日(金)～5日(日) 団体(121)男子(971名)女子(616名)
第86回日本学生選手権水泳競技大会(飛込競技)		大阪府・大阪プール 9月4日(土)～5日(日) 団体(15)男子(22名)女子(15名)
第86回日本学生選手権水泳競技大会(水球競技)		神奈川県・相模原市立総合水泳場他 9月2日(木)～5日(日) 男子(16団体・244名)女子(6団体・71名)
第65回国民体育大会水泳競技大会(競泳競技)		千葉県・千葉県国際総合水泳場 9月12日(金)～13日(日) 団体(47)男子(563名)女子(492名)
第65回国民体育大会水泳競技大会(飛込競技)		千葉県・千葉県国際総合水泳場 9月10日(金)～12日(日) 団体(31)男子(39名)女子(38名)
第65回国民体育大会水泳競技大会(水球競技)		千葉県・千葉県国際総合水泳場 9月14日(火)～17日(金) 団体(16)男子(192名)
第65回国民体育大会水泳競技大会(シンクロ競技)		千葉県・千葉県国際総合水泳場 9月8日(水) 団体(20)女子(40名)
第3回全日本ユース(U15)水泳競技選手権大会	(桃太郎カップ)	岡山県・倉敷市屋内水泳センター他 12月24日(金)～27日(月) 男子(16団体・225名)女子(16団体・175名)
シンクロ 13・15歳ノ・デュエット大会		東京都・東京辰巳国際水泳場 平成23年1月22日(土) 団体(19)女子(69名)
シンクロ フィギュアライアル 2011		東京都・東京辰巳国際水泳場 平成23年1月23日(日) 団体(8)女子(15名)
第54回日本短水路選手権水泳競技大会		東京都・東京辰巳国際水泳場 2月26日(土)・27日(日) 団体(695)男子(347名)女子(348名)
第33回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会	(競泳競技)	東京都・東京辰巳国際水泳場 平成23年3月27日(日)～30日(水) 東日本大震災のために中止

第33回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会 (水球競技)	千葉県・千葉県国際総合水泳場 平成23年3月26日(土)～30日(水) 東日本大震災のために中止
FINA水球ワールドリーグ・アジアオセアニアラウンド (水球競技)	大阪府・大阪プール 5月19日(水)～23日(日) 男子6ヵ国選手82名/役員21名 女子4ヵ国選手56名/役員19名
FINAワールドカップ2010(東京大会) (競泳競技)	東京都・東京辰巳国際水泳場 8月7日(金)～13日(木) 18ヵ国・84名役員38名/国内179団体382名

2、学生委員会

学生委員長 山重 美登士

(1) 日本学生選手権大会

第86回日本学生選手権水泳競技大会は、9月3日・4日・5日の3日間、学生たちで考えた「2010夏の最終章～すべてはこの日のために～」をテーマに、東京辰巳国際水泳場において、東京都水泳協会・学生委員会関東支部の主管により開催された。競泳競技、男子は中京大学が天皇杯を獲得し、86回の歴史の中初めて天皇杯が箱根の山を越えた。女子は山梨学院大学が2年連続2回目の優勝を果たし奥野杯を獲得した。参加状況は加盟登録校285校のうち、出場校男子・女子合わせて121校、参加人数男子971名・女子616名、エントリー数リレー274種目・個人2072種目で行ない、大会新記録5個を樹立した。

飛込競技は、9月4日～5日の2日間、大阪府・大阪プールにおいて、大阪水泳協会・学生委員会の主管により開催された。男子は、筑波大学が2連覇を達成し、女子は、日本体育大学が2連覇を達成した。参加状況は、出場校14校、男女総エントリー数67名で行なわれた。

水球競技は、9月2日～5日の4日間、神奈川県・相模原市総合水泳場において、神奈川県水泳連盟・学生委員会関東支部の主管により、男子16チーム、女子(エキシビジョン)6チームにより開催された。決勝は筑波大学対日本体育大学が対戦し、日本体育大学が優勝した。

(2) 全国国公立大学選手権大会

第57回全国国公立大学選手権水泳競技大会は、8月9日・10日の2日間、長野県長野運動公園総合運動場総合市民プールにおいて、長野県水泳連盟・学生委員会中部支部の主管、長野市・長野市教育委員会の後援により開催され、筑波大学が男女アベック優勝を果たした。大会新記録男子2個、女子1個を樹立した。参加状況は、出場校85校、参加人数827名で行なわれた。

3、ジュニア委員会

ジュニア委員長 鈴木 浩二

競泳競技夏季大会では、水着規則の改定の影響もあり、新記録は大会新記録の発生は21のみに留まったが、参加者は夏季大会過去最大規模となった昨年度の5,347名から3,631名に抑えることに成功し、課題であった『ゆとりある競技会』の実現に近づけることができた。

水球競技夏季大会は、前年度同様にA・C区分予選リーグ・決勝トーナメント方式を採用した。特にA区分では全国大会という場で試合経験をより多く積むことができ、試合毎にチームとしての能力向上が顕著に表れ、これまで決勝トーナメント進出チームが固定されていた感があったが、新興勢力が台頭してくるまでに成長してきた。

飛込競技は、昨年度と同じ方法で競技を行った。主要競技会としての飛込競技では、初めて使用した古橋廣之進記念浜松市総合水泳場であったが、関係各位に多大なご尽力を賜り、競技会を盛り上げることができ

た。

シンクロ競技は、全国的なジュニア層の競技力向上にともない、競技運営に対する各ブロックの意識も高まり、競技役員のレベルアップも顕著に見られた。

競泳競技実施の東京都、水球競技の広島県、飛込競技の静岡県、シンクロ競技の新潟県の方々の厚いご協力をいただき、第33回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季大会は成功裏のもと無事終了した。

競泳春季大会は、大幅な標準記録のアップにもかかわらず、参加者は4,600名と夏季大会を1,000名も上回るエントリー状況であった。水球春季大会は、新たな試合方式としてB区分に敗者復活戦方式を導入する予定で準備を進めていたが、東日本大震災の影響で競泳ともに中止となった。

また両競技の中止にともない、それまでの各種制作物の準備と発送作業にご尽力をいただいた協賛各社、各種返金作業に係っていただいた加盟団体・他関係各位、開催の予定で準備にあたっていただいた東京都ならびに千葉県の関係各位に厚く御礼を申し上げたい。

6. 指導者養成事業関係 (寄附行為第4条-2)

指導者養成事業担当 設楽 義信

平成22年度も指導者養成事業3委員会の重点施策として、指導者新規養成の増加と更新率の向上を目指した。

競技力向上コーチ委員会は、コーチ資格指導員数について2009年10月末現在2,811人のところ、2010年10月現在では2,889人であった。コーチ資格免除適応校システムの制度が3大学で始まり、数年後には大幅な増員が見込まれる。

地域指導者委員会は、2009年地域関係資格指導員数が14,315人であったが、2010年10月現在では、14,161人と減少傾向にある。今後、新規免除適応校の開拓が急務である。

水泳教師委員会は、2009年教師資格指導員数は2,900人であったが、2010年10月現在では、2,921人と微増であった。これからも(社)日本スイミングクラブ協会との連携を密にし地域同様、新規免除適応校の開拓を進めていきたい。

3委員会とも指導者資格数は横ばい傾向にある。指導者養成事業の原点は、資格を有する優秀な指導者の育成にあり、今後も質の高い指導者の養成を免除適応校を増やしつつ推進していく所存である。

1、競技力向上コーチ委員会 競技力向上コーチ委員長 設楽 義信

- ①コーチ資格審査(上級昇格 年2回)の実施
競泳 22名・飛込 6名・水球 2名 合計 30名が上級コーチに昇格した。
- ②コーチ資格の新規登録・更新登録事業
新規登録 51名・登録更新 591名・合計 642名の登録が完了した。
- ③コーチ研修会事業(コーチ11会場・上級コーチ2会場)
コーチ研修会 1,964名・上級コーチ研修会 545名・合計 2,509名が参加した。
- ④新規養成事業の推進(コーチ)
88名が参加した。

2、地域指導者委員会 地域指導者委員長 宮本 憲二

平成22年度 指導者養成事業の重点施策については3委員会共通の課題事業と、地域指導者委員会での事業により実施した。

3委員会共通の課題事業は指導員新規養成の増加と更新率の向上であったが、地域関係では2011年3月現在で15,045人と横ばいの傾向にあり、今後の急増には繋がらない状況である。委員会独自の事業は次のとおりである。

- (1) 水泳上級指導者再検定 8月22日(日)日本女子体育大学 受験者9人
(過去3年間の積み残しである。)
- (2) 免除適応校専門科目検定 11月21日(日)愛知会場
11月28日(日)大阪会場
1月23日(日)北海道会場
2月19日(土)東京会場
(全国4会場にて該当加盟団体の協力の下、検定試験を実施した。)
- (3) 基礎水泳指導員・水泳指導員養成講習会(47都道府県で実施)
*全加盟団体に委嘱して加盟団体及び地域ブロックごとに実施している。だいたい年間1回の実施であるが、東京は年回2回実施している。
- (4) マスター上級指導員中央研修会 10月24日(日) 参加者48人
東京:国立科学センター(JISS)
*水泳上級指導員の中で特に優れている方々にマスター称号を授与。そのマスター称号を有している方を対象に、毎年中央研修を実施している。
平成21年度はJISSを利用して有意義な研修を実施した。
- (5) 基礎水泳指導員・水泳指導員 義務研修会

* 4年間の更新期間内で、1回以上の義務研修会を受講することが義務付けられている。義務研修については、全加盟団体に委嘱して毎年加盟団体及び地域ブロックごとに実施している。

(6) 第34回全国地域指導者(普及)委員長会議 6月19日(土)～20日(日)

東京「九段会館」 参加者75人

* 本連盟役員、日体協役員、全加盟団体委員長が一堂に会し、全国共通の課題や指示・連絡・報告事項について審議した。毎年の定期会議として実施しており、平成23年度は6月11日(土)～12日(日)幕張セミナーハウスで開催する予定である。

指導者養成事業の原点は、資格を有する優秀な指導者の育成であり、今後とも質の高い指導者の養成を推進していく所存である。

3、水泳教師委員会

水泳教師委員長 澁谷 俊一

(1) 水泳教師新規養成事業の推進 (日本スイミングクラブ協会と合同推進)

① 適応コース講習検定会の実施 5校 (日本水泳連盟が担当)

大阪社会体育専門学校

東京スポーツレクリエーション専門学校

トライデント・スポーツ健康科学専門学校

東京 YMCA 社会体育・保育専門学校

東京リゾート&スポーツ専門学校

② 新規養成コース講習検定会の実施 (日本スイミングクラブ協会が担当)

日本スイミングクラブ協会全国10支部の各会場にて開催

③ 「資格を取ろうキャンペーン」活動の実施 (日本スイミングクラブ協会と合同推進)

(2) 水泳教師資格の新規・更新登録事業 (日本スイミングクラブ協会と合同推進)

4月・10月認定「日本水泳連盟・日本スイミングクラブ協会合同検定委員会」の開催

(3) 水泳教師資格更新研修会事業 (日本スイミングクラブ協会と合同推進)

日本スイミングクラブ協会 全国10支部の各会場にて開催

5月「更新研修会受講のお知らせ」を全資格保有者対象に送付

猶予者のフォローアップ

(4) 水泳教師在籍施設証明事業の推進 (日本スイミングクラブ協会と合同推進)

4月・10月認定 認定施設の新規・更新登録事業

2月・9月「日水連・SC協」全登録クラブ宛に在籍施設認定申請のお知らせ送付

7. 生涯スポーツ・普及事業 (寄附行為第4条-10、14)

生涯スポーツ・普及事業担当 鈴木 大地

日本泳法では、兵庫県にて開催された泳法大会(8月)を通じ各流派が各々技能を高めた。水戸で開催予定の研究会(3月)は、東日本大震災の影響で中止となった。生涯スポーツ委員会では、泳力検定の受験者数および合格者数を増やした。日本スポーツマスターズ大会での参加者も増加した。OWSでは、大会運営・大会支援・クリニックなどの普及活動と、国際大会に積極的に選手を派遣し、強化を推進した。

1. 日本泳法委員会

委員長 八木沼 正彦

平成22年度の第60回日本泳法研究会が東日本大震災の一週間後に予定されていたが、水戸市内の講演会場ホテルと県営プールが被災、常磐線の運行停止などにより中止となった。その後、各流派との調整により、第60回研究会は順延とし、平成23年度事業として平成24年3月に再度、課題を「水府流」として水戸で開催することにした。これにより当初予定されていた課題「神伝流」(愛媛県松山で開催予定)を平成24年度事業として繰り延べすることになった。

また、今夏の第56回日本泳法大会会場の千葉国際プールも震災で被害が出たが、千葉県水泳連盟の努力により、一部排水規制や時間制限などが残っているもののすでに補修されており、開催が可能と判断された。しかし、計画停電など不確定要素が残っていることも事実である。

- (1) 第56回日本泳法大会 平成23年8月20日(土)21日(日)千葉国際プール
- (2) 範士、教士、練士、游士の認定、
- (3) 第60回日本泳法研究会 平成24年3月17日(土)18日(日)
課題「水府流」講義、水戸プラザホテル 実技、アトラス水戸
- (4) 游士研鑽会の実施、審判研修会の実施

2. 生涯スポーツ委員会

生涯スポーツ委員長 鈴木 大地

(1) 泳力検定

・泳力検定 実績数認定書発行 41,757 名

5月13日現在の22年度検定受検者数 58,177 名、合格者数 40,334 名(5月末締めのため変動あり)

・特別泳力検定会を大阪府、新潟県、愛媛県、高知県、山形県、北海道、兵庫県、山梨県、宮崎県で開催。

・泳力検定表彰 33 団体(年間 300 名超を 3 年間継続の団体)を表彰。

(2) 日本スポーツマスターズ 2010 三重大会の実施。(日体協委託事業)

・9月18-19日開催。参加者 605 名(男子 422、女子 183 名)前年比+52 名。

・水連独自に優秀団体表彰。神奈川県が最優秀団体として表彰を受けた。

(3) 普及関係

・優秀団体表彰 選手育成の一環として地域活動に貢献した15 団体を表彰。

3. オープンウォータースイミング委員会

OWS委員長 鷲見 全弘

OWS の成長発展に必要な大会運営・大会支援・クリニックなどの普及活動と、国際大会への選手派遣を通じた強化活動を推進した1年であった。

(1) OWS スイムクリニックの実施

期 間:平成 22 年 5 月 30 日～8 月 28 日

場 所:プール…秋葉台公園プール、千葉国際総合水泳場、近畿大学

海……………神奈川県逗子海岸、兵庫県須磨海岸、兵庫県姫路市家島

千葉県北条海岸、神奈川県腰越海岸

参加者:318名

(2) OWS 検定の実施

期 間:平成 22 年 8 月 28 日～11 月 21 日

場 所:兵庫県姫路市家島、慶應義塾大学日吉協生館プール、東京辰巳国際水
泳場

参加者:101名

(3) OWS ジャパンオープン 2010 館山/第 14 回館山オープンウォータースイムレースの実施

日 時:平成 22 年 7 月 18 日、19 日

場 所:千葉県館山市北条海岸

参加者:83名(18日)、475名(19日)

(4) 第 2 回東京・マラソンスイミングの実施

日 時:平成 22 年 9 月 20 日

場 所:東京都港区お台場海浜公園

参加者:114名

(5) 第 4 回ひめじ家島オープンウォータースイミング大会の支援

日 時…平成 22 年 8 月 29 日

場 所…兵庫県姫路市家島諸島

主 催…ひめじ家島 OWS 大会実行委員会

(6) 湘南オープンウォータースイミング 2010 の支援

日 時…平成 22 年 8 月 28 日、29 日

場 所…神奈川県逗子市、鎌倉市、藤沢市

主 催…湘南マリンオーガニゼーション

(7) 競艇場でのテストイベント(OWS テストスイミング in 浜名湖競艇)の実施

競艇場を活用した OWS の競技会・練習拠点の実施可能性について、テストイベントを実
施して調査・検証

場 所…浜名湖競艇場

日 時…平成 22 年 10 月 9 日

泳 者…1名

要 点…ゴールゲート(1機)及びコーナーブイ(4個)の設置検証など 7 項目について調
査・検証

(8) 第 4 回ジュニアパンパシフィック選手権への選手派遣

場 所…米国ハワイ州マウイ島

日 時…平成 22 年 8 月 30 日

選 手…男子 3 名、女子 3 名

戦 績…瀧口陽平 2 位、柴田慎一郎 8 位、渡辺涼太 11 位

太田明成 3 位、中塚 望 5 位、和田麻里 8 位

(9) FINA マラソンスイミングワールドカップへの選手派遣

場 所…中国・汕頭市、香港

日 時…平成 22 年 9 月 25 日(汕頭)、10 月 3 日(香港)

選 手…男子 3 名、女子 3 名

戦 績…秋元洸輔 12 位、平井康翔 15 位

(汕頭)山中 薫 15 位、和田麻里 21 位

戦績…渡辺涼太 10 位、平井康翔 13 位、秋元洸輔 15 位
(香港)山中 薫 12 位、貴田裕美 13 位、和田麻里 16 位

8. 総務事業 (寄附行為第 4 条 - 5)

総務事業担当 泉 正文

平成22年度の総務事業全体としては、「ロンドンオリンピックのセンターポールに日の丸を！」のスローガンのもとに、執行部との年度初めのヒヤリングに伴う各委員会ごとの重点実施事項を3項目から4項目掲げて業務に取り組んだ。概ね計画通りに業務遂行することができた。しかし、安定的な財源確保の目標については、公認・推薦事業と情報システム委員会の記録ランキング データ活用事業の携帯サイト活用事業で成果があったが、免税募金事業は目標達成出来なかった。

1. 広報委員会

広報委員長 村山よしみ

月刊水泳発行については、9月の76ページに及ぶページ作成に時間を要し発行が遅延した。それ以外の月は、15日発行が予定通りできた。各委員会の大会報告書の提出が遅れたり、急に掲載依頼が来たりすることも多く、各委員会の提出に関しては、期日厳守でお願いしていきたい。

ホームページについては、各委員会から掲載依頼が届いても、ホームページにアップするのに時間がかかった事も有り、今後スピーディーにアップできるように心掛けたい。トピックスについては、バックナンバーを見る事が出来るようになった。主要大会や告知など、コマ目にトピックスを変えられるように、ホームページ協力会社と連携を取りたい。

主要大会の広報としては、委員と連携をとり役割分担をこなした。主要大会では、報道担当も加わり、ミックスゾーンでのメディア対応と選手誘導を協力会社と連携し、実施した。

2. 施設用具委員会

施設用具委員長 國富 進

前年度に引き続き、FINAの規則改正に伴うプール公認規則を見直し、公認規則を改定し4月から運用した。全国公認測量者会議を4月末に開催し改定内容の周知徹底を図るとともに、従来の冊子での整備を改めホームページから検索することとした。

これにより様式等の検索が簡単に行えるようになった。

併せて、公認規則運用に関するQ&Aを見直し、ホームページに掲載した。

また、公認申請(事前・新規・再公認)関係の書式の統一を図り、取扱い等を整理した。施設用器具の公認・推薦については、総務委員会と連携し引き続き検討していきたい。

施設用具委員会事業

- (1) プール公認規則の整備
- (2) プール施設の公認
- (3) プール用器具の公認・推薦
- (4) プール施設及び公認用器具の研究・開発

3. 情報システム委員会

情報システム委員長 須永 孝

2010年度の競技者登録・大会エントリーシステム(Web-SWMSYS)の機能追加改善項目は、「競技者登録数の正確性向上」、「追加登録申請時の差分申請書印刷出力機能」、「エントリー登録者から正規登録者への登録変更操作の容易化」及び全国地域会議での要望事項でとりあげられた「加盟団体をまたがる競技者の異動状況の把握機能」(これは異動日の翌日に加盟団体が登録したEメール宛に異動者があったことを自動通知する機能)の仕様検討とシステムの開発委託を行った。また、Web-SWMSYSが基盤システムとしての位置づけとなり、システムダウンが直接大会エントリーができなくなるなど大会開催準備に影響を及ぼす。このリスクを回避するため、システム開発会社と運用サポートの有償契約を交わした。これは大会開催準備が遅れないように、Web-SWMSYSのダウン時間の許容範囲を24時間(1日間)以内と設定し、復旧に責任をもってあたる体制を明確化した。今後は、不具合調査・作業依頼事項についても都度書面でやり取りを行い経過を残すことで有償対価の妥当性を明確にすることにした。

2011年2月6日には全国情報システム委員長会議を開催。今回は、今年度開発したWeb-SWMSYSの追加改善内容の周知徹底と各加盟団体の意見交換、また昨年に続き情報システム担当者が自ら開発したシステムを公開していただいた。情報システム委員会が作成した「1競技終了後に記録に対するFINAポイントを即座に作成するソフト」が公開された。種々課題は山積しているが、多くの方々のご支援ご協力で事業を推進することができた。

- (1) Web-SWMSYSの追加機能開発
- (2) 〃 運用サポートの有償化による責任体制の明確化
- (3) 記録ランキングシステム/携帯電話サイトの委託内容の明確化

4. 総務委員会

総務委員長 坂元 要

平成22年度は、業務の重点実施事項の第1に新公益法人制度改正への対応を掲げた。月1回のペースで打ち合わせ会議を開催して、目標とした定款案や細則案等の原案を作成することができた。第2の公認・推薦等を含め収益事業の推進については、施設用具委員会を主に他委員会とも連携が出来て推薦企業に4社加入してもらうことが出来た。

第3に掲げた免税募金事業の促進については、安定的な財源確保を目指したが目標達成に至らなかった。第4の新規定集の整備と発刊準備については、第1目標の新公益法人制度改正への事項と重なる部分もあるが、目標通り遂行できた。

今後も各委員会との連絡調整を密にはかりながら、諸事業に積極的に取り組んでいく所存である。

9. 記録

(寄附行為第4条-5)

1. 日本新記録及び高校・中学・学童記録の公認

		4/1~11		4/13~18			6/3			6/4~6		
長水路	日本記録	男子		3	男子	3		男子			男子	
		女子			女子	0		女子			女子	
	高校記録	男子		1	男子	1		男子		1	男子	0
		女子			女子	0		女子			女子	1
	中学記録	男子			男子			男子		1	男子	0
		女子			女子			女子			女子	1
	学童記録	男子			男子			男子			男子	
		女子			女子			女子			女子	
短水路	日本記録	男子			男子			男子			男子	
		女子			女子			女子			女子	
	高校記録	男子			男子		1	男子	0		男子	
		女子			女子			女子	1		女子	
	中学記録	男子			男子			男子			男子	
		女子			女子			女子			女子	
	学童記録	男子			男子			男子			男子	
		女子			女子			女子			女子	

		6/7~7/30		7/31~8/16			8/17~23			8/24~30		
長水路	日本記録	男子			男子		1	男子	0		男子	
		女子			女子			女子	1		女子	
	高校記録	男子			男子		1	男子	1		男子	
		女子			女子			女子	0		女子	
	中学記録	男子			男子		1	男子	0		男子	
		女子			女子			女子	1		女子	
	学童記録	男子			男子			男子			男子	
		女子			女子			女子			女子	
短水路	日本記録	男子			男子			男子			男子	
		女子			女子			女子			女子	
	高校記録	男子			男子			男子			男子	
		女子			女子			女子			女子	
	中学記録	男子			男子			男子			男子	
		女子			女子			女子			女子	
	学童記録	男子			男子			男子			男子	
		女子			女子			女子			女子	

		8/31~9/5		9/6~12			10/21			11/18		
長水路	日本記録	男子		1	男子	0		男子		2	男子	0
		女子			女子	1		女子			女子	2
	高校記録	男子			男子			男子		1	男子	1
		女子			女子			女子			女子	0
	中学記録	男子		1	男子	1		男子			男子	
		女子			女子	0		女子			女子	
	学童記録	男子			男子			男子			男子	
		女子			女子			女子			女子	
短水路	日本記録	男子			男子		5	男子	2	1	男子	1
		女子			女子			女子	3		女子	0
	高校記録	男子			男子		3	男子	2	1	男子	1
		女子			女子			女子	1		女子	0
	中学記録	男子			男子			男子		1	男子	0
		女子			女子			女子			女子	1
	学童記録	男子			男子			男子			男子	
		女子			女子			女子			男子	

		12/19		2/24		2/26~27		2/28~3/31	
長水路	日本記録		男子 女子		男子 女子		男子 女子		男子 女子
	高校記録		男子 女子		男子 女子		男子 女子		男子 女子
	中学記録	1	男子 0 女子 1	1	男子 0 女子 1		男子 女子		男子 女子
	学童記録		男子 女子	4	男子 2 女子 2		男子 女子		男子 女子
短水路	日本記録	4	男子 4 女子 0	2	男子 1 女子 1	6	男子 6 女子 0		男子 女子
	高校記録		男子 女子	2	男子 2 女子 0	8	男子 5 女子 3		男子 女子
	中学記録		男子 女子		男子 女子	3	男子 0 女子 3		男子 女子
	学童記録		男子 女子		男子 女子		男子 女子		男子 女子

10. 表

彰

(寄附行為第4条-14)

1. 日本水泳連盟 最優秀・優秀選手賞、優秀コーチ賞

(最優秀選手)

北島 康介 (きたじま こうすけ)	28	コカ・コーラ
松田 丈志 (まつだ たけし)	26	コスモス薬品・東海 SC

(優秀選手)

岸田 真幸 (きしだ まさゆき)	24	アリゾナ大学 (5年)・キングソフト
古賀 淳也 (こが じゅんや)	23	スウィン埼玉
入江 陵介 (いりえ りょうすけ)	20	近畿大学 (3年)・イトマン SS
藤井 拓郎 (ふじい たくろう)	25	KONAMI
立石 諒 (たていし りょう)	21	慶應義塾大学 (3年)・NECGSS
富田 尚弥 (とみた なおや)	21	中京大学 (3年)
高桑 健 (たかくわ けん)	25	自衛隊体育学校
堀畑 裕也 (ほりはた ゆうや)	20	日本体育大学 (2年)
寺川 綾 (てらかわ あや)	26	ミズノスイムチーム

(優秀コーチ)

平井 伯昌 (ひらい のりまさ)	東京スイミングセンター
------------------	-------------

2. 東京運動記者クラブ水泳分科会新人賞

富田 尚弥	中京大学 (3年)
-------	-----------

3. 日本スポーツ賞(読売新聞社)

競技団体別最優秀賞	北島 康介	コカ・コーラ
-----------	-------	--------

4. 日本記録賞

長水路日本記録賞

(男子)

岸田 真幸	北島 康介	堀畑 裕也
-------	-------	-------

(女子)

寺川 綾	加藤 ゆか	上田 春佳	松本 弥生
萩原 智子	伊藤 華英		

短水路日本記録賞

(男子)

瀧口 陽平	入江 陵介	北島 康介	松田 丈志
藤井 拓郎	瀬戸 大也	山元 啓照	原田 蘭丸
高桑 健	川内 勇輝	富田 尚弥	岸田 真幸

(女子)

萩原 智子	加藤 ゆか	寺川 綾	青木 玲緒樹
上田 春佳			

平成22年度 有功章

1	北海道水泳連盟	森木 義雄
2	青森県水泳連盟	山本 一則
3	岩手県水泳連盟	佐々木 豊実
4	宮城県水泳連盟	及川 節子
5	秋田県水泳連盟	伊藤 章
6	山形県水泳連盟	定成 好則
7	福島県水泳連盟	壺岐 ひろみ
8	茨城県水泳連盟	竹内 芳夫
9	栃木県水泳連盟	打木 一郎
10	群馬県水泳連盟	猿谷 宝
11	埼玉県水泳連盟	須田 邦明
12	千葉県水泳連盟	平本 武男
13	東京都水泳協会	内山 泰雄
14	東京都水泳協会	澁谷 美紀子
15	神奈川県水泳連盟	中田 敏雄
16	神奈川県水泳連盟	國富 進
17	山梨県水泳連盟	笹本 堯
18	長野県水泳連盟	篠原 邦彦
19	新潟県水泳連盟	馬場 正和
20	富山県水泳連盟	小林 稔
21	石川県水泳協会	加藤 広一
22	福井県水泳連盟	荒矢 辰雄
23	静岡県水泳連盟	鳥居 裕史
24	愛知水泳連盟	畠山 清
25	愛知水泳連盟	近藤 節子
26	三重県水泳連盟	西田 憲治
27	岐阜県水泳連盟	木村 和夫
28	滋賀県水泳連盟	川口 浩
29	京都水泳協会	奥 芳文

30	(財)大阪水泳協会	押元 隆
31	(財)大阪水泳協会	中西 利彦
32	兵庫県水泳連盟	安藤 伸雄
33	兵庫県水泳連盟	宮内 雄治
34	和歌山県水泳連盟	下津 修三
35	(財)鳥取県水泳連盟	安永 三郎
36	岡山県水泳連盟	吉村 勝明
37	(財)広島県水泳連盟	土井 雅夫
38	(財)山口県水泳連盟	春吉 清
39	香川県水泳協会	武内 正幸
40	徳島県水泳連盟	堤 能理子
41	愛媛県水泳連盟	安平 仁
42	高知県水泳連盟	三浦 光夫
43	福岡県水泳連盟	持橋 泰三
44	佐賀県水泳連盟	原口 隆
45	長崎県水泳連盟	古川 剛
46	大分県水泳連盟	菅 正文
47	鹿児島県水泳連盟	平山 勝博
48	沖縄県水泳連盟	川満 正芳
49	日本スイミングクラブ協会	奥村 征照
50	日本マスターズ水泳協会	土倉 敏男
51	飛込委員会	谷内 覚
52	シンクロ委員会	樋口 恵好
53	水球委員会	黒田 克己
54	医科学委員会	武藤 芳照
55	ジュニア委員会	富樫 牧夫
56	競技力向上コーチ委員会	設楽 義信
57	競技委員会	藤田 博

合計 57名

平成22年度(2010年)優秀団体表彰

栄章規則第18条 優秀団体一イ

弘前水泳協会	魚津市水泳協会
さくらんぼ水遊会	小松市水泳協会
水府流水術協会	名古屋スイミングクラブ
伊勢崎市水泳協会	エル・アティン・スイミングスクール京都
さいたま市立植竹中学校	明石市水泳協会
印西市水泳協会	阿南市水泳連盟
野尻湖游泳協会	奄美小学校水泳スポーツ少年団
柏崎アクアクラブ	計15 団体

栄章規則第18条優秀団体一ロ

古河あかやまスイミングスクール	スウィンみよしスイミングスクール
スウィン伊勢崎スイミングスクール	東松山スイミングスクール
スウィン前橋スイミングスクール	千葉イトマンスイミングスクール
スウィン吉井スイミングスクール	千葉県水泳連盟
ナガイスイミングスクール	イトマンスイミングスクール昭和の森校
スウィン深谷スイミングスクール&スポーツクラブ	イトマンスイミングスクール東伏見校
Swin 大教スイミングスクール大宮東	高島平スイミングスクール
大宮スイミングスクール	イトマンスイミングスクール新百合ヶ丘校
大宮スイミングスクール西校	イトマンスイミングスクール横須賀校
北本市水泳連盟	チャンピオンスイムクラブはたの
埼玉スウィンスイミングスクール桶川校	横浜国際プール
埼玉スウィン鷺宮	アクティス三条
スウィン鴻巣スイミングスクール	東海イトマンスイミングスクール鯨
スウィン越谷スイミングスクール	豊川高等学校
スウィンふじみ野スイミングスクール	イトマンスイミングスクール
スウィン本庄スイミングスクール	(財)尼崎市スポーツ振興事業団サルーススイ
スウィン南越谷スイミングスクール	ミングスクール

33 団体

11. 合宿・指導・講習・研修

(寄付行為第4条-2)

1. 合宿 I. 国内合宿

(1) 競泳

① ジュニア研修合宿（ブロック別合宿）

ブロック	期間	場所	スタッフ(名)	選手(名)	計(名)
北海道	12/23～28	野幌総合運動公園体育館プール	9	42	51
東北	12/18～23	岩手県宮屋内温水プール	13	33	46
関東	12/17～22	千葉県国際総合水泳場	13	42	55
東 京	12/21～26	東京辰巳国際水泳場	13	76	89
北 信	12/23～28	福井県運動公園水泳場・福井市東山健康運動公園	6	29	35
東 海	12/23～28	三重県営鈴鹿スポーツガーデン	7	31	38
近 畿	12/25～30	尼崎スポーツの森	7	29	36
中 国	12/23～28	広島県立総合体育館グリーンアリーナ	7	35	42
四 国	12/25～30	アクアパレットまつやま(松山中央公園プール)	5	30	35
九 州	12/22～27	サイズスイミングスクールプール・佐伯市民総合プール、他	13	32	45
(計)			93	379	472

② エリート小学生研修合宿

9/23～26 国立スポーツ科学センター 45 38 83

③ ジュニアエリート合宿

第1回 12/12～15 国立スポーツ科学センター 28 26 54
第2回 3/1～20 国立スポーツ科学センター 10 10 20

④ ナショナル合宿

鈴鹿 12/15～23 三重県鈴鹿スポーツガーデン水泳場 35 50 85
富士 12/15～23 静岡県富士水泳場 35 46 81

⑤ パンパシフィック選手権合宿

5/28～30 国立スポーツ科学センター 16 47 63

⑥ パンパシフィック選手権サポート合宿

第一組 4/28～5/9 国立スポーツ科学センター 2 5 7
第二組 6/6～7/1 国立スポーツ科学センター 16 32 48
第三組 7/1～8/5 国立スポーツ科学センター 6 8 14
第四組 7/1～14 国立スポーツ科学センター 12 28 40

⑦ アジア大会サポート合宿

第一組 9/16～10/9 国立スポーツ科学センター 1 2 3
第二組 10/9～18 国立スポーツ科学センター 3 4 7
第三組 10/21～24 国立スポーツ科学センター 1 2 3

⑧ アジア大会合宿

第1回 10/18～19 国立スポーツ科学センター 7 28 35
第2回 11/4～9 国立スポーツ科学センター 15 29 44

⑨ 世界短水路選手権サポート合宿

11/12～19 国立スポーツ科学センター 1 1 2

⑩ 五輪候補・準候補選手合宿

12/2～6 国立スポーツ科学センター 12 15 27

⑪ インターナショナル強化合宿

第1回 12/15～23 国立スポーツ科学センター 23 37 60
第2回 2/7～20 国立スポーツ科学センター 17 21 38

(2) 飛込

① ジュニア世界選手権合宿

7/13～17 大阪プール 3 6 9

②	ジュニア強化合宿							
	第1回	12/18~23	静岡県富士水泳場	19	26	45		
	第2回	3/23~28	三重県鈴鹿スポーツガーデン水泳場	8	8	16		
③	オリンピック強化拠点合宿							
	第1回	6/22~28	大阪プール	6	7	13		
	第2回	7/12~15	静岡県富士水泳場	5	6	11		
	第3回	9/20~25	静岡県富士水泳場/浜松市総合水泳場	4	5	9		
	第4回	3/23~28	三重県鈴鹿スポーツガーデン水泳場	1	3	4		
④	ナショナル強化合宿							
		4/29~5/8	静岡県富士水泳場	7	6	13		
⑤	アジア大会合宿							
	第1回	10/8~15	静岡県富士水泳場	7	7	14		
	第2回第1組	10/23~24	三重県鈴鹿スポーツガーデン水泳場	1	2	3		
	第2回第2組	10/29~31	静岡県富士水泳場	3	5	8		
	第3回	11/7~15	三重県鈴鹿スポーツガーデン水泳場	6	7	13		
⑥	拠点事業							
	上期	4月~9月	宝塚スイミングスクール	延12	延33	延45		
	下期	10月~3月	宝塚スイミングスクール	延18	延37	延55		
(3)	水球							
①	男子ユース研修合宿(Age93)							
		1/28~30	国立スポーツ科学センター	16	23	39		
②	女子ユース研修合宿(Age93)							
		2/4~6	筑波大学	3	17	20		
③	男子国内強化合宿							
	第1回	4/10~25	慶應義塾大学/日本体育大学/筑波大学	7	16	23		
	第2回	5/1~17	筑波大学/日本体育大学	11	18	29		
	第3回	8/11~19	国立スポーツ科学センター	11	19	30		
	第4回	10/12~17	三重県鈴鹿スポーツガーデン水泳場	3	16	19		
	第5回	11/7~14	国立スポーツ科学センター	9	15	24		
	第6回	12/18~19	筑波大学	3	10	13		
	第7回	1/15~16	長岡屋内総合プール	1	6	7		
④	女子国内強化合宿							
	第1回	4/16~18	国立スポーツ科学センター	5	16	21		
	第2回	4/23~25	国立スポーツ科学センター	5	14	19		
	第3回	5/4~9	埼玉県花咲徳栄高等学校	5	14	19		
	第4回	5/16~19	国立スポーツ科学センター	3	14	17		
	第5回	12/23~27	埼玉県秀明英光高等学校	3	16	19		
	第6回	2/4~6	筑波大学	3	17	20		
⑤	オーストラリア選手団合同練習							
		10/24~11/3	国立スポーツ科学センター	20	29	49		
								(オーストラリア選手・スタッフ含む)
(4)	シンクロ							
①	全国選抜ジュニア中央合宿							
		12/18~21	国立スポーツ科学センター	15	27	42		
②	ジュニア世界選手権合宿(チーム)							
	第1回	5/14~22	国立スポーツ科学センター	8	11	19		
	第2回	6/4~13	国立スポーツ科学センター	18	10	28		
	第3回	7/1~8	国立スポーツ科学センター	5	11	16		
	第4回	7/11~15	国立スポーツ科学センター	14	11	25		
	第5回	7/24~28	三重県鈴鹿スポーツガーデン水泳場	5	11	16		
	第6回	7/31~8/7	国立スポーツ科学センター	10	11	21		
③	ジュニア世界選手権合宿(ソロ・デュエット)							
	第1回	6/25~27	国立スポーツ科学センター	3	2	5		
	第2回	7/22~24	三重県鈴鹿スポーツガーデン水泳場	2	2	4		

④ チェコ遠征合宿								
第 1 回	10/27～28	国立スポーツ科学センター	2	3	5			
第 2 回	11/6～8	国立スポーツ科学センター	4	3	7			
第 3 回	11/16～19	三重県鈴鹿スポーツガーデン水泳場	3	3	6			
第 4 回	11/27～30	国立スポーツ科学センター	4	3	7			
⑤ ユース有望選手強化合宿	10/9～13	国立スポーツ科学センター	30	31	61			
⑥ ユースエリート・ジャンパー合宿								
第 1 回	10/28～11/1	国立スポーツ科学センター	14	13	27			
第 2 回	11/20～24	国立スポーツ科学センター	16	12	28			
第 3 回	12/26～30	国立スポーツ科学センター	19	11	30			
⑦ ユースジャンパー合宿	1/28～30	国立スポーツ科学センター	6	4	10			
⑧ ワールドカップ合宿								
第 1 回	5/22～6/5	国立スポーツ科学センター	28	13	41			
第 2 回	6/10～30	国立スポーツ科学センター	27	11	38			
第 3 回	7/4～9	静岡県富士水泳場	12	10	22			
第 4 回	7/13～29	国立スポーツ科学センター	26	10	36			
第 5 回	8/8～26	国立スポーツ科学センター	30	10	40			
第 6 回	8/30～9/12	浜松市総合水泳場/国立スポーツ科学センター	24	10	34			
⑨ ワールドカップ・ジャンパー合宿	7/31～8/3	国立スポーツ科学センター	3	3	6			
⑩ ワールドトロフィ合宿								
第 1 回	9/25～10/3	国立スポーツ科学センター	18	14	32			
第 2 回	10/9～10/16	浜松市総合水泳場	4	12	16			
第 3 回	10/24～11/2	国立スポーツ科学センター	7	12	19			
第 4 回	11/12～21	国立スポーツ科学センター	14	12	26			
第 5 回	11/25～30	国立スポーツ科学センター	9	12	21			
⑪ アジア大会合宿								
第 1 回	9/30～10/6	浜松市総合水泳場	11	10	21			
第 2 回	10/12～25	国立スポーツ科学センター	19	10	29			
第 3 回	11/1～14	国立スポーツ科学センター	16	10	26			
⑫ 全国選抜シニア中央合宿	12/21～26	国立スポーツ科学センター	18	23	41			
⑬ ジャーマンオープン・フレンチオープン合宿								
第 1 回	1/7～28	国立スポーツ科学センター	24	11	35			
第 2 回	2/1～6	国立スポーツ科学センター	11	11	22			
第 3 回	2/11～23	国立スポーツ科学センター	13	11	24			
第 4 回	2/27～3/7	国立スポーツ科学センター	19	11	30			
⑭ 世界選手権合宿	3/31(～4/6)	国立スポーツ科学センター	5	11	16			
II 海外合宿								
(1) 競泳								
① パンパシフィック大会合宿	4/21～28	アメリカ グアム	15	45	60			
② パンパシフィック大会高地合宿	7/14～8/12	アメリカ フラッグスタッフ	17	34	51			
③ パンパシフィック大会調整合宿	8/5～14	アメリカ ミッションビエホ	20	47	67			
④ アジア大会事前高地合宿	9/16～10/8	中国 昆明	17	26	43			

⑤	アジア大会事前グアム合宿							
		10/25～11/4	アメリカ	グアム	13	27	40	
⑥	インターナショナル合宿							
		2/8～2/20	アメリカ	グアム	18	22	40	
⑦	五輪候補選手合宿							
		1月～3月	アメリカ各地	及び シンガポール	10	10	20	
(2)	飛 込							
①	オーストラリア・シドニー強化合宿							
	第 1 回	1/5～14	オーストラリア	シドニー	2	3	5	
	第 2 回	2/15～3/7	オーストラリア	シドニー	3	3	6	
②	アメリカ強化合宿							
		1/14～3/8	アメリカ	インディアナポリス及びアイオワ		2	2	
(3)	水 球							
①	男子広州合宿							
		7/5～9	中国	広州	2	13	15	
②	男子豪州合宿							
	第 1 回	8/19～26	オーストラリア	シドニー	2	13	15	
	第 2 回	12/25～1/1	オーストラリア	パース	1	12	13	
(4)	シンクロ							
①	アメリカ強化合宿							
		2/6～14	アメリカ	サンフランシスコ		1	1	

2. 指導・講習・研修

(1) 競泳・競技役員研修会・講習会

競技委員会

種別	開催県	開催会場	開催期日	派遣講師名	参加人数	備考
北海道ブロック	北海道	新さっぽろアークシティーホテル	平成22年6月20日(日)	安部・後藤	152名	70名新規
東北ブロック	岩手県	盛岡市立総合プール	平成22年5月9日(日)	安部・藤森	62名	日本高校
関東ブロック	千葉県	千葉県国際総合水泳場	平成22年5月23日(日)	鈴木・藤田	75名	国体
北信越ブロック	福井県	敦賀市総合運動公園総合体育館	平成22年5月9日(日)	谷口・後藤	51名	国体
東海ブロック	愛知県	日本ガイシフォーラムレセプションホール	平成22年4月25日(日)	後藤・高橋	317名	
近畿ブロック	京都府	京都アクアリーナ 会議室	平成22年5月30日(日)	後藤・谷口	80名	実業団
中国ブロック					名	
四国ブロック	高知県	土佐高等学校	平成22年5月9日(日)	高坂・松本	58名	
九州ブロック	沖縄県	奥武山総合運動公園プール	平成22年5月16日(日)	藤森・谷口	102名	日本高校
加盟団体	静岡県	静岡商工会議所	平成22年4月11日(日)	藤森・吉井	200名	
加盟団体	兵庫県	兵庫県学校厚生会館	平成22年4月25日(日)	藤田・谷口	115名	
加盟団体	三重県	県営鈴鹿スポーツガーデン水泳場	平成22年4月29日(木)	高坂・後藤	120名	
加盟団体	新潟県①	ダイエープロビスフェニックスプール会議室	平成22年5月16日(日)	松本・後藤	92名	日本高校
加盟団体	山口県	山口南総合センター・多目的ホール	平成22年9月26日(日)	安部・藤森	163名	国体
加盟団体	新潟県②	新潟市東スポーツセンター	平成22年12月5日(日)	藤森・後藤	40名	日本高校
加盟団体	岐阜県	岐阜聖徳大学岐阜キャンパス内	平成22年5月23日(日)	谷口・藤森	102名	国体
加盟団体	奈良県	天理大学体育学部	平成22年10月24日(日)	後藤・二見	40名	
加盟団体	学生委員会	相模原グリーンプール内会議室	平成22年12月4日(土)	三友・江口	118名	関東支部
加盟団体	埼玉県	立教新座中・高校セントポールスタジアム	平成23年2月20日(日)	安部・藤森	70名	
加盟団体	神奈川県	小田原箱根商工会議所	平成23年1月23日(日)	佐野・後藤	200名	
派遣要請	高体連	盛岡市立総合プール	平成22年7月23日(金)	安部・谷口	名	日本高校リハ2日間
派遣要請		〃		小野		
派遣要請	高体連	奥武山総合運動公園プール	平成22年7月17日(土)	谷口	名	日本高校リハ4日間
派遣要請	中体連	広島市総合屋根内プール	平成22年4月10日(土)	藤田・松本	名	全中リハ2日間

(2) 飛込:公認審判員中央研修会

東京会場	平成21年8月8日(土)	グランド高輪プリンスホテル	参加数32名
大阪会場	平成21年6月27日(土)	大阪プール	参加数26名

(3) 水球:審判員講習会

① FINAレフェリースクール

種別	開催地	開催会場	開催期日	参加者予定者	
アジアスクール	中国	天津	5月24日～26日	榎橋・田原・朝比奈・折笠・中・波多	

② 国際審判招聘講習会

種別	開催地	開催会場	開催期日	講師名	参加人数実際	備考
第1回中央講習会	大阪府	大阪プール	5月18日～20日	ロンツィ他	37(外国人13名含む)	
第2回中央講習会	東京都	東京辰巳国際水泳場	10月1日～3日	kiszelly	53名	

③ 審判・指導者講習会

種別	開催地	開催会場	開催期日	派遣講師名	参加人数実際	備考
講習会事前打ち合わせ	千葉県	千葉国際水泳場	3月27日	牧田	10名	
東北ブロック	山形県	山形工業高校	5月8・9日	牧田	55名(選手31名含む)	
関東ブロック	神奈川県	慶應義塾大学	4月11日	牧田・折笠	47名	
北信越ブロック	石川県	金沢工業高校	4月17・18日	榎本	18名	
東海ブロック	愛知県	名古屋高校	4月24日	若林	34名	
近畿ブロック	大阪府	大阪プール	5月9日	折笠	28名	
中国・四国ブロック	島根県	松江市	4月29日	牧田	25名	
九州ブロック	鹿児島県	鹿児島南高校	4月24・25日	牧田	28名	
第1回中央講習会	大阪府	大阪プール	5月18日～20日	ロンツィ他	37(外国人13名含む)	
第2回中央講習会	東京都	東京辰巳国際水泳場	10月1日～3日	kiszelly	53名	

※加盟団体主催の講習会は各ブロック企画で行います。

④ 海外派遣レフェリー

種別	開催地	開催会場	開催期日	派遣審判名		
① ワールドリーグ アジア/オセアニアラウンド女子	日本	大阪府	5月19日～23日	福元寿夫		
② ワールドリーグ アジア/オセアニアラウンド女子	中国	天津	5月26日～30日	折笠敬一		
③ ワールドリーグ アジア/オセアニアラウンド男子	日本 中国	大阪府 天津	5月19日～23日 5月26日～30日	牧田和彦		
④ アジア大会	中国	広州	11月12日～27日	槇橋邦広 潮崎正一		

(4)シンクロ: 審判員研修会・講習会

① 審判長派遣事業

	期日	派遣先	大会	派遣
1	4月4日(日)	静岡	・日本選手権県予選会(東海ブロック)	濱川俊恵
2	4月4日(日)	新潟	・日本選手権県予選会(北信越ブロック)	山田智子
3	4月29日(木)	富山	・フィギュア記録会	樋口育子
4	6月19日(土)・20日(日)	長野	・日本チャレンジカップ2010 長野県予選会他	山田智子
5	6月26日(土)・27日(日)	新潟	・日本チャレンジカップ2010 新潟県予選会他	田中洋子
6	6月26日(土)・27日(日)	石川	・日本チャレンジカップ2010 石川県予選会	濱川俊恵
7	6月26日(土)・27日(日)	岡山	・日本チャレンジカップ2010 中国5県予選会他	樋口育子
8	7月4日(日)	山形	・日本チャレンジカップ2010 予選会(東北ブロック)	濱川俊恵
9	7月17日(土)・18日(日)	岐阜	・全国 JOC ジュニアオリンピックカップ東海ブロック大会他	山田智子
10	7月17日(土)・18日(日)	高知	・全国 JOC ジュニアオリンピックカップ中・四国ブロック大会	田中洋子
11	7月18日(日)・19日(月)	岩手	・全国 JOC ジュニアオリンピックカップ東北ブロック大会	齋藤由紀
12	7月18日(日)・19日(月)	鹿児島	・全国 JOC ジュニアオリンピックカップ九州ブロック大会	小山順子
13	7月24日(土)・25日(日)	富山	・全国 JOC ジュニアオリンピックカップ北信越ブロック大会	田中洋子
14	12月11日(土)	三重	・全国 13～15歳ソロ・デュエット大会東海ブロック予選会	樋口育子

② 公認シンクロ審判研修会

	期日	主催	講師	備考
1	4月4日(日)	静岡	濱川俊恵	参加者数:12名 B級(3名)・C級(9名)
2	4月4日(日)	新潟	山田智子	参加者数:10名 B級(3名)・C級(7名)
3	4月29日(木)	富山	樋口育子	参加者数:14名 B級(4名)・C級(8名)＜A級2名＞
4	6月5日(土)	神奈川	田中洋子	参加者数:26名 B級(3名)・C級(21名)他2名
5	6月19日(土)	長野	山田智子	参加者数:13名 B級(2名)・C級(11名)
6	6月26日(土)	新潟	田中洋子	参加者数:8名 B級(2名)・C級(6名)
7	6月26日(土)	岡山	樋口育子	参加者数:15名 B級(4名)・C級(11名)
8	6月26日(土)	石川	濱川俊恵	参加者数:11名 B級(1名)・C級(9名)＜A級1名＞
9	6月27日(日)	北海道	松谷雅美	参加者数:12名 B級(1名)・C級(5名)他6名
10	7月4日(日)	山形	濱川俊恵	参加者数:4名 B級(2名)・C級(2名)
11	7月17日(土)	岐阜	山田智子	参加者数:13名 B級(2名)・C級(8名)他3名

12	7月18日(日)	九州	小山順子	参加者数:10名 B級(3名)・C級(7名)
13	7月18日(日)	岩手	齋藤由紀	参加者数:12名 B級(3名)・C級(8名)＜A級1名＞
14	8月12日(木)	日水連	審判部	参加者数:21名 A級(18名)・B級(2名)・他1名
15	8月26日(木)	日水連	審判部	参加者数:18名 B級(6名)・C級(12名)
16	2月26日(土)27日(日)	日水連	審判部	参加者数:72名 A級(25名)・B級(19名)・C級(22名)・他6名
17	3月6日(日)	兵庫県	樋口育子	参加者数:9名 B級(1名)・C級(8名)
18	3月27日(日)	島根県	樋口育子	参加者数:8名 B級(2名)・C級(6名)

③公認シンクロ養成講習会・検定試験

1	11月7日(日)	北海道	樋口育子	受検者数:6名 C級6名 合格者C級5名
2	11月23日(火)	日水連	審判部	受検者数:24名 A級6名・B級9名・C級9名 合格者 : A級4名・B級2名・C級8名

④その他の活動

(ア)新規登録および更新登録受付処理(4月～6月)

(イ)審判研修会他要項作成および発送

(ウ)大会におけるジャッジの推薦とアサイメント作成

(ジャパンオープン、チャレンジカップ・ジュニアオリンピック・国体・ワールドトロフィ代表選手選考会、世界選手権代表選手選考会・13-15SD大会・ナショナルトライアル 2011)

(エ)資格審査委員会出席

(オ)検定合格通知・登録新規／更新者申請書発送

(カ)ジャッジの手引き作成準備

(5)医・科学

医科学委員会

第23回日本ドクター会議総会	6月12日	東京・如水会館	44名
第14回医学生・若手医師のためのスポーツ医学・健康セミナー	8月28日	東京・NTC	15名
第3回メディカルサポート研修会	3月5日	東京・NTC	39名
第20回日本水泳トレーナー会議技術研修会	6月27日	東京・JISS	59名
第20回日本トレーナー会議総会	12月4日	東京・NTC	43名
第2回日本水泳トレーナー会議 BLS 講習会	12月5日	東京・NTC	25名

平成22年度 地域指導者委員会に関する主な事業	
スポーツ指導者養成に関する事業	
水泳上級指導者専門科目 再検定 東京会場 8月22日(日) 日本女子体育大学 受験者 9人	
基礎水泳指導員・水泳指導員 養成講習会 (47都道府県加盟団体で実施中)	
免除適応校専門科目検定 愛知会場 11月21日(日) 愛知県スポーツ会館, 愛知県体育館 大阪会場 11月28日(日) コミュニティプラザ平野, 大阪水泳学校 北海道会場 1月23日(日) 北海道体育大学校, 北海道青少年会館 東京会場 2月19日(土) 東京体育館	
研修に関する事業	
マスター指導員中央研修会 10月24日(日) 東京:国立科学センター(JISS) 参加者 48人	
基礎水泳指導員・水泳指導員 義務研修会 (47都道府県加盟団体で実施中)	
会議に関する事業	
第33回全国地域指導者(普及)委員長会議 6月19日(土)～6月20日(日) 東京「九段会館」 日水連役員, 日体協スポーツ育成部, 加盟団体委員長 75人	
北海道・東北地区委員長会議(山形) 11/27(土)～28(日) 関東地区委員長会議(神奈川) 11/13(土)～14(日) 北信越地区委員長会議(新潟) 11/9(土) 東海地区委員長会議(三重) 11/13(土) 近畿地区委員長会議(兵庫) 11/20(土) 中国地区委員長会議(鳥取) 11/30(火) 四国地区委員長会議(香川) 10/23(土)～24(日) 九州地区委員長会議(宮崎) 2/5(土)～6(日)	
スポーツ指導員の現況	
マスター水泳上級指導員	216人(地域指導者関係)
水泳上級指導員	1,719人
水泳指導員	12,552人 15,045人
基礎水泳指導員	774人

(7)コーチ研修会・講習会

競技力向上コーチ委員会

① コーチ

会 場	期 日 & 会 場 名	競泳	飛込	水球	シンクロ	会場合計
A	東京① 9月19日(日) あいおい損保新宿ビル	295			43	338
B	北海道 9月25日(土) 北海道立総合体育センター	78			25	103
C	大 阪 10月 3日(日) グランキューブ大阪	144	27		55	226
D	福 岡 10月 9日(土) アクション福岡	96	2			98
E	東京② 11月 7日(日) あいおい損保新宿ビル	310		53	64	427
F	名古屋 12月11日(土) 日本ガイシフォーラム	127	1			128
G	東京③ 1月15日(土) あいおい損保新宿ビル	238	47		39	324
H	広 島 1月29日(土) 広島県立総合体育館	83				83
I	神 戸 2月 5日(土) ホテルパールシティ神戸	75		29		104
J	東京④ 2月12日(土) あいおい損保新宿ビル	104	7	2	20	133
合 計		1,550	84	84	246	1,964

② 上級コーチ

会 場	期 日 & 会 場 名	競泳	飛込	水球	シンクロ	会場合計
I	大 阪 10月16日(土) グランキューブ大阪	141	31	1	24	197
II	東 京 10月23日(土) あいおい損保新宿ビル	269		38	41	348
合 計		410	31	39	65	545

③ コーチ養成講習会

種 別	期 日 & 会 場 名	競泳	飛込	水球	シンクロ	会場合計
コーチ	11月26日(金)～11月29日(月) 中野サンブラザ	88	0	0	0	88

(8)水泳教師研修会

水泳教師委員会

① 水泳教師資格更新研修会 全国34会場 受講者数 519 人
て実施

(社)日本スイミングクラブ協会に

管 轄	場 所	研修会名	開催日	教師更新者人数
全国	関東	整形外科的疾患予防改善水泳指導者研修会	5月29・30日	51名
全国	東海	ストレス予防改善水泳指導者研修会	6月12・13日	14名
全国	北海道	ベビースイミング特別研修会	6月27日	16名
全国	関東	アクア全国研修会	7月18・19日	9名
全国	関東	内科的疾患予防改善水泳指導者研修会	9月19・20日	26名
全国	中国	ベビースイミング特別研修会	9月26日	6名
全国	東海	循環器系疾患予防改善水泳指導者研修会	10月23・24日	9名
全国	九州	ベビースイミング特別研修会	12月19日	2名
全国	関東	幼児学童水泳特別研修会	2月6日	60名
全国	東海	転倒・寝たきり予防改善水泳指導者研修会	2月12・13日	16名
北海道	北海道	水泳指導者研修会	1月22日	27名
東北	東北	指導力向上ワークショップ	5月16日	14名
東北	東北	指導力向上ワークショップ	6月6日	12名
東北	東北	ベビースイミング指導力アップ講座	8月22日	8名
関東	関東	指導力向上セミナー	7月4日	42名
関東	関東	妊婦水中運動指導者研修会	10月11日	7名
関東	関東	ベビー水泳指導者研修会	10月12日	2名
関東	関東	指導力向上セミナー	11月21日	20名
信越	信越	水中運動指導者研修会	12月29日	8名
北陸	北陸	水泳指導者研修会	11月14日	8名
東海	東海	ベビースイミング研修会	6月13日	10名
東海	東海	妊婦水泳研修会	10月24日	4名
東海	東海	第2回ベビースイミング研修会	1月23日	11名
東海	東海	第20回競泳研究会	1月30日	28名
近畿	近畿	指導者研修会	10月31日	26名
近畿	近畿	指導者研修会	2月27日	19名
中国	中国	更新研修会	1月30日	24名
四国	四国	学童水泳指導者研修会	5月31日	5名
四国	四国	ベビースイミング研修会	10月31日	3名
四国	四国	学童水泳指導者研修会	5月31日	5名
四国	四国	ベビースイミング研修会	10月31日	3名
九州	九州	指導者研修会	6月6日	8名
九州	九州	指導者研修会	10月24日	6名
九州	九州	指導者研修会	3月20日	10名
合計				519名

② 水泳教師養成講習会(受講者)

【新規養成コース】(日本スイミングクラブ協会担当) 専門科目受講者 延べ592名

【適応認定コース】(日本水泳連盟 担当)

適応コース	開催日	開催地	合格者数	不合格数
東京 YMCA 社会体育専門学校	01 月 24 日～26 日	東京都	17	0
東京スポーツ&レクリエーション専門学校	01 月 24 日～26 日	東京都	4	1
大阪社会体育専門学校	1 月 31 日～2 月 02 日	大阪府	9	0
トライデントスポーツ医療科学専門学校	1 月 31 日～2 月 02 日	大阪府	2	0
東京リゾート&スポーツ専門学校	02 月 24 日～26 日	東京都	16	2
		合 計	48	3

③ 水泳教師在籍施設証明事業(日本体育協会共同事業)

認定日	新規	更新	総数
平成 22 年 04 月 01 日 認定	9	2	
平成 22 年 10 月 01 日 認定	2	1	
平成 22 年度末 認定施設数			129

(9)加盟団体別泳力検定実施状況

生涯スポーツ委員会

都道府県	認定証	バッヂ1級	バッヂ2級	バッヂ3級	バッヂ4級	バッヂ5級
1 北海道	2045	284	370	618	440	303
2 青森	463	59	114	154	116	27
3 岩手	421	66	72	122	65	45
4 宮城	823	68	108	257	150	92
5 秋田	50	12	17	11	9	0
6 山形	96	14	23	36	12	9
7 福島	1486	106	223	428	343	376
8 茨城	2242	125	475	775	539	337
9 栃木	826	77	153	305	159	72
10 群馬	2942	274	562	849	621	444
11 埼玉	9026	697	1679	2684	1676	1273
12 千葉	1783	270	457	509	245	102
13 東京	2873	261	516	920	541	369
14 神奈川	3748	460	674	1463	624	522
15 山梨	471	62	75	153	127	68
16 長野	418	42	86	136	89	32
17 新潟	668	47	61	188	237	198
18 富山	202	21	34	71	41	25
19 石川	36	1	10	15	8	1
20 福井	50	22	11	10	6	1
21 静岡	688	200	178	222	118	92
22 愛知	1185	55	76	393	267	215
23 三重	222	10	27	41	45	63
24 岐阜	162	14	60	65	7	0
25 滋賀	397	35	52	146	136	28
26 京都	684	78	143	275	102	73
27 大阪	658	74	93	208	146	90
28 兵庫	1335	117	203	327	276	188
29 奈良	474	44	78	175	111	67
30 和歌山	196	6	57	123	31	4
31 鳥取	27	2	9	11	2	3
32 島根	0	0	0	0	0	0
33 岡山	233	9	43	84	55	42
34 広島	182	32	23	51	39	36
35 山口	107	14	23	34	11	15
36 香川	16	1	2	3	2	2
37 徳島	0	0	0	0	0	0
38 愛媛	51	0	0	20	17	3
39 高知	0	0	0	0	0	0
40 福岡	132	8	13	38	45	24
41 佐賀	61	0	6	10	15	0
42 長崎	19	3	3	7	3	3
43 熊本	272	2	12	25	35	15
44 大分	251	6	20	58	65	68
45 宮崎	30	2	3	15	7	3
46 鹿児島	103	18	13	34	21	13
47 沖縄	173	10	13	40	66	29
中央泳力検定会						
大阪(5/25)	69	22	20	19	10	0
新潟(8/6)	801	26	0	789	0	0
愛媛(8/7)	169	9	14	43	10	23
高知(8/15)	166	24	35	46	12	7
山形(8/29)	320	82	56	102	41	6
北海道(9/7)	173	39	25	62	4	8
兵庫(10/24)	1095	220	166	469	88	22
山梨(11/7)	400	99	60	206	21	21
宮崎(11/28)	237	11	38	105	57	13
	認定証数	バッヂ1級数	バッヂ2級数	バッヂ3級数	バッヂ4級数	バッヂ5級数
	41,757	4,240	7,284	13,950	7,913	5,472

12. 地域会議報告

(寄附行為第4条-3)

地域	担当県	日程	出席者		
東北	青森	10月16日(土)	佐野会長	青木副会長	泉専務
関東	山梨	10月17日(日)	佐野会長	青木副会長	泉専務
中国	鳥取	10月30日(土)	佐野会長	青木副会長	泉専務
北海道	北海道	11月7日(日)	佐野会長	青木副会長	泉専務
北信越	新潟	1月8日(土)	佐野会長	青木副会長	泉専務
四国	高知	1月9日(日)	佐野会長	青木副会長	泉専務
九州	大分	1月22日(土)	佐野会長	青木副会長	泉専務
近畿	奈良	2月5日(土)	佐野会長	青木副会長	泉専務
東海	静岡	2月10日(木)	佐野会長	青木副会長	泉専務

議 題

1. 歓迎の挨拶
開催地 加盟団体長
2. 挨拶及び現況報告
(財)日本水泳連盟 会長 佐野 和夫
3. 平成22年度上期事業報告
(財)日本水泳連盟 副会長 青木 剛
(財)日本水泳連盟 専務理事 泉 正文
- (1) 国際関係 (FINA・アジア水連)
- (2) 特別事業関係
 - ① 第11回パンパシフィック選手権大会 8/18～22
 - ② FINA 競泳ワールドカップ東京2010 10/20～21
 - ③ 第16回アジア競技大会 11/12～27
- (3) 競技力向上関係
 - ① 国際競技会報告
競泳・第4回ジュニアパシフィック選手権大会、第1回ユースオリンピック大会
ワールドカップ遠征、世界短水路選手権
飛込・世界ジュニア選手権大会
水球・FINA ワールドリーグ アジアオセアニアラウンド大会
シンクロ・ワールドカップ大会、ワールドトロフィー大会
 - ② 平成22年度インターナショナル・ナショナル強化選手一覧
- (4) 競技会関係
 - ① 平成23年度 主要競技会開催予定および競技会中期計画
 - ② 国体関係
 - ③ 日本スポーツマスターズ2010 報告
- (5) 指導者養成事業関係 (登録状況)
- (6) 生涯スポーツ関係
 - ① (財)日本水泳連盟認定 泳力検定制度 推進状況
- (7) 総務関係
 - ① 競技者登録状況
 - ② (財)日本水泳連盟総合補償制度推進状況
 - ③ 日本水泳連盟ホームページ アクセス数一覧
 - ④ その他
4. 各加盟団体の要望及び意見
5. 質疑応答

1. 東北ブロック (22.10.16 青森県) 佐野会長・青木副会長・泉専務理事

(1) 国体について

①平成 22 年千葉国体は参加予備エントリーを実施、これは大分国体・新潟国体の参加人数に関して発生したことであるが、その後日本水泳連盟で調整を行なって問題点・検討課題等は無かったか。

⇒競泳・水球ともに定員枠内の予備エントリーであったために、人数の調整は実施していない。課題としては、予備エントリーの締切日がある。

1 締切日をもっと早くしてほしいという要望。

県体協の締切が予備エントリー締切日より早いから。

2 締切日をもっと遅くしてほしいという要望。

県体協の締切日にゆとりがあり、予備エントリー直後に標準記録を突破した選手が出たため。

予備エントリーの締切日は実情に応じて検討するが、来年度については今年の日程に準じて締切日を設ける。

②新聞で成年種別国体出場選手に関する記事が記載されたが、何が指摘されたのか？今後のエントリーの参考にしたいので。

⇒山口県所属の国体参加の一部選手に「居住地を示す現住所」について、住民票は有るものの生活実態がないのではないかと疑義が生じ「参加資格違反に関する聴聞手続き等」に基づき「聴聞会 (第三者委員会)」を設置した。

国体委員会としては、今後の聴聞会 (第三者委員会) の意見を尊重しつつ、今回の事案を尊重しつつ、今回の事案を判断し、必要に応じて参加資格に関する規定等の見直しを行う。

参加資格の解釈についての詳細は、日体協のホームページ「国民体育大会」→「選手・監の参加資格」→「第 65 回国民体育大会参加資格解釈及び Q&A」を確認いただきたい。

③水球大学生枠の問題はどうなったのか。

⇒本連盟としては、水球の競技力向上の一環として、国体の改革をすべく大学生の一部が参加できるよう機関決定をし、国体委員会に提案をしたが、少年の部に成年の一部が混在することは、制度上好ましくないとの結論で保留となった。ついては、今後の競技力向上と国体水球のあり方を再検討することで継続審議としたい。

(2) シンクロ審判委員数の件

従来の審判員数は 10 名であったが、ルール改正に伴って、今後は 14 名の審判委員が必要になるのか。

・地方で開催される大会等でも 14 名の審判委員が必要か。

・地方で開催されるローカル大会は、従来の審判委員数 10 名を適用していただけないか。

⇒昨年の FINA ルール変更により、審判委員は 1 パネルを 6 名または 7 名で編成し、2 パネル必要になりました。FINA が審判員数を増やしたのは以下の理由によります。

5 名パネルの場合、最高と最低を削除し、3 名の審判員の平均を算出すると、「XX3333・・・」

「XX. 6666・・・」となり小数点以下が割り切れず、「XX. 167」「XX. 333」「XX. 667」と四捨五入しておりました。テクニカルメリットとアーティスティックインプレッションを合計すると、少数第 3 位の 0.001 の誤差が重なり、その結果、本来同点であっても少数第 3 位に 0.001 の差が生じ、順位がつくという不具合が起こっておりました。昨年のルール変更では、この数学的問題を解消するために 1 パネルの審判員数を 6 名又は 7 名に増やしたものです。

日本選手権、チャレンジカップ、J0、13～15 歳ソロデュエット大会の全国大会においては既に新ルールを採用し、12 名/14 名で審判を編成しております。しかしながら、各地域におきましては審判員の養成に時間を要し、予算等の問題もあることから 12 名/14 名の審判員を確保することが難しいことを承知しております。そこで、シンクロ委員会では、

2011年度の地域での競技会における措置として、今年度同様に、「審判員は12名/14名(6名/7名×2パネル)を推奨するが、10名(5名×2パネル)で実施してもよい」とする予定です。しかし、移行期間を経たのち、近い将来には地域予選会においてもFINAルールを採用する予定でありますので、各ブロックにおきましては審判員の養成にご協力をお願いしたく存じます。このことにつきましては、12月中旬に予定しております全国強化コーチセミナー(兼コーチキャンプ2010)で周知をし、文書にて加盟団体へお知らせいたします。

(3) 競泳競技規則のホームページ掲載について

現在、本規則は購入することになっているが、誰でも見られるようホームページ上にアップし、ダウンロード出来るようにならないか?

⇒今は諸情報も含め出来るだけ開示する方向にあります。本規則も普及の点からも、ホームページ上に掲載、そしてダウンロードできるよう検討致します。

2. 関東ブロック(22.10.17 山梨県) 佐野会長・青木副会長・泉専務理事

(1) 国体改革について

①水球について、参加人数等は削減されましたが、日程など大会本来については改革がされていません。予選トーナメント、順位リーグと大会運営に負担があると思います。全てトーナメントにして3日間開催を提案したい。

⇒現状の4日日程から、リーグ戦を省きシード制を導入したトーナメント戦とし、3日日程にすべく検討している。水球委員会と協議し、3日日程の実施について岐阜国体から打診を行っているが、既に会期が決定しており、実施の可能性は低い。

については、東京国体からの実施に向けて、各関係団体・関係者に理解を得られるよう進めていく方向です。

②水球大学生枠の改革はどうなったのか?

⇒東北ブロック(1)国体関係について③参照

③今問題になっている成年種別の国体出場資格について

現状での日本水泳連盟の見解をお聞きしたい。

⇒東北ブロック(1)国体関係について②参照

(2) 競技規則改訂等の周知について

協会・連盟等の組織は前例に則り運営されるのが通常です。大会運営も競技規則により運営されています。規則の運用、規則の改定に関しても同様だと思います。今までの流れと異なる運用、改定となる場合は、下部組織が出来るだけ混乱しないよう十分に時間をかけてご指導いただきたい。

⇒国体ドーピング手帳への写真貼付、上級競技役員登録改訂等の周知については、課題があったと認識しています。各加盟団体が混乱しないよう、規則の改定・運用については、十分時間をかけて周知徹底するよう努力致します。

(3) 文科省学習指導要領に対する要望

各加盟団体組織の活性化の観点から文科省学習指導要領教科体育の水泳種目の必修復活を働きかけていただきたい。

⇒文科省学習指導要領教科より水泳種目が必修からはずれたことには、本連盟としても大変危惧している。小・中学校からプールがなくなることも考えられ、国民階泳の観点からも小学生の泳力検定データ等を把握して色々な機会を見つけて、文科省に働きかけをして行く。

(4) 国体における水球競技種目の日程について

今年の千葉国体も、最終に水球競技が開催されたが、既に競泳等も終わっており、表彰式も淋しいため山口県から競泳を最終日にするよう変更できないか?

⇒ご指摘の通り改訂をすすめたいが、開催県の都合も有り早速協議を始めたい。

残念ながら来年の山口国体は、既に会期が決定しており、岐阜国体から変更。その後の開催県とも極力、競泳を最終日をもって行くよう協議する。

(5) エントリー方法の簡素化について

国体及び日本スポーツマスター大会の申込をもう少し簡素化できないか？
⇒Web登録と手書きの二本建はエントリーミスを防ぐためのもので有り、実情は理解できるが、重要な課題であるため日体協とも協議して行く。

3. 中国ブロック (22.10.30 鳥取県) 佐野会長・青木副会長・泉専務理事
要望、意見なし

4. 北海道ブロック (22.11.7 札幌市) 佐野会長・青木副会長・泉専務理事
(1) 国体参加の資格「ふるさと制度」について

学生(大学生)が他の競技種目と取り扱いが異なるのはなぜか？
⇒現在の本連盟の「ふるさと制度」については、大学生は出身高校所在県から出場することが規定されている。他の種目は、中学・高校のどちらかの所在県からも出場することが出来るようになっている。これは、中学出身県と高校出身県間で、引っ張り合い等のトラブルが起きないようにするために決めた措置であるが、近年地域によっては高校進学時に、水泳強豪校に県を変えて入学することも多く、他の種目と同じように中学出身県も選択できるようにしてほしいとの意見も有ることから、検討プロジェクトを立ち上げ「ふるさと制度」の在り方を再検討致します。

(2) コーチ資格養成講習会の地方開催について

現在は東京開催のため資格取得には、多くの経費・労力が必要となるため、コーチ資格養成講習会を北海道で開催できないか？

⇒コーチ資格養成講習会は、日体協との共同事業として開催している。北海道で開催するには講師手配・会場手配等が必要であることと、開催費用の問題で一定の受講者が集めることが条件となる。今後個別案件として担当専務理事とも相談、日体協と協議し検討致します。

5. 北信越ブロック (23.1.8 新潟県) 佐野会長・青木副会長・泉専務理事

(1) ジャパンオープンの開催日は、今後も固定化するのか？選手強化上、早めに日程を発表してほしい。

⇒開催については、一応ロンドンオリンピックまでとなっています。その後については強化本部会議等で検討し、なるべく早く強化日程を決め発表します。

(2) 長野ではオフィシャルタイムシステムの更新に、多額の経費がかかり苦慮している。メーカーのセイコー社に、リース扱が出来るよう積極的に働きかけてほしい。

⇒セイコー社とは既に「スタート台」をリース扱にて契約しており、今後共、強く助言及び依頼をしていきます。

(3) 今年は、日本スポーツマスター大会が石川県にて開催予定です。積極的な参加を期待しております。また、金沢市に室内プール建設を各方面に要望中です。

⇒了解致しました。日本スポーツマスターズ大会への参加呼びかけについては、今後共、地域会議等でも全加盟団体に依頼して行きます。

6. 四国ブロック (22.1.9 高知県) 佐野会長・青木副会長・泉専務理事
要望、意見なし

7. 九州ブロック (23.1.22 大分県) 佐野会長・青木副会長・泉専務理事

(1) 国体のエントリーについて

今年度、予備エントリーがありました。来年度もありますか。

出来れば、予備エントリーをやめていただきたい。(例えば、リレーメンバーを減らさなければならなくなった時に困る)

⇒水泳の定員は、1584名。全ての競技団体が定員を厳守している中、水泳競技(競泳・飛込)だけが定員を無視することは出来ない。競泳競技26名(選手24名監督2名)×47

都道府県＝1222名、飛込2名（選手1名監督1名）×47都道府県＝94名の枠で実施すれば定員内に収まるが、トップアスリートの参加が困難になり、盛り上がりには欠ける競技会になってしまう。

以上のことから、定員内に収めるため適切な基準を設けるが、定員を超えた場合は人数調整を行うことにしました。また、本エントリー後に人数調整を行った場合の大きな混乱を避けるため、事前に予備エントリーを受け調整をすることにしました。

現状では現行エントリー方法が最善であると判断しており、継続して実施致します。ご理解をいただきたい。

(2) ふるさと登録について

中学生からふるさと登録が出来るようにしてほしい。

ふるさと登録に対する日本水泳連盟の考えをお聞きしたい。

⇒現在、本連盟と学識経験者によって「国体検討小委員会」を開催し、本件についても協議している最中です。

小委員会での検討結果はまとも次第、評議員会で報告します。

北海道ブロック（1）国体ふるさと制度について参照

(3) 九州ブロック・ジュニア選手強化合宿について

九州ブロックでは、来年度は沖縄県で開催予定です。12月末の開催なので、航空料金が正規の料金となり交通費が他県で開催する時に比べて非常に多くかかります。出来れば、もう少し予算をいただければと思いますがいかがでしょうか。

ブロックの再編成をしていただきたいと思います。（人数、交通事情等を考慮し再編成していただきたい）

⇒現在、10ブロックに分け各ブロック合宿に、150万円を補助。合計1500万円の予算で実施しておりますが、4県で構成するブロックもあれば、7県で構成するブロック合宿もあり、強化の視点からも、競泳委員会を中心に再編成等を検討しています。ただし、シンガポールへの代表派遣は、継続して実施する方針です。

(4) 情報システムについて

Webエントリーでの申し込みで、地方開催の公認大会での標準タイムがきれているかが反映できるのはいつになりますか。（標準タイムを切っていない選手がエントリーした場合、はじく等・・・例えば西日本年令別・九州ジュニア・九州カップ）

⇒ご指摘の件は、加盟団体の大会だけでなく全国大会でも活用できる機能であり、是非実現をしたい機能の一つです。

本機能の実現には、Web-swmsysのエントリー機能とSCA社に開発・運用委託している記録管理システム（通称ドットコム）のシステム連携が必要です。今後、費用対効果を検討していく上でどのようなシステム連携が一番良いかを含めて、開発の優先順位を検討してまいります。

8. 近畿ブロック（23.2.5 奈良県）佐野会長・青木副会長・泉専務理事

(1) 「名誉競技役員」資格制度を設ける至った経緯と申請期日（2月4日）の確認。2011年から2013年3月末の更新者についても、期日以降は受付出来ない場合は再検討願いたい。

⇒競技役員と審判員を明確に区分致しました。その中で審判員に移行しない方を対象に名誉競技役員制度を創設致しました。今後の本制度の取り扱いについては再検討をし、評議員会等で報告致します。

(2) 団体登録、選手登録はWebで登録できるが、その他の指導員、役員登録は、今後、Webで登録できるように検討されているのか？

⇒現状においては、競技者、登録団体をWebで登録できるようにしています。競技役員については、全競泳競技役員が1種・2種・上級からC級・B級・A級に切り替わる時をターゲットに検討を行いたいと考えています。他の指導員・役員等については、今後の検討課題であると認識をしています。

- (3) 4月1日から施行される競泳水着の件について再確認したい
公認大会はすべて、F I N Aマーク付の水着を着用するの方針が出されているが、現状はスクール水着で出場する選手もいる。教育的配慮も含め、マーク無しでも大会出場をみとめてほしい。
⇒大きな問題であり、即答できないが、競技担当常務とも相談し、2月評議員会には回答します。但し、本連盟としては公式・公認大会1500大会のすべての個人タイムを公認しており、公正公平の点からも考慮する必要があると認識している。

9. 東海ブロック (23.2.10 静岡県) 佐野会長・青木副会長・泉専務理事

(1) 国体改革について

水球の日程以外について、何か現在検討されていることがあるか？

⇒◇競泳・飛込

「ふるさと選手制度」に出身中学校所在県を加える。

九州ブロック (2) ふるさと登録について参照

◇水球

「年齢枠変更」の実施に向け、引き続き検討している。

東北ブロック (1) 国体について③参照

(2) 国体選手の資格について日体協の「第3者委員会」での情報を教えてほしい。

⇒東北ブロック (1) 国体について②参照

(3) 国体開催日程に関し、最終の表彰式を考慮すると、水球競技が後に組まれているが、競泳を最後に変更できないか。

⇒関東ブロック (4) 国体における水球競技種目の日程について参照

(4) 競技者登録等に関し、システム費用はかかると思うが、登録料金の負担とリンクできないか。

・現状→登録料の支払いが無くても、Web上では登録でき、競技会に出場できてしまう。

⇒本件については、数年前に仕様検討と見積を取りましたが、5～6千万円の金額となり断念しました。開発費用のため断念はしましたが、将来的には登録料と大会参加料等の集金システムは必要と考えておりますので、開発費用と運用費用のかからない方法を引き続き検討したい。

(5) 競技者追加登録に関し、プリントに現在の在籍数を載せてもらいたい。移籍者についてもプリントされると良い。

・誰がいつどこへ移籍したのかわからない。(無料だから)

・〇〇〇学校(〇〇〇SC) という記載も有ると良い。

⇒①追加登録と当該登録団体の全体登録数について

SWMSYSがWindows版からWeb版になったときWindows版にあった差分申請機能がなくなり当初から全国会議でも大きな問題として指摘されていました。これは今回のご指摘の内容と真逆の指摘で申請時に既申請者と新規申請者が混在していてわずらわしいとの指摘です。このため今年度の開発(2010年9月末適用)で機能追加しました。ご了承をお願い致します。また、県レベル機能に「登録状況確認」機能がありますので、そこで県水連の全登録団体の登録数を確できますのでご利用下さい。

②移籍者について

本件につきましては、昨年の地域会議において要望され、今年度の開発(2010年9月末適用)で機能追加しました。従来機能の県内登録者の変更情報と今回新たに県を跨る異動者をメールで送付します。送付内容は、前日発生した県内の登録者の変更情報と県を跨る競技登録者の異動元、移籍先の加盟団体登録団体を記載しています。ご指摘の団体名としては記載しておりませんが、学校の団体コード、スイミングの団体コードは記載されています。県内の登録者の変更情報は前日分のみですが、県を跨る異動者の情報は年度間で毎日累積されたものが送付されます。なお、メールの送付先は県レベルの機能の「加盟団体情報更新」にセットしてあるメールアドレスです。

(6) 泳力検定について、種目別に何回か泳力検定にチャレンジできるように認定バッヂを数種類作

成してほしい

⇒現在は同一級の場合、種目を変えても同じ合格バッヂとなっており、種目別にしてほしいとの要望ですが、在庫管理等に課題があります。バッヂ以外のものも含め、前向きに検討致します。

13. 登録関係

(寄附行為 第4条-7)

1. 競技者・競技役員登録数

2011年3月31日現在

	競技者	団体	会員	競技役員	
1	北海道	2,985	193	3	187
2	青森	951	53	2	182
3	岩手	995	54	0	101
4	宮城	1,714	94	0	63
5	秋田	834	53	0	41
6	山形	1,316	57	0	150
7	福島	1,808	83	9	145
8	茨城	2,769	127	10	78
9	栃木	1,687	76	0	14
10	群馬	1,535	87	10	69
11	埼玉	5,589	178	1	134
12	千葉	4,203	174	2	134
13	東京	13,332	633	0	670
14	神奈川	7,300	294	23	236
15	山梨	946	39	0	20
16	長野	1,718	119	9	114
17	新潟	2,110	106	1	59
18	富山	968	58	28	73
19	石川	1,203	72	1	59
20	福井	576	35	0	0
21	静岡	3,977	207	15	216
22	愛知	7,805	323	36	332
23	三重	1,749	86	2	40
24	岐阜	2,140	107	1	79
25	滋賀	1,340	60	3	107
26	京都	1,907	88	4	125
27	大阪	6,703	297	6	120

	競技者	団体	会員	競技役員	
28	兵庫	6,408	328	4	149
29	奈良	1,239	59	0	51
30	和歌山	883	52	0	25
31	鳥取	1,056	75	1	61
32	島根	743	52	1	71
33	岡山	1,658	94	1	93
34	広島	2,032	129	35	216
35	山口	1,407	77	0	68
36	香川	1,099	49	1	47
37	徳島	473	25	2	0
38	愛媛	1,530	82	1	60
39	高知	981	49	0	13
40	福岡	3,549	183	0	119
41	佐賀	843	52	0	74
42	長崎	1,614	96	0	120
43	熊本	1,623	89	0	114
44	大分	924	63	0	66
45	宮崎	788	59	1	18
46	鹿児島	1,725	93	5	119
47	沖縄	975	54	3	27
学生委員会	関東	3,147	127		
	中部	970	31		
	関西	1,173	51		
	中四国九州	714	37		
合計	118,463	5,795	221	5,059	

※競技者数は実数で表示

2.各種指導員登録数

2011年3月31日現在

	(財)日本体育協会公認指導者資格						日本水泳 連盟公認
	指導員	上級指導員	コーチ	上級コーチ	教師	上級教師	基礎水泳 指導員
北海道	1237	59	125	14	147	15	48
青森	112	37	6	9	0	0	
岩手	160	30	26	1	11	2	
宮城	185	39	19	8	34	8	17
秋田	117	15	10	6	4	1	3
山形	125	16	15	12	23	6	
福島	256	55	23	1	19	2	
茨城	296	33	51	22	53	11	20
栃木	200	19	28	11	30	3	37
群馬	215	23	41	16	38	6	29
埼玉	693	57	130	45	186	32	75
千葉	276	14	112	25	118	16	12
東京	2024	362	511	126	351	110	89
神奈川	651	74	194	59	223	41	95
山梨	74	8	10	10	10	2	9
長野	94	7	27	6	60	18	2
新潟	464	76	29	11	42	3	3
富山	171	33	33	15	24	8	20
石川	100	17	22	9	22	3	12
福井	57	4	7	5	26	3	
静岡	480	25	62	27	76	12	9
愛知	601	51	88	37	160	50	34
三重	269	22	48	13	50	8	11
岐阜	253	4	15	7	36	4	
滋賀	185	19	28	9	24	4	
京都	179	21	24	14	40	13	20
大阪	265	55	103	42	169	20	33
兵庫	435	71	55	24	67	15	18
奈良	104	12	14	6	29	3	1
和歌山	49	21	7	2	20	3	26
鳥取	61	17	11	7	9	0	6
島根	96	16	26	9	17	9	12
岡山	158	13	25	13	29	4	6
広島	220	29	49	11	30	9	16
山口	184	18	16	7	12	11	12
香川	78	32	16	9	19	7	
徳島	43	16	7	6	11	4	
愛媛	163	58	12	4	18	5	
高知	74	26	9	3	4	1	9
福岡	238	22	66	28	66	21	37
佐賀	40	4	6	1	3	3	
長崎	107	21	9	6	11	4	7
熊本	170	74	15	3	16	1	28
大分	103	5	15	6	14	2	25
宮崎	77	18	10	3	10	2	
鹿児島	164	46	11	3	28	3	
沖縄	146	18	7	5	16	8	1
合計	12449	1712	2173	716	2405	516	782

3.各種審判員登録数

2011年3月31日現在

		競泳審判			飛込審判			水球審判					シンクロ審判		
		A	B	C	A	B	C	上級	1級	2級	3級	4級	A	B	C
01	北海道	1	28	151	1										5
02	青森	1	59	114											
03	岩手	3	23	7			3								
04	宮城		2	59									1		1
05	秋田	3	16	19								2			
06	山形	4	8	66											
07	福島	1	49	93											
08	茨城	4	35	35	1								1		1
09	栃木		5	9											1
10	群馬	7	24	31		1	2				1				2
11	埼玉	7	63	51									1	2	1
12	千葉	5	23	57					1		1	8		1	8
13	東京	11	185	379	1						1	3	8	5	9
14	神奈川		49	128					2	1	1	2	3	2	12
15	山梨		11	9											
16	長野	1	64	39											1
17	新潟	2	17	36		1	4				1				8
18	富山		16	5	1									1	5
19	石川	2	8	35							1	1			7
20	福井														
21	静岡	1	85	116								1	1	2	2
22	愛知	5	95	212							1		2		1
23	三重		14	25						1		1			1
24	岐阜	5	26	48											
25	滋賀	4	49	5											
26	京都	11	28	72							1		1		
27	大阪		36	46					2				6	4	1
28	兵庫	2	67	71		1	2				2	3	1	1	3
29	奈良		24	22									1		
30	和歌山		1	2								1			
31	鳥取	3	36	17	1	1	1								
32	島根	5	22	41										2	1
33	岡山		19	54		2	2				1	2		1	
34	広島	2	79	11		1	8								2
35	山口	3	34	27								3			
36	香川	3	3	13	1							1			
37	徳島														
38	愛媛		27	33											
39	高知		5	8		1								1	1
40	福岡	5	36	77			4							3	1
41	佐賀	5	22	37			1								
42	長崎		58	46							1				4
43	熊本	8	35	64											
44	大分	1	52	12		2			1					2	1
45	宮崎	2	4	11											
46	鹿児島		55	64								2			
47	沖縄	2	8	2								4			
学生 委員会	関東														
	中部														
	関西														
	中国														
	九州														
	合計	119	1605	2459	6	10	27	0	6	2	12	34	26	27	79

14. プール公認・認定

(寄附行為 第4条-8)

50m(新2・再58)

種別	公認番号	プール名称	都道府県	有効期限日	材質	屋内外
50m	5654	山口きらら博記念公園水泳プール	山口県	2016/1/31	RC	内
50m	5655	鴨池公園水泳プール	鹿児島県	2016/1/31	FRP	内
50m	再 5578	山口大学プール	山口県	2015/4/30	SS	外
50m	再 5514	取手市グリーンスポーツセンター総合体育館室内プール	茨城県	2015/4/30	RC	内
50m	再 5580	阿蘇市温水プール	熊本県	2015/5/31	RC	内
50m	再 5590	大田区菘中水泳場	東京都	2015/9/30	FRP	外
50m	再 5365	上野市運動公園プール	三重県	2015/5/13	AL	外
50m	再 5579	世田谷区立総合運動場水泳場	東京都	2015/5/31	RC	内
50m	再 5007	水戸市民プール	茨城県	2015/6/30	RC	外
50m	再 5366	福島大学水泳プール	福島県	2015/5/31	AL	外
50m	再 5456	京都府立山城総合運動公園50mプール	京都府	2015/5/31	RC	外
50m	再 5623	栃木県立温水プール館	栃木県	2015/6/30	SS	内
50m	再 5641	すわっこランド	長野県	2015/4/30	SS	外
50m	再 5517	米沢市営プール	山形県	2015/6/30	PC	外
50m	再 1089C	JFE京浜プール	神奈川県	2014/6/30	S	外
50m	再 5014	愛知県一宮総合運動場	愛知県	2015/7/31	RC	外
50m	再 5033	愛知県岡崎総合運動場	愛知県	2015/7/31	RC	外
50m	再 5642	松山中央公園プール	愛媛県	2015/5/31	RC	内
50m	再 5515	玉名市民プール	熊本県	2015/6/30	PC	外
50m	再 5458	王子公園プール	兵庫県	2015/6/30	RC	外
50m	再 5643	福岡県立筑豊緑地50m公認プール	福岡県	2015/6/30	SS	屋外
50m	再 5582	福岡市立総合西市民プール(25m併用)	福岡県	2015/6/30	RC	内
50m	再 5453	松山大学御幸プール	愛媛	2015/3/31	RC	外
50m	再 5588	宮城県総合プール(国際)	宮城県	2015/8/31	RC	内
50m	再 5640	出雲市営プール	島根県	2014/11/30	RC	外
50m	再 5581	東大阪市立総合体育館屋内プール	大阪府	2015/5/31	RC	内
50m	再 5520	福井運動公園水泳場	福井県	2015/7/31	RC	外
50m	再 5521	長田いこいの広場プール	長崎県	2015/8/31	SS	外
50m	再 5241	姫路市民プール	兵庫県	2015/9/30	RC	外
50m	再 5462	今治市営波方公園プール	愛媛県	2015/7/31	S	外
50m	再 1057	今治市営プール	愛媛県	2015/3/31		外
50m	再 1137	杉並区和田堀公園プール	東京都	2015/6/30	RC	外
50m	再 5589	曾於市民プール 50mプール	鹿児島県	2015/9/30	SS	外
50m	再 5585	飯田運動公園50m競泳プール	長野県	2015/6/30	SS	外
50m	再 5250	長野東高等学校プール	長野県	2015/5/31	RC	外
50m	再 5519	香川県立総合水泳プール	香川県	2015/7/31	RC	外
50m	再 5464	松任総合運動公園水泳プール	石川県	2015/9/30	ps	外
50m	再 5526	静岡県立水泳場	静岡県	2015/10/31	RC	内
50m	再 5624	川崎市立橋高等学校プール	神奈川県	2015/10/30	FRP	外
50m	再 5529	銀河アリーナ	神奈川県	2015/12/31	RC	内
50m	再 5524	鳥取市河原市民プール	鳥取県	2015/9/30	RC	外
50m	再 5026	千葉商科大学プール	千葉県	2015/9/30	RC	外
50m	再 5252	若柳中学校プール	宮城県	2015/10/31	al	外
50m	再 5591	橿原市総合プール	奈良県	2015/10/31	RC	外
50m	再 5385	どうもうサマーランドプール	群馬県	2015/11/30	S	外
50m	再 1192	立教大学水泳部プール	埼玉県	2015/10/31	RC	外
50m	再 5378	平田愛宕山プール	島根県	2015/9/30	RC	外
50m	再 5628	邑南町立羽須美中学校プール	島根県	2011/11/30	RC	外
50m	再 5384	野田市総合公園水泳場	千葉県	2015/11/30	AL	外
50m	再 5429	金井町運動公園プール	新潟県	2013/7/31	PC	外

50m	再 5644	豊橋市屋内プール・アイスアリーナ	愛知県	2015/11/30	RC	内
50m	再 5593	千葉県国際総合水泳場	千葉県	2016/3/31	RC	内
50m	再 5594	千葉県国際総合水泳場(サブプール)	千葉県	2016/3/31	RC	内
50m	再 5528	長良川スイミングプラザ	岐阜県	2015/12/31	RC	外
50m	再 5525	広島大学(西条)プール	広島県	2015/10/30	AL	外
50m	再 1048	三次市営十日市水泳プール	広島県	2015/9/30	RC	外
50m	再 5530	平塚総合体育館温水プール(併用)	神奈川県	2016/3/31	RC	内
50m	再 5646	尼崎スポーツの森50mプール	兵庫県	2016/4/30	RC	内
50m	再 1005A	佐賀県総合運動場水泳場	佐賀	2016/3/31	RC	外
50m	再 82	宇部市恩田運動公園水泳プール	山口県	2016/2/28	RC	外

25m(新7・再60)

種別	公認番号	プール名称	都道府県	有効期限日	材質	屋内外
25m	2888	江戸川区スポーツセンター	東京都	2015/5/31	RC	内
25m	2890	昭和学院中学・高等学校温水プール	千葉県	2015/10/31	SS	内
25m	2889	池田市立池田小学校25mプール	大阪府	2015/10/31	SS	外
25m	2891	山口きらら博記念公園水泳プール	山口県	2016/1/31	RC	内
25m	2892	川崎多摩スポーツセンター	神奈川県	2016/1/31	RC	内
25m	2893	宮崎市石崎の杜 鯨鯨館	宮崎県	2016/1/31	FRP	内
25m	2894	鴨池公園水泳プール	鹿児島県	2016/1/31	FRP	内
25m	再 2277	JSS宝塚スイミングスクール	兵庫県	2015/6/30	AL	内
25m	再 2264	福山ライフサービス(株)蔵王スイミングスクール	広島県	2015/1/31	RC	内
25m	再 2867	安芸高田市吉田温水プール	広島県	2015/3/31	SS	内
25m	再 2869	姫路市立総合スポーツ会館プール	兵庫県	2015/5/31	SS	内
25m	再 2838	エス・パティオスポーツクラブ	兵庫県	2015/7/31	SS	内
25m	再 2834	深川市温水プール	北海道	2015/5/31	SS	内
25m	再 2752	東京家政大学板橋校舎温水プール	東京都	2015/6/30	RC	内
25m	再 2199	高島平スイミングスクール	東京都	2015/12/31	AL	内
25m	再 2275	中京大学附属中京高校屋内温水プール	愛知県	2015/5/31	AL	内
25m	再 2761	大分市営温水プール	大分県	2015/10/31	SS	内
25m	再 2484	京都府立山城総合運動公園25mプール	京都府	2015/5/31	RC	内
25m	再 2836	栃木県立温水プール館	栃木県	2015/6/30	SS	内
25m	再 2629	安来市市民プール	島根県	2015/1/31	RC	内
25m	再 2868	新潟医療福祉大学屋内プール	新潟県	2015/5/31	FRP	内
25m	再 2637	米沢市営プール	山形県	2015/6/30	PC	内
25m	再 2870	松山中央公園プール(併用)	愛媛県	2015/5/31	RC	内
25m	再 2751	福岡市立総合西市民プール(東西両面)	福岡県	2015/6/30	RC	内
25m	再 2837	マリンスパあたまみ25mプール	静岡県	2015/7/31	SS	内
25m	再 2279	ヤクルト八戸スイミングスクール	青森県	2015/7/31	AL	内
25m	再 2477	学校法人佐藤栄学園 花咲徳栄高等学校プール	埼玉県	2015/3/31	S	内
25m	再 2757	宮城県総合プール(国際・併用)	宮城県	2015/8/31	RC	内
25m	再 2758	宮城県総合プール・サブP	宮城県	2015/8/31	RC	内
25m	再 2754	吉川市屋内温水プール	埼玉県	2015/6/30	SS	内
25m	再 2638	香川県立総合水泳プール	香川県	2015/7/31	RC	内
25m	再 2444	マコトスイミングクラブ双葉	愛媛県	2014/7/31	RC	内
25m	再 2300	戸田市スポーツセンター	埼玉県	2015/10/31	RC	内
25m	再 2489	西条スイミングクラブ	愛媛県	2015/6/30	RC	内
25m	再 2871	松本歯科大学体育館屋内プール	長野県	2015/6/30	RC	屋内
25m	再 2641	苫小牧市日新温水プール	北海道	2015/8/31	RC	内
25m	再 2087	徳島県蔵本公園プール	徳島県	2015/5/31	RC	外
25m	再 2857	静岡県立水泳場	静岡県	2015/10/31	RC	内
25m	再 2646	佐久長聖高等学校室内プール	長野県	2015/10/31	SS	内
25m	再 2281	東京ドルフィンクラブ桜台SS	東京都	2015/7/31	RC	内
25m	再 2759	(財)島根県水泳連盟立松江室内プール	島根県	2015/8/31	RC	内
25m	再 2644	県立障害者福祉センタープール	滋賀県	2015/8/31	FRP	内

25m	再 2648	大教スイミングスクールいわき	福島県	2015/11/30	RC	内
25m	再 2649	白老町民温水プール	北海道	2015/12/31	RC	内
25m	再 2497	ベストスイミングクラブ熊本プール	熊本県	2015/10/31	AL	内
25m	再 2833	みよし公園温水プール	広島県	2015/5/31	SS	内
25m	再 2760	愛知学院大学スポーツセンタープール	愛知県	2015/9/30	RC	内
25m	再 2841	安城市スポーツセンター	愛知県	2015/12/31	SS	内
25m	再 2658	ピュアスポーツ柏原	兵庫県	2016/3/31	FRP	内
25m	再 2652	紋別市健康プール	北海道	2016/1/31	RC	内
25m	再 2642	ジェルススポーツクラブ高崎	群馬県	2015/8/31	RC	内
25m	再 2500	ふれ愛フィールドプリオール	広島県	2015/11/30	RC	内
25m	再 2505	福島スイミングスクール	福島県	2015/12/31	RC	内
25m	再 2856	小林総合運動公園市営プール	宮崎県	2012/4/30	FRP	内
25m	再 2502	溝部学園温泉プール	大分県	2015/12/31	SS	内
25m	再 2762	千葉県国際総合水泳場(メインプール)	千葉県	2016/3/31	RC	内
25m	再 2655	氷見市民プール・トレーニングセンター	富山県	2016/1/31	RC	内
25m	再 2650	長良川スイミングプラザ	岐阜県	2015/12/31	RC	内
25m	再 2631	海老名運動公園屋内プール	神奈川県	2015/7/31	PC	内
25m	再 2842	宇都宮市河内総合運動公園屋内プール	栃木県	2016/3/31	RC	内
25m	再 2662	山口市小郡屋内プール	山口県	2016/4/30	FRP	内
25m	再 2659	平塚総合体育館温水プール(併用)	神奈川県	2016/3/31	RC	内
25m	再 2875	尼崎スポーツの森25mプール	兵庫県	2016/4/30	FRP	内
25m	再 2764	鯉ヶ沢町室内温水プール	青森県	2016/3/31	RC	内
25m	再 2767	三木山総合公園内屋内プール	兵庫県	2016/4/30	SS	内
25m	再 2872	佐賀県総合運動場水泳場	佐賀県	2016/3/31	RC	内
25m	再 2660	ヘルシーランド福島屋内プール	福島県	2016/3/31	RC	内

飛込(新1・再9)

種別	公認番号	プール名称	都道府県	有効期限日	材質	屋内外
飛込	飛78	鴨池公園水泳プール	鹿児島県	2016/1/31	RC	
飛込	再 飛43	米沢市営プール	山形県	2015/6/30	PC	外
飛込	再 飛44	郡山カルチャーパーク	福島県	2015/6/30	RC	外
飛込	再 飛57	宮城県総合プール	宮城県	2015/8/31	RC	内
飛込	再 飛45	香川県立総合水泳プール飛込	香川県	2015/7/31	RC	外
飛込	再 飛36	松任総合運動公園飛込プール	石川県	2015/9/30	PC	外
飛込	再 飛25	徳島県蔵本公園プール	徳島県	2015/5/31	RC	外
飛込	再 飛47	静岡県立水泳場	静岡県	2015/10/31	RC	内
飛込	再 飛58	千葉県国際総合水泳場(国際)	千葉県	2016/3/31	RC	内
飛込	再 飛48	長良川スイミングプラザ	岐阜県	2015/12/31	RC	外

標準(新0・再3)

種別	公認番号	プール名称	都道府県	有効期限日	材質	屋内外
標準25	再 標0195	中央大学屋内プール	東京都	2015/12/31	RC	内
標準50	再 標0099	池田中学校プール	徳島県	2015/10/31	RC	外
標準50m	再 標0175	高砂市民プール	兵庫県	2016/1/31	SS	外

15. 諸 会 議 ・ 行 事

(寄附行為 第4条-14)

1. 専門委員会・特別委員会

評議員会	3回	水泳教師委員会	10回
理事会	6回	広報委員会	12回
常務理事会	11回	施設用具委員会	11回
臨時常務理事会	1回	総務委員会	5回
委員長会議	10回	日本泳法委員会	10回
財務委員会	1回	生涯スポーツ委員会	5回
競泳委員会	9回	オープンウォータースイミング委員会	6回
飛込委員会	10回	スポーツ環境委員会	1回
水球委員会	10回	アンチ・ドーピング委員会	1回
シンクロ委員会	13回	国際委員会	1回
医科学委員会	4回	指導者養成資格審査委員会	2回
競技委員会	11回	強化委員会	9回
ジュニア委員会	13回	役員選考委員会	1回
地域指導者委員会	9回		
競技力向上コーチ委員会	10回		

2. その他

日本選手権競泳実行委員会	5回	オフィシャルサプライヤー会議	2回
競泳ワールドカップ実行委員会	6回	マスタープラン会議	1回
競泳ワールドカップ事務局会	1回	Jrブロック合宿担当者会議	1回
日本選手権シンクロ実行委員会	3回	シンガポール遠征スタッフミーティング	1回
日本選手権シンクロ事務局会	1回	新公益法人移行認定PT会議	10回
ワールドリーグアジアオセアニアアウト'実行委員会	2回	三団体長会議	1回
東京マラソンスイミング実行委員会	1回	競技会検討会議	1回

3. コーチ会議

競泳 強化コーチ会議	10/9	国立スポーツ科学センター
飛込 強化コーチ会議	10/16-17	大阪

4. 学生

全国代表者会議	3回	総務委員会	3回
---------	----	-------	----

5. その他

全国施設用具担当者会議	4/24	岸記念体育会館504・505号室
全国加盟団体長会議	9/11	ホテルグリーンタワー幕張
平成22年度優秀選手・コーチ表彰式 感謝の夕べ	12/4	グランドプリンスホテル赤坂
委員総会	12/8	岸記念体育会館スポーツマンクラブ
全国情報システム担当者会議	2/6	情報システム神田
公認推薦企業懇親会	3/9	南国酒家

16. 発 行 物

(寄附行為 第4条-13)

月刊水泳405～416号	各6500部
主要競技会要項	400
競泳競技規則	5,200
競泳競技役員の手引き	7,000
プール公認規則	500
公認競技役員の心得	10,000
公認水泳コーチ研修会要項	2,400
公認水泳上級コーチ研修会要項	850
水泳コーチ教本	100
日本水泳連盟2011年カレンダー(卓上)	1,200
泳力検定基準表	6,700
第3回エココンテストチラシ	10,000
「健康のため水を飲もう」チラシ	7,000

17. 慶 弔 関 係

(敬称略)

(慶)

かきばら かずや 笠原 一也	(財)日本水泳連盟 顧問	瑞宝小綬章 (文部科学省推薦)	平成22年4月29日
あらかわ ひろし 荒川 汪	茨城県水泳連盟 会長	瑞宝小綬章 (地方自治体推薦)	平成22年4月29日
なかむら てつろう 中村 徹朗	(財)広島県水泳連盟 参与	旭日小綬章 (地方自治体推薦)	平成22年4月29日
よこち しんたろう 横地 森太郎	(財)日本水泳連盟 会賓	旭日双光章 (地方自治体推薦)	平成22年4月29日
あおき つよし 青木 剛	(財)日本水泳連盟 副会長	藍綬褒章 (競技団体推薦)	平成22年11月3日
さとう よしお 佐藤 良夫	新潟県水泳連盟 会長	旭日双光章 (地方自治体推薦)	平成22年11月3日
みずの まさと 水野 正人	(財)日本水泳連盟 会賓	国際フェアプレー賞	平成22年9月7日
とさ ただお 土佐 忠雄	奈良県水泳連盟 会長	文部科学省 生涯スポーツ功労者表彰 (地方自治体推薦)	平成22年10月8日
やまざき あきのぶ 山崎 哲正	富山県水泳連盟 副会長	富山県教育委員会 体育・スポーツ功労者表彰 (地方自治体推薦)	平成22年11月1日
あんどう いさむ 安藤 勇	千葉県水泳連盟 名誉会長	千葉県体育協会 「千葉県スポーツの殿堂」顕彰 (地方自治体推薦)	平成23年1月18日
しま まさあき 島 正明	三重県水泳連盟 理事長	三重県体育協会 功労賞表彰 (地方自治体推薦)	平成23年2月4日

(弔)

逝去月日(享年)

ながさわ じろう 長沢 二郎	(財)日本水泳連盟	元参与	平成22年3月23日 (78)歳
ごみょう ゆきお 五明 幸夫	長野県水泳連盟	参与	平成22年4月6日 (78)歳
にしざわ れいこ 西沢 礼子	(財)日本水泳連盟	会賓	平成22年3月14日 (94)歳
たいら つとむ 平良 勉	沖縄県水泳連盟	顧問	平成22年5月21日 (75)歳
ひらた かずゆき 平田 和幸	岐阜県水泳連盟	副会長	平成22年6月20日 (69)歳

おおむら けいじ 大村 圭二	青 森 県 水 泳 連 盟	顧問	平成22年7月20日 (82)歳
さわだ まさお 澤田 正雄	(財)山 口 県 水 泳 連 盟	副会長	平成22年7月27日 (68)歳
さいとう まつじろう 齋藤 松次郎	愛 知 水 泳 連 盟	会長	平成22年8月5日 (73)歳
まさか とらお 真坂 寅雄	京 都 水 泳 協 会	元会長	平成22年8月30日 (96)歳
かぶた しゅういち 株田 秋一	富 山 県 水 泳 連 盟	参与	平成22年9月14日 (76)歳
やまもと たかあき 山本 隆朗	NPO法人岡山県水泳連盟	名誉会長	平成22年9月15日 (84)歳
つづみ りょう 堤 亮	栃 木 県 水 泳 連 盟	顧問	平成22年9月19日 (75)歳
かねます はるみ 金栴 晴海	(財)広 島 県 水 泳 連 盟	元理事長	平成22年10月11日 (88)歳
にしばやし つねひで 西林 恒英	熊 本 県 水 泳 協 会	顧問	平成22年10月19日 (86)歳
わせだ のぼる 早稲田 昇	(財)広 島 県 水 泳 連 盟	元常務理事	平成22年10月22日 (59)歳
すけかわ としのり 祐川 敏徳	青 森 県 水 泳 連 盟	副会長	平成22年10月24日 (62)歳
あおき てつや 青木 哲哉	栃 木 県 水 泳 連 盟	顧問	平成22年10月28日 (74)歳
おおつき のぶお 大槻 信夫	大 分 県 水 泳 連 盟	元会長	平成22年11月3日 (104)歳
すがや はつ穂 菅谷 初穂	(財)日 本 水 泳 連 盟 日 本 マ ス タ ー ズ 水 泳 協 会	会賓 正会員	平成23年1月1日 (96)歳
しま かずひろ 島 和弘	千 葉 県 水 泳 連 盟	顧問	平成22年12月11日 (84)歳

18. 役 員

(寄附行為第4条-9)

平成23年2月20日に開催された平成22年度第3回評議員会において、平成23年度の新役員が選出された。(任期は、平成24年3月に予定する公益財団法人への移行時まで。)

1. 会長、役員、理事、監事

会 長	佐野 和夫	理 事	原 朗
副会長	青木 剛	〃	本間 三和子
専務理事	泉 正文	〃	野村 照夫
常務理事	安部 喜方	〃	宮本 憲二
常務理事	上野 広治	〃	須永 孝
常務理事	設楽 義信	〃	八木沼 正彦
常務理事	坂元 要	〃	村山 よしみ
常務理事	鈴木 大地	〃	澁谷 俊一
理 事(常務理事待遇)	鈴木 浩二	〃	大河内 吉行
理 事	箕輪田 晃		
〃	濱出 雄三	監 事	後藤 忠治
〃	山中 道男	〃	金子 正子
〃	水野 功明	〃	山重 美登士
〃	末弘 昭人		

2. 専門委員長

【競技力向上事業関係】

競泳委員長	上野 広治 ※
飛込委員長	末弘 昭人
水球委員長	原 朗
シンクロナイズトスイミング委員長	本間 三和子
科学委員長	野村 照夫
医事委員長	金岡 恒治

【競技事業関係】

大会企画委員長	安部 喜方 ※
競技運営委員長	鈴木 浩二
学生委員長	林 敏久

【指導者養成事業関係】

地域指導者委員長	宮本 憲二
競技力向上コーチ委員長	設楽 義信 ※
水泳教師委員長	澁谷 俊一

【総務事業関係】

総務委員長	坂元 要 ※
広報委員長	村山 よしみ
施設用具委員長	國富 進
情報システム委員長	須永 孝

【生涯スポーツ・普及事業関係】

生涯スポーツ委員長	鈴木 大地 ※
日本泳法委員長	八木沼 正彦
オープンウォータースイミング委員長	鷲見 全弘

※は各事業総括担当

3. 特別委員会

財務委員会委員長	堀 正美
選手選考委員会委員長	佐野 和夫
指導者養成委員会委員長	設楽 義信
競技者資格審査委員会委員長	青木 剛
アンチ・ドーピング委員会委員長	泉 正文
スポーツ環境委員会委員長	佐野 和夫
倫理委員会委員長	青木 剛
国際委員会委員長	佐野 和夫